PLANEX COMM.

MZK-EX300N2

User’s Manual

目次

第 1 章 安全上のご注意

1.1 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、**「感電」「火災」「故障」**などが発生する場合があります。
これによって人が負傷されたり、死亡につながる 恐れがあります。また、万一**「発火」「発煙」「溶解」**などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。



この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。



この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

⚠警告	
禁 止	**電源は AC100V(50 ／ 60Hz)以外では絶対に使用しないでください。** 本製品と本製品の定格電力ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。
強制指示	**必ず付属の専用 AC アダプタ(または電源ケーブル)を使用してください。** 本製品付属以外の AC アダプタ(または電源ケーブル)の使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障のなどの原因となります。
強制指示	**AC アダプタ(または電源ケーブル)の取り扱いを守ってください。** AC アダプタ(または電源ケーブル)に加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。また、AC アダプタ(または電源ケーブル)を抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
禁 止	**動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。** 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁 止	**本製品を分解、改造しないでください。** 感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。

強制指示	**コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは直ちに取り除いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
水濡禁止	**本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。** 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
濡手禁止	**本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。** これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁　止	**本製品を重ねて設置しないでください。** 本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
触手禁止	**雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。** 落雷による感電の原因になります。
強制指示	**本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。** 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
禁　止	**金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。**

⚠注意	
禁止	本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。 ● 直射日光の当たる場所 ● 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ● 温度変化の激しい場所 ● 湿気やほこりの多い場所 ● 振動の多い場所や不安定な場所 ● 静電気が多く発生する場所 ● 油煙や湯気があたる場所 ● 腐食性ガスの発生する場所 ● 壁の中などお手入れが不可能な場所 ● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
禁止	**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。** 本製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**移動させるときは AC アダプタ（または電源ケーブル）を外してください。** 必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
強制指示	お手入れの際は以下の内容に注意してください。 ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
強制指示	**定期的にデータのバックアップを行ってください。** 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
禁止	**RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。** RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

■無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について



2.4　　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DSOF　:DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4　　　:想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■ ■ ■ : 全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 5.2GHz 帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11a は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

■無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サ

ポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

1.2 おことわり

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のパッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法（電気用品安全法・電波法等）のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■RoHS 対応

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU（ 欧州連合） の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

第 2 章 はじめに

2.1 本製品の特長

✧ **Wi-Fi エリアをワンタッチで拡張**

Wi-Fi ルータの電波範囲を拡張することができます。WPS ボタンをワンタッチで Wi-Fi エリアを拡大でき電波が不安定な場所でも安定した通信を確保することができます。Wi-Fi ルータとの直接接続以外にもエクステンダー同士での接続ができるため数珠繋ぎにエリアを拡大させることができます。親機のメーカーを問わずに使えるのでシームレスな Wi-Fi 環境を構築できます。

● Wi-Fi エリアを手軽に拡張！

電波を中継させることで Wi-Fi エリアを簡単に拡張でき、離れた場所でも安定した通信を確保可能です。

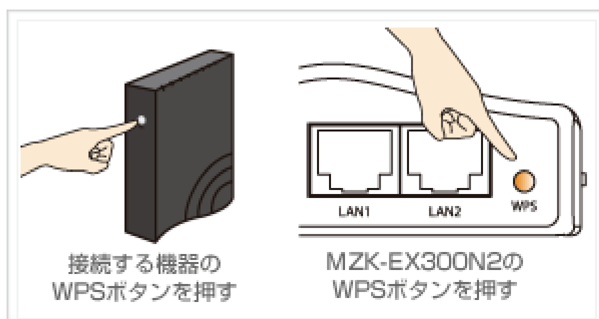


● 複数台でエリアをさらに拡張！



✧ **WPS ボタン搭載で簡単ワイヤレス接続**

無線 LAN 親機とエクステンダーの無線接続設定が WPS ボタンを押すだけで行えます。また、無線 LAN 親機と WPS 接続した接続機器もエクステンダーの無線エリア内でそのまま使用することができます。



※無線 LAN 子機が WPS に対応している必要があります。

※接続する無線 LAN 対応機器によって WPS ボタンの有無や設定方法は異なります。

✧ **洗練されたデザイン　＜Designed by MID MILANO Design＞**

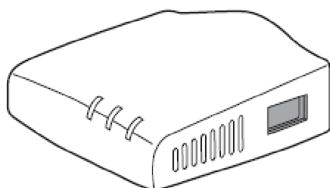
イタリアのデザイナーが手がけたボディーは、柔らかいフォルムと光沢のあるカラーで高級感が漂う洗練されたデザイン。リビングやデジタル家電の近くにおいても部屋全体の美観を損ないません。

ITALIAN DESIGN BY MID MILANO

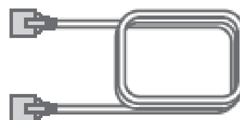
2.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

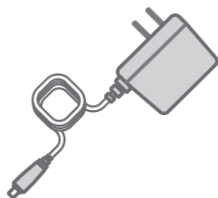
☐ MZK-EX300N2（本製品）



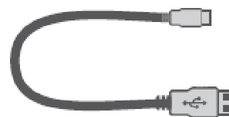
☐ LAN ケーブル



☐ AC アダプタ

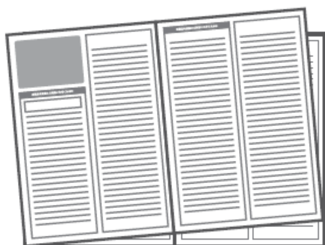


☐ USB 電源ケーブル



（FFP-PKE03 には含まれません）

☐ スタートガイド



☐ 安全に関する説明書／保証書

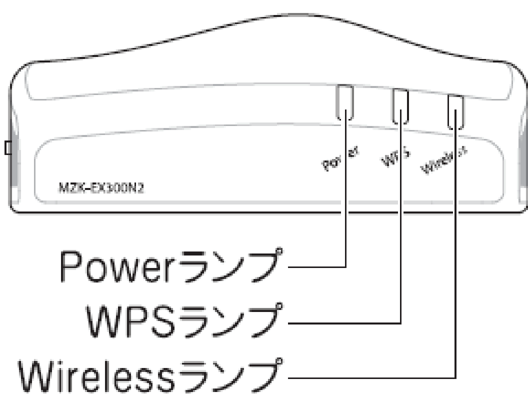


※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

2.3 各部の名称とはたらき

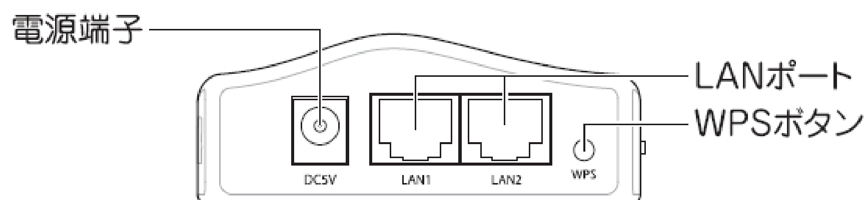
本製品各部の名称について説明します。

本製品前面



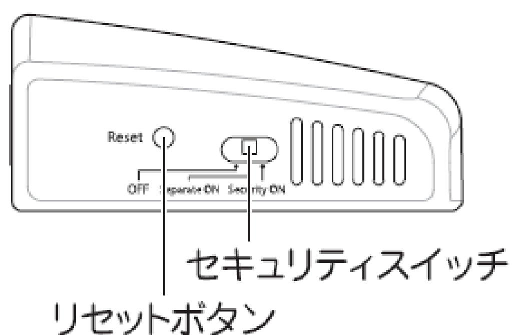
名称	色	機能説明	
Power ランプ	緑	点灯	本製品の電源がオンの状態です。
		点滅	初期化を実行している状態です。
		消灯	本製品の電源がオフの状態です。
WPS ランプ	緑	点灯	WPS 接続を試みている状態です。
		消灯	WPS 接続が無効の状態です。
Wireless ランプ	緑	点滅	無線 LAN でデータを送受信している状態です。
		消灯	無線 LAN 機能が無効です。

本製品背面



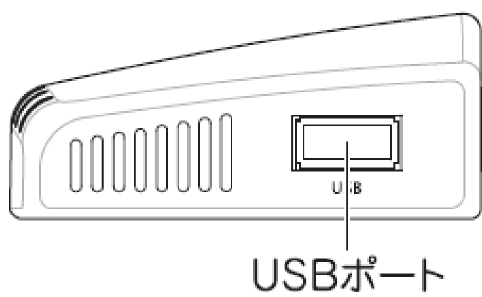
名称	機能説明
電源端子	付属の AC アダプタを接続します。
LAN 1 ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
LAN 2 ポート	
WPS ボタン	WPS ボタンを 3 秒以上押して離すと、WPS（無線 LAN 簡単設定機能）接続が有効になります。 ※　操作方法は、「スタートガイド」の「STEP 2」を参照してください。

本製品左側面



名称	機能説明
Reset ボタン	本製品の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。 （操作方法） 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. 本製品背面のリセットボタンを 10 秒以上長押しします。 3. 本製品前面の「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから手を離します。 4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。
セキュリティスイッチ	SSID（ネットワーク名）間の通信をコントロールします。 使用方法は「2.5 セキュリティスイッチについて」を参照してください。

本製品右側面



名称	機能説明
USB ポート	※本製品では使用できません。

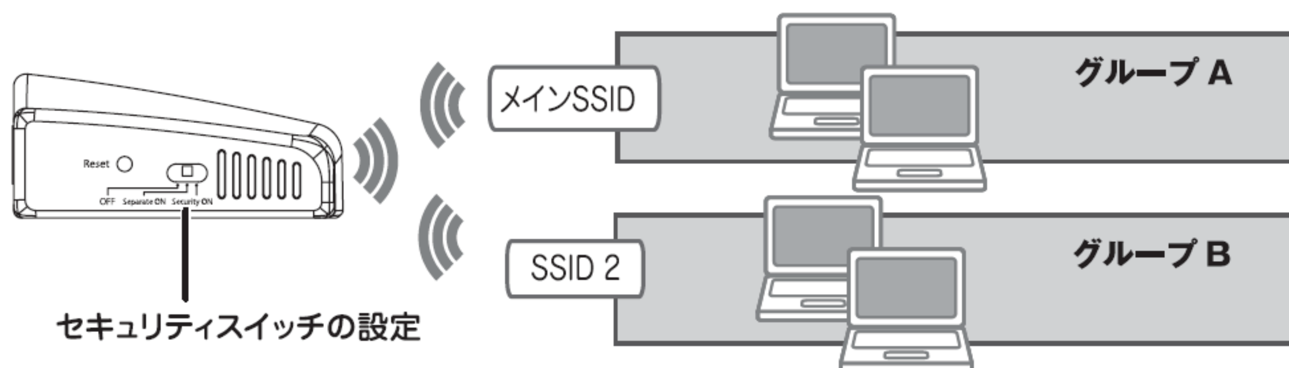
2.4 工場出荷時の設定値

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

名称	設定値
ユーザ名（ログイン ID）	admin
パスワード	password
IP アドレス	192.168.1.251 ※ルータに接続したときは、「XXX.XXX.XXX.251」の「XXX」が、お使いの環境に更新されます。

2.5 セキュリティスイッチについて

本製品背面にあるセキュリティスイッチを使用して、SSID 間の通信をコントロールすることができます。次のような環境でスイッチを切り換えて Separate mode（セパレートモード）に変更します。



OFF	SSID 間での通信が可能。グループ A/B 間の通信が可能です。
Separate ON	SSID 間での通信を遮断。グループ A/B 間の通信は不可能です。 同じ SSID 内での通信は可能です。（例：グループ A 内のパソコン同士）
Separate ON + Security ON	「Separate ON」の状態で、SSID の通知を無効にします。

第 3 章：インターネットの設定

ここでは、インターネットの接続設定を行います。

◆インターネットの設定は、付属の「スタートガイド」を参照し、設定を行ってください。

＜ポイント＞
お手元に「スタートガイド」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

http://www.planex.co.jp/support/download/wireless/mzk-ex300n2.shtml

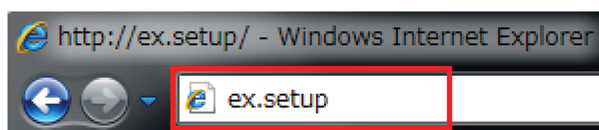
第 4 章：複数台の本製品を接続する

複数台の本製品を使用するときは、2 台目以降の本製品の IP アドレスを変更する必要があります。
以下の手順より、IP アドレスを変更してください。

4.1 設定画面を表示する

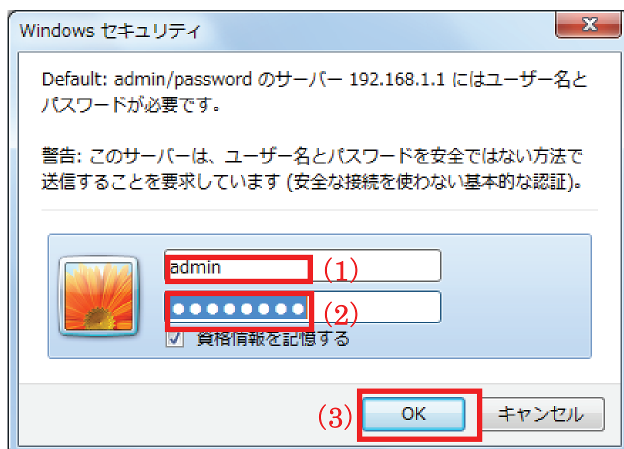
1. WEB ブラウザを起動します。

2. アドレス欄に IP アドレス「ex.setup」を入力し、<Enter>を押します。



※ アドレス欄に「192.168.1.251」と入力して、ログイン画面を表示するとこもできます。
※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。

3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
(1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
(2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー)を入力
(3)[OK]をクリックします。



4. 本製品の WEB 設定画面のトップページが表示されます。

MZK-EX300N2

日本語

- セットアップウィザード
- ステータス
- ネットワーク
- 無線LAN
- 管理

ステータス

ファームウェアのバージョン、ネットワークの設定、無線LANのステータスなどを表示します。

システム	
ファームウェアバージョン	1.02
稼働時間	0day:1h:6m:45s
動作モード	ユニバーサルリピータ
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.251
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	[illegible]
DHCPサーバ自動検出	有効
無線LAN	
リンクステータス	接続中
SSID	ap-pc-XXXXXX
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
チャンネル帯域	40MHz

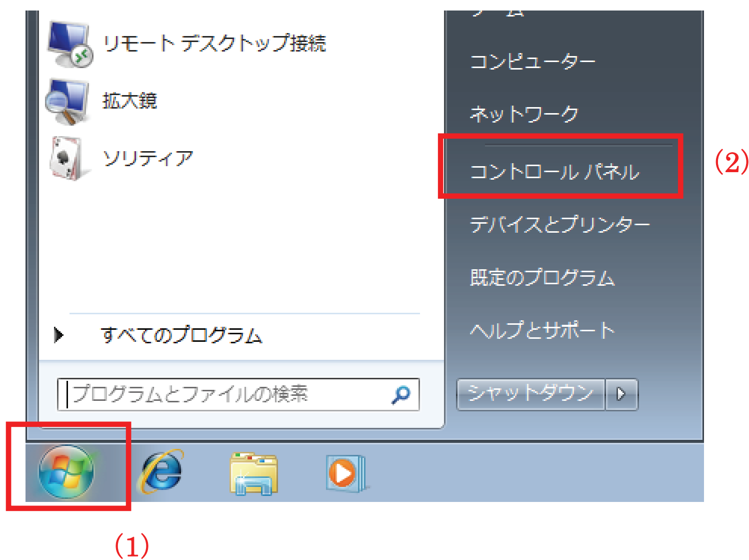
＜本製品の IP アドレスを確認する＞

お使いの環境に更新された本製品の IP アドレスを確認します。

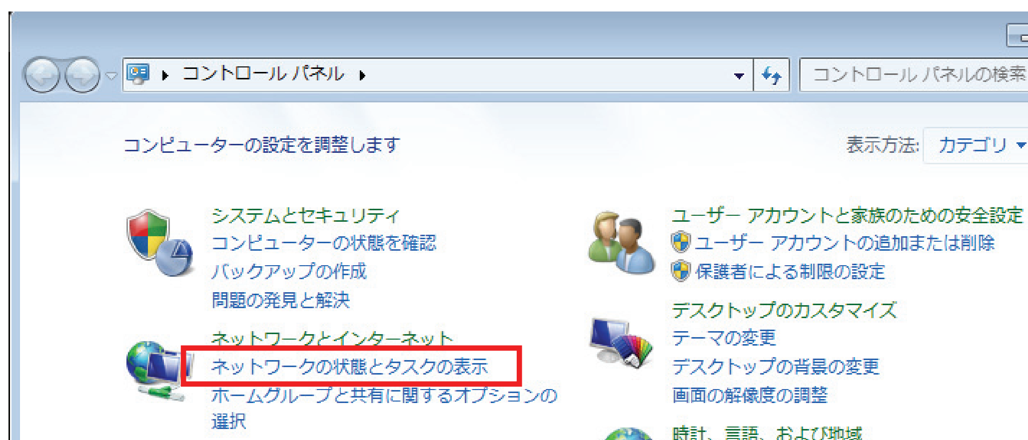
■ **Windows 7／Vista のとき**

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

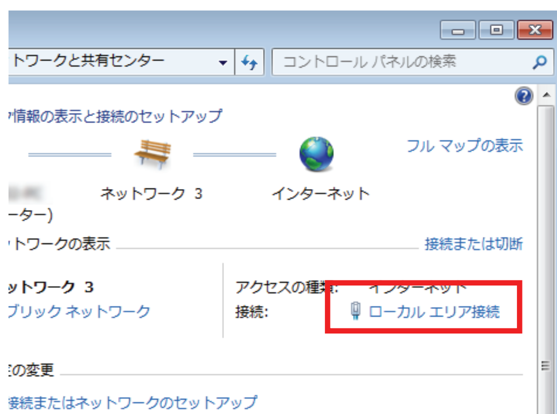


2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

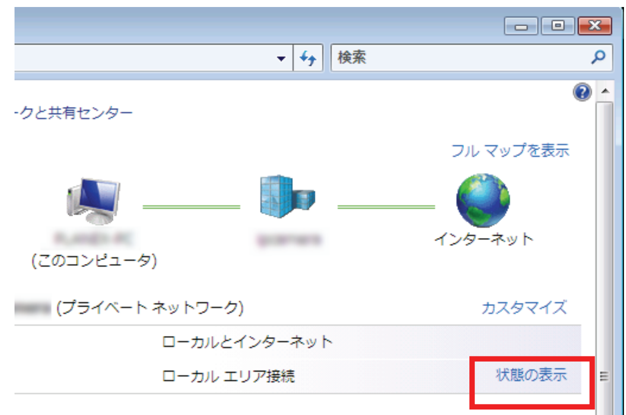


※Windows 7 でアイコン表示の場合や、Windows Vista でクラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. Windows 7 のとき　　　　　Windows Vista のとき

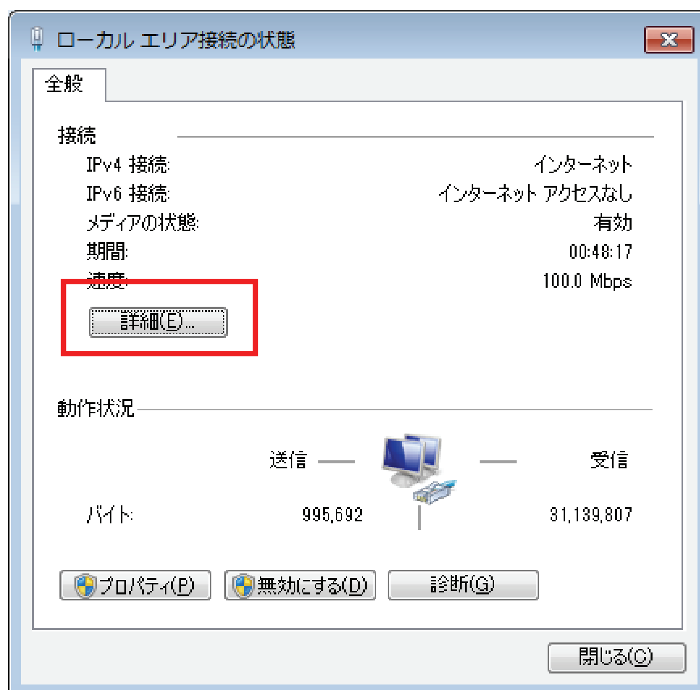


「ローカルエリア接続」をクリックします。

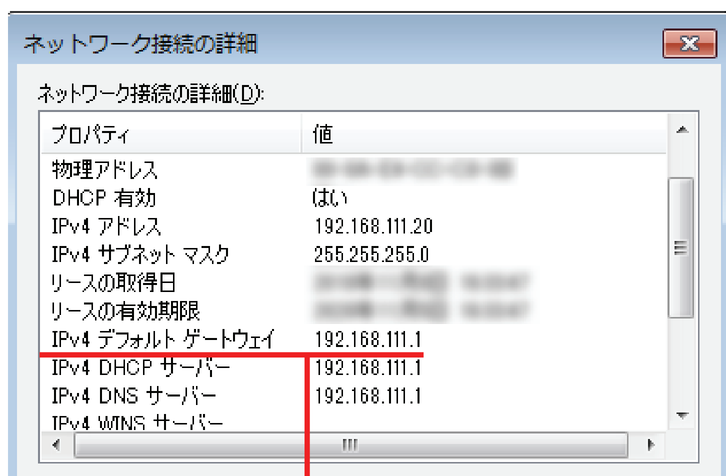


「状態の表示」をクリックします。

4. 「詳細」をクリックします。



5. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.251」とメモに取ります。

例） 「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

6. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 5 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき



※左記の画面はサンプルです。

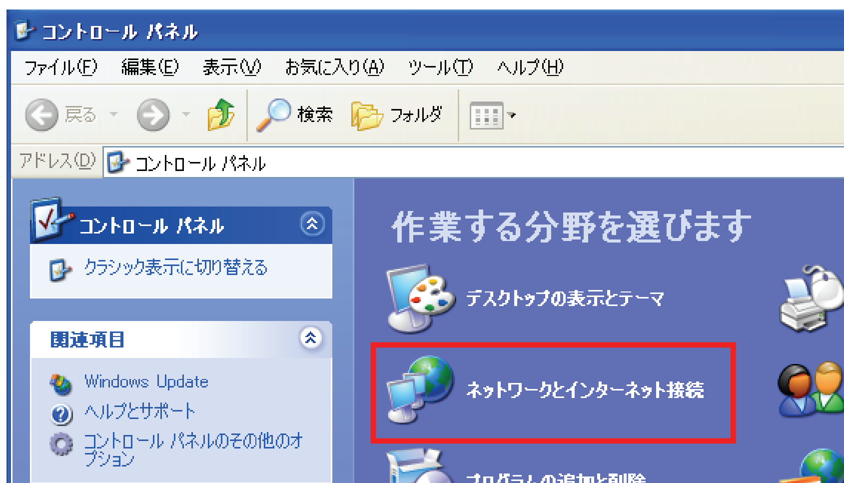
「4.1 設定画面を表示する」の手順 3 に戻ります。

■ Windows XP のとき

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

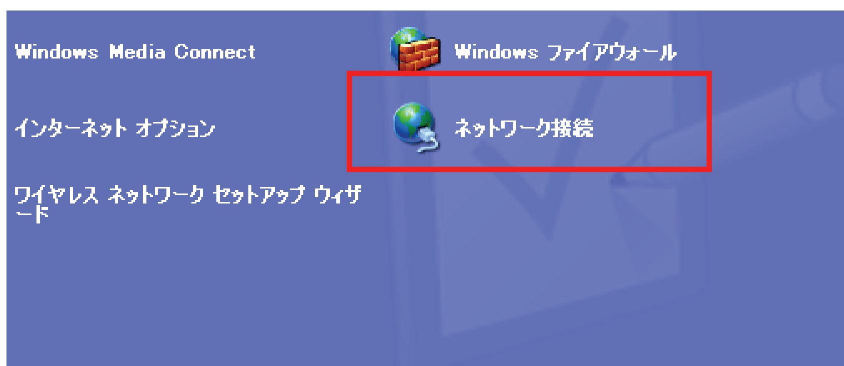


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

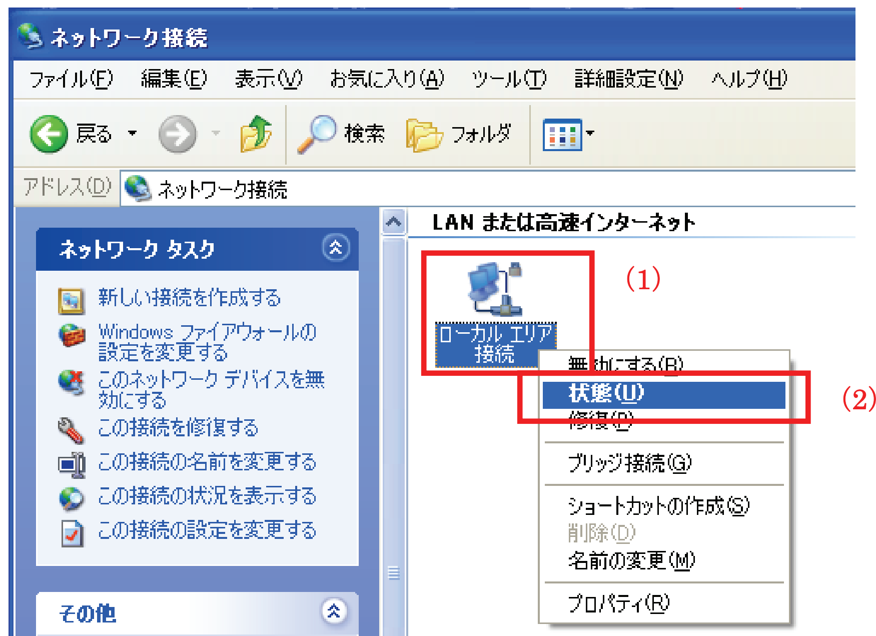


※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックをクリックします。



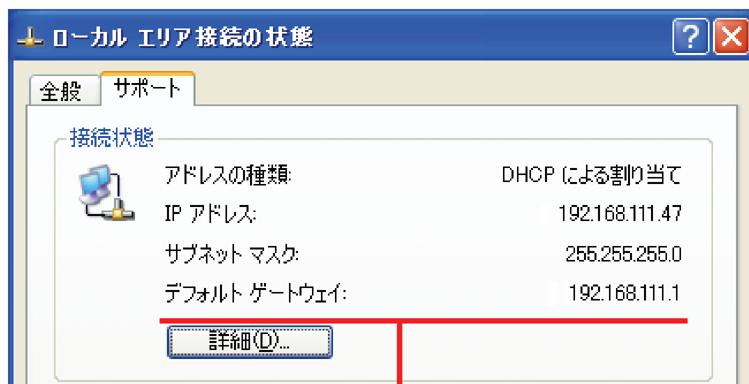
4. ①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
　②「状態」をクリックします。



5. 「サポート」タブをクリックします。



6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき

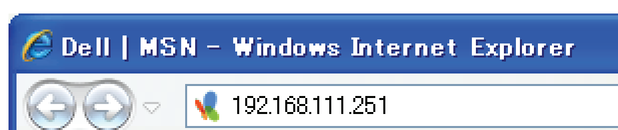
→上記の画面のように「デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.251」とメモに取ります。

例） 「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

7. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 6 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき



※左記の画面はサンプルです。

「4.1 設定画面を表示する」の手順 3 に戻ります。

■ Mac OS X のとき

1. ①「アップルメニュー」をクリックします。
   ②「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 画面左の「Ethernet…」をクリックします。
   ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

4. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルータ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



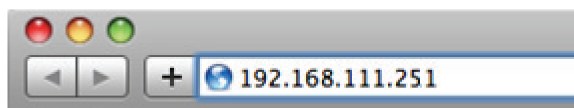
●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「ルータ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.251」とメモに取ります。**

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

5. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●ユニバーサルリピータモードで動作している本製品にログインするとき



※左記の画面はサンプルです。

「4.1 設定画面を表示する」の手順 3 に戻ります。

4.2 IP アドレスを変更する

複数台を接続する際、他の本製品や機器と重複しない IP アドレスの設定が必要です。

1. [ネットワーク]をクリックします。

2. IP アドレスを設定します。

LANセットアップ

LANの各種設定を行います。

IPアドレス：	192.168.1.251 (1)
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	192.168.1.1
プライマリDNSサーバ：	8.8.8.8
セカンダリDNSサーバ：	8.8.4.4
MACアドレス：	
DHCPサーバ自動検出：	有効

(2) 適用 キャンセル

(1)本製品に設定する LAN 側の IP アドレスを入力します。

※複数台を接続する際、他の本製品や機器と重複しない IP アドレスの設定が必要です。

※初期設定は「192.168.1.251」です。

（例）

1 台目の本製品が「192.168.1.251」のとき

2 台目の本製品を「192.168.1.230」

3 台目の本製品を「192.168.1.240」

(2)[適用]をクリックします。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
DHCP サーバ自動検出	接続先に DHCP サーバがあるかないかを判断します。 **「有効」**: ・上位ルータと接続したときは、本製品の IP アドレスを「xxx.xxx.xxx.AAA」に変更します。 ※「xxx.xxx.xxx」は上位のルータに依存します。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「有効」のときに、任意に設定できるのは IP アドレス「xxx.xxx.xxx.AAA」の「AAA」のみとなります。その他の項目は、設定できません。 ・パソコンに接続したときは、本製品の DHCP サーバを有効にします。 **「無効」**: ・「DHCP サーバ自動検出」を無効にします。 ※ 各項目を任意に設定してください。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「無効」のときは、本製品に接続するパソコンの IP アドレスを手動取得してください。 （「8.3 IP アドレスの設定」の「8.3.2 手動設定」を参照してください。） 初期設定は「有効」です。

3.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

4.　[OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

[OK]

以上で設定の完了です。

注意:

・ 設定を変更した後は、パソコンなど各ネットワーク機器は一度再起動してください。
・ 変更した IP アドレスなどの値はメモなどに取って保管してください。
・ 以後、本製品の設定画面を表示するときは、上記で設定した IP アドレスを WEB ブラウザのアドレス欄に入力します。

4.3 親機につなげる

◆親機に接続する方法は、付属の「スタートガイド」の「STEP2　親機につなげる」～「STEP3　本製品を設置する」を参照してください。

【ご注意】

接続先は、大元となる無線 LAN ルータと接続してください。
すでに接続している他の本製品と接続することはできません。

＜ポイント＞
お手元に「スタートガイド」がないときは、以下のページからダウンロードしてください。

http://www.planex.co.jp/support/download/wireless/mzk-ex300n2.shtml

第 5 章　詳細設定（中継機編）

ここでは、各設定画面について説明します。

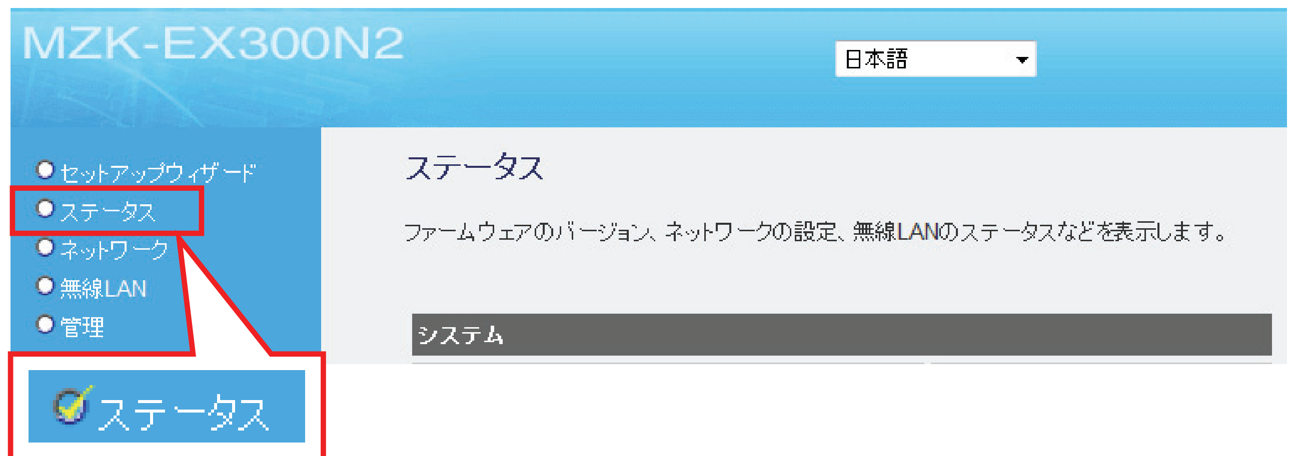
→設定画面の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。

5.1 モードを切り替える

ここでは、モード切り替えについて説明します。

※ 初期設定は、中継機（ユニバーサルリピータ）に設定されています。

1. ［ステータス］をクリックします。



2. ［モード設定］をクリックします。



3.　モードを設定します。

モード設定

本製品の動作モードを設定します。

動作モード：　○ AP モード　◉ ユニバーサルリピータ (1)

(2) [適用] [キャンセル]

(1)「ユニバーサルリピータ」を選びます。

(2) [適用]をクリックします。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
AP モード	本製品をアクセスポイントとして使用します。 ※「AP モード」で使用する場合は、「第 6 章 詳細設定(アクセスポイント編)」を参照してください。
ユニバーサルリピータ	無線 LAN 電波が届かない場所に本製品を設置し、無線 LAN 電波を拡大したいときに使用します。 (無線 LAN ルータのセキュリティ情報をそのまま拡張してしようするときなど)

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5.　[OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

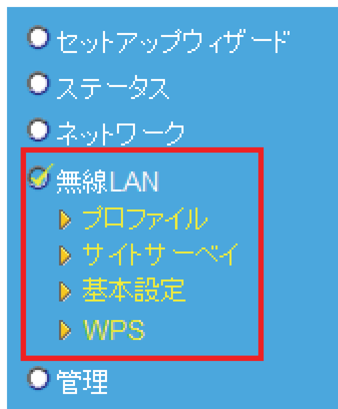
[OK]

以上で設定の完了です。

5.2 無線 LAN 関連の設定

「無線 LAN」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。

無線 LAN 画面には、「プロファイル」、「サイトサーベイ」、「基本設定」、「WPS」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



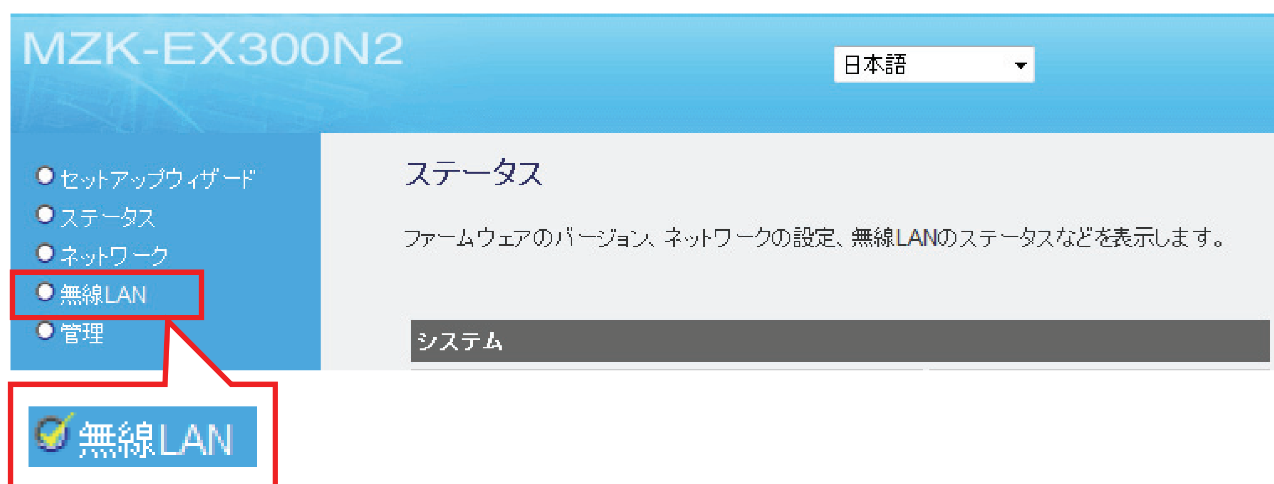
5.2.1 プロファイルの追加

ここでは、手動で無線 LAN の設定を行います。

注意：

本製品の接続や設定の前に、お使いのアクセスポイントの無線 LAN 設定情報が必要です。
設定情報の確認方法は、お使いの機器の取扱説明書を参照してください。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [プロファイル]をクリックします。



3. [追加]をクリックします。



4. アクセスポイントの情報を登録します。

プロファイルの追加/編集

プロファイル名 :		(1)
SSID :		(2)
プリアンブルタイプ :	◉ 自動 ○ ロングプリアンブル	
RTSしきい値 :	2347	(0-2347)
フラグメントしきい値 :	2346	(256-2346)
チャンネル :	1	(3)
認証方式 :	無効	(4)

適用 キャンセル

(1)「プロファイル名」を任意に入力します。

※半角英数字で 9 文字まで入力できます。

(2)接続するアクセスポイントの「SSID」(接続名)を入力します。

※半角英数字で 32 文字まで入力できます。

(3)お使いの無線ルータ(または無線 LAN アクセスポイント)と同じチャンネルを選びます。

※本機の対応チャンネルは「1～13」です。

※初期値は「1」です。

(4)「認証方式」を選びます。

➢ 「WEP」を選択するときの設定は、**【WEP のとき】**(P37)をご参照ください。
➢ 「WPA/WPA2」を選択するときは、**【WPA/WPA2 のとき】**(P38)をご参照ください。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
プリアンブルタイプ	「自動」または「ロングプリアンブル」から選びます。 ・プリアンブルとは、ネットワーク通信で送受信のタイミングを計るデータのことです。 ・「ロングプリアンブル」はパケットごとに同じ量の情報を送ります。 ※初期値は「自動」です。
RTS しきい値	RTS しきい値を 0～2347 の間で設定します。 RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へのパケットを送信する前に、同一ネットワーク内(SSID が同じ無線 LAN 機器)へ送信する RTS(Request To Send:送信要求)信号を送信するかどうかを決めるための境界値(=しきい値)のことです。 ※初期値は「2347」です。
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。 設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して送信します。 ※初期値は「2346」です。

5. アクセスポイントに接続します。

プロファイルリスト

選択	プロファイル	SSID	チャンネル	認証方式	暗号化方式	ネットワークタイプ
◉	test	ap-pc-XXXXXX	1	WPA2	AES	インフラストラクチャ

(1) (2)

編集 追加 選択項目の削除 すべてを削除 接続

(1)接続するアクセスポイントを選びます。

(2)[接続]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
編集	選択したプロファイルを編集します。 「プロファイルの追加/編集」画面に移動します。
追加	プロファイルを 20 件まで登録できます。
選択項目の削除	選択したプロファイルを削除します。 ※複数選択はできません。
すべてを削除	全プロファイルを削除します。

6. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

7. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

以上で設定の完了です。

【WEP のとき】

プロファイルの追加/編集

プロファイル名：	
SSID：	
プリアンブルタイプ：	◉自動 ○ロングプリアンブル
RTSしきい値：	2347 (0-2347)
フラグメントしきい値：	2346 (256-2346)
チャンネル：	1
認証方式：	Open (1)
WEPキー長：	64Bit (2)
キーフォーマット：	ASCII(5文字) (3)
デフォルトキー：	Key1 (4)
WEPキー1：	***** (5)
WEPキー2：	*****
WEPキー3：	*****
WEPキー4：	*****

(6) 適用　キャンセル

(1)「Open」または「SHARED」を選びます。

(2)「64-bit」または「128-bit」を選びます。

(3)「16 進数」または「ASCII」を選びます。

※「WEP キー長」にて「64-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII（5 文字）」、「16 進数（10 桁）」と表示されます。

※「WEP キー長」にて「128-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII（13 文字）」、「16 進数（26 桁）」と表示されます。

(4)「Key1」～「Key 4」から選びます。

※接続先のデフォルトキーと同じキー番号を選んでください。

(5)接続先の暗号化キーを半角英数で入力します。

(6)［適用］をクリックします。

「5.2.1 プロファイルの追加」の手順 5（P36）に進みます。

【WPA/WPA2 のとき】

プロファイルの追加/編集

プロファイル名：	
SSID：	
プリアンブルタイプ：	◉ 自動 ○ ロングプリアンブル
RTSしきい値：	2347 (0-2347)
フラグメントしきい値：	2346 (256-2346)
チャンネル：	1
認証方式：	WPA2-PSK (1)
暗号化：	TKIP (2)
パスフレーズ：	* (3)

(4) 適用　キャンセル

(1)「WPA-PSK」または「WPA2-PSK」を選びます。

(2)「TKIP」または「AES」を選びます。

(3)接続先の暗号化キーを半角英数で入力します。

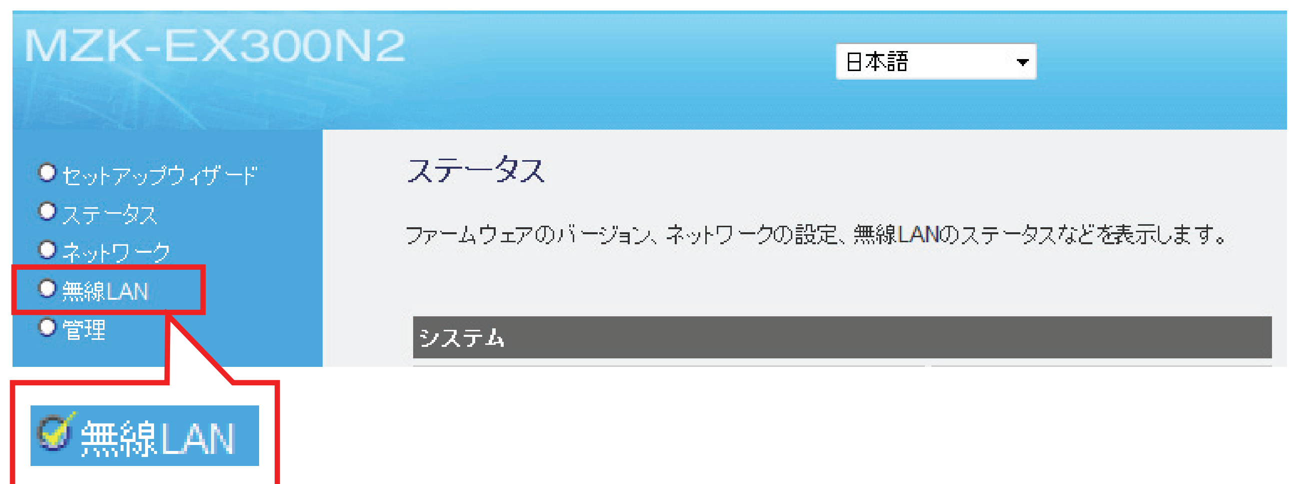
(4)[適用]をクリックします。

「5.2.1　プロファイルの追加」の手順 5(P36)に進みます。

5.2.2 サイトサーベイ

ここでは、サイトサーベイによる無線 LAN の設定を行います。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [サイトサーベイ]をクリックします。



3. 設定します。



(1)接続する「SSID」(接続名)を選びます。

※お使いのアクセスポイントの「SSID」と一致するものを選びます。

(2)[接続]をクリックします。

注意:

- SSID(接続名)が表示されないときは、[更新]をクリックして再検索してください。
- 上記を行っても SSID(接続名)が表示されないときは、無線 LAN ルータの電源が入っているか、または調べた SSID(接続名)に誤りがないか確認してください。
- 無線 LAN ルータ側の設定で、SSID(接続名)の通知を無効(ステルスまたは ANY 接続拒否)にしているときは、ルータ側と同じ SSID を直接入力してください。
- 上記の画面がエラーで表示されるときは、ログインし直してください。
- 親機の無線 LAN のチャンネルが「12」または「13」に設定されているときは、「1」～「11」の間に変更してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

4. アクセスポイントの情報を登録します。

➢ 接続先の認証方式が「WEP」のときの設定は、【WEP のとき】(P42)をご参照ください。
➢ 接続先の認証方式が「WPA/WPA2」のときは、【WPA/WPA2 のとき】(P43)をご参照ください。

5. アクセスポイントに接続します。

プロファイルリスト

選択	プロファイル	SSID	チャンネル	認証方式	暗号化方式	ネットワークタイプ
◉	test	ap-pc-XXXXXX	1	WPA2	AES	インフラストラクチャ

(1) (2)

編集 追加 選択項目の削除 すべてを削除 接続

(1)接続するアクセスポイントを選びます。

(2)[接続]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
編集	選択したプロファイルを編集します。 「プロファイルの追加/編集」画面に移動します。
追加	プロファイルを 20 件まで登録できます。
選択項目の削除	選択したプロファイルを削除します。 ※複数選択はできません。
すべてを削除	全プロファイルを削除します。

6. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

7. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

以上で設定の完了です。

【WEP のとき】

プロファイルの追加/編集

プロファイル名：	(1)
SSID：	ap-pc-XXXXXX
プリアンブルタイプ：	自動　ロングプリアンブル
RTSしきい値：	2347 (0-2347)
フラグメントしきい値：	2346 (256-2346)
チャンネル：	1
認証方式：	Open (2)
WEPキー長：	64Bit (3)
キーフォーマット：	ASCII(5文字) (4)
デフォルトキー：	Key1 (5)
WEPキー1：	***** (6)
WEPキー2：	*****
WEPキー3：	*****
WEPキー4：	*****

(7) 適用　キャンセル

(1)「プロファイル名」を任意に入力します。

※半角英数字で 9 文字まで入力できます。

(2)「Open」または「SHARED」を選びます。

(3)「64-bit」または「128-bit」を選びます。

(4)「16 進数」または「ASCII」を選びます。

※「WEP キー長」にて「64-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(5 文字)」、「16 進数(10 桁)」と表示されます。

※「WEP キー長」にて「128-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(13 文字)」、「16 進数(26 桁)」と表示されます。

(5)「キー1」～「キー4」から選びます。

※接続先のデフォルトキーと同じキー番号を選んでください。

(6)接続先の暗号化キーを半角英数で入力します。

(7)[適用]をクリックします。

「5.2.2　サイトサーベイ」の手順 5(P41)に進みます。

【WPA/WPA2 のとき】

プロファイルの追加/編集

プロファイル名：	(1)
SSID：	ap-pc-XXXXXX
プリアンブルタイプ：	◉自動 ○ロングプリアンブル
RTSしきい値：	2347 (0-2347)
フラグメントしきい値：	2346 (256-2346)
チャンネル：	1
認証方式：	WPA2-PSK
暗号化：	TKIP
パスフレーズ：	* (2)

(3) 適用 キャンセル

(1)「プロファイル名」を任意に入力します。

※半角英数字で 9 文字まで入力できます。

(2)接続先の暗号化キーを半角英数で入力します。

(3)[適用]をクリックします。

ワンポイント

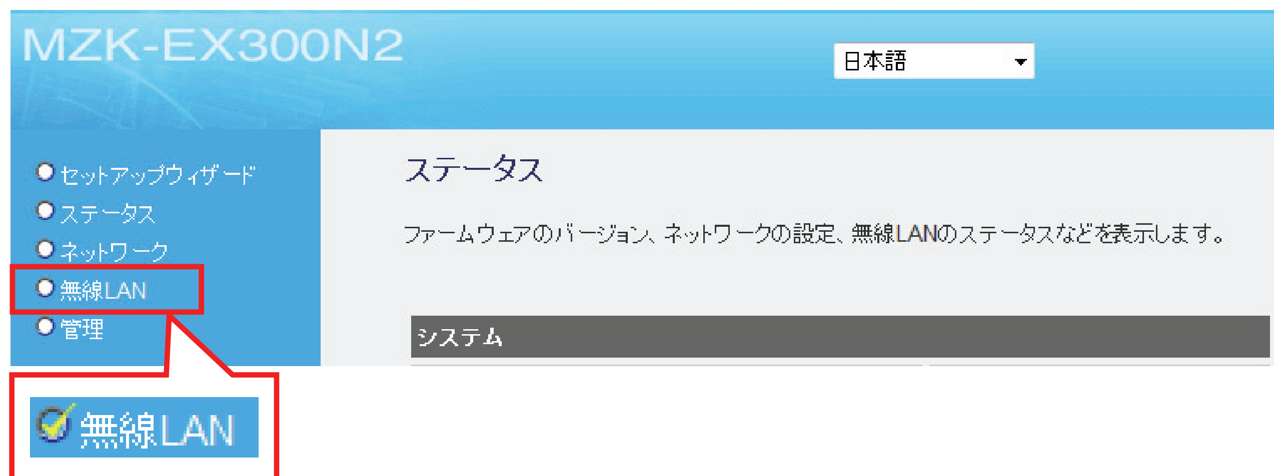
WPA-PSK/WPA2-PSK のとき、「認証方式」と「暗号化」は、選択したアクセスポイントの情報が表示されます。

「5.2.2 サイトサーベイ」の手順 5(P41)に進みます。

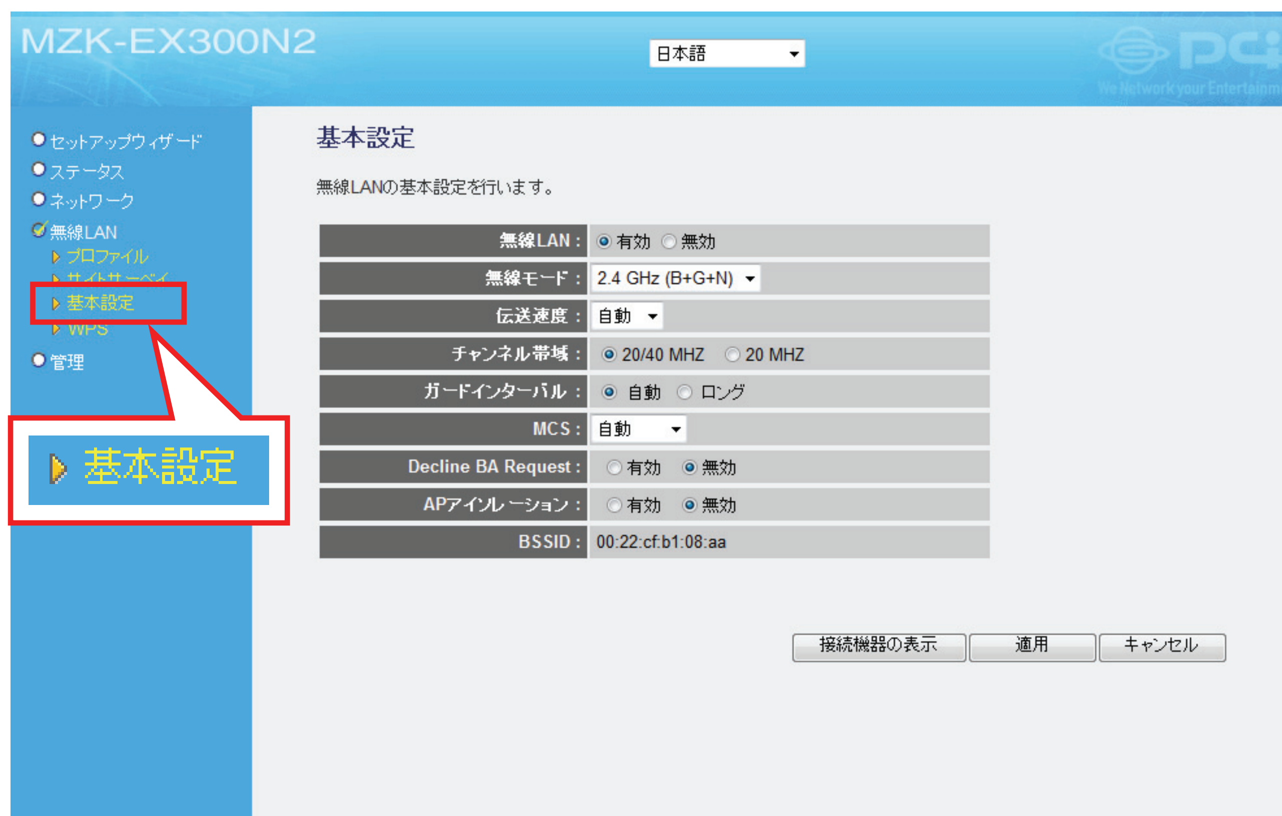
5.2.3 基本設定

ここでは、詳細設定を行います。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [基本設定]をクリックします。



3. 設定します。

無線LAN : 有効 無効
無線モード : 2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度 : 自動
チャンネル帯域 : 20/40 MHZ 20 MHZ
ガードインターバル : 自動 ロング
MCS : 自動
Decline BA Request : 有効 無効
APアイソレーション : 有効 無効
BSSID :
接続機器の表示 適用 キャンセル

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
無線 LAN	無線 LAN の「有効」または「無効」を設定します。 ※初期値は。「有効」です。 ※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。
無線モード	無線モードを選びます。 「2.4GHz（B）」：IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（B+G）」：IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz（G）」：IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（B+G+N）」：IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 ※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。
伝送速度	IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信するときの伝送速度を設定します。 ※初期値は「自動」です。
チャンネル帯域	周波数帯域幅を「20/40 MHZ」または「20 MHZ」から選びます。 ※初期値は「20/40 MHZ」です。
ガードインターバル	ガードインターバルを設定します。 ※初期値は、「自動」です。
MCS	IEEE802.11n で通信するときの伝送速度を設定します。 ※初期値は「自動」です。
Decline BA Request	Decline BA Request をを設定します。 ※初期値は「無効」です。
AP アイソレーション	AP アイソレーションを「有効」または「無効」から選びます。 「有効」：同一 SSID での通信拒否 「無効」：同一 SSID での通信許可 ※初期値は「無効」です。

4. ［適用］をクリックします。

5. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、［適用］をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

6. ［OK］をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

以上で設定の完了です。

ワンポイント

［接続機器の表示］をクリックすると、接続中の無線クライアントリストを表示します。

接続中の無線クライアント一覧

接続中のクライアント情報を表示します。

MACアドレス	モード	送信パケット	受信パケット	Txレート(Mbps)	省電力	制限時間(秒)

更新 閉じる

5.2.4 WPS の設定

本製品をお使いのアクセスポイントに WPS で接続する手順を説明します。
WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

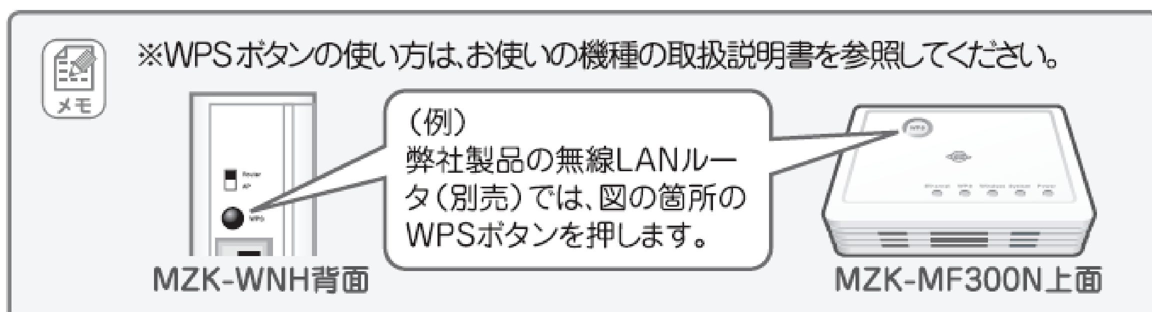
※WPS(Wi-Fi Protected Setup)とは、無線 LAN 関連の業界団体「Wi-Fi アライアンス」が策定した無線 LAN の簡単設定規格です。WPS 対応機器と組み合わせて無線 LAN の設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。
※複数の本製品を使用するときは、先に重複しない IP アドレスに変更してください。
（変更方法は、「4.2 IP アドレスを変更する」を参照してください。）

- 本体の WPS ボタンを使って接続するときは、**【WPS ボタンのとき】**(P48)をご参照ください。
- 画面を使って WPS 接続するときは、**【PBC 方式のとき】**(P49)をご参照ください。
- PIN コードを使って接続するときは、**【PIN 方式のとき】**(P51)をご参照ください。

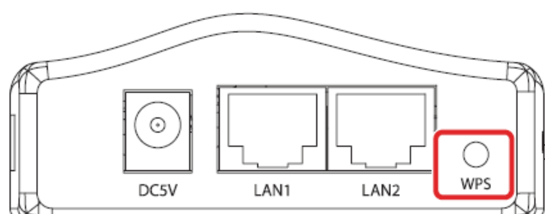
【WPS ボタンのとき】

⇒ 「スタートガイド STEP2 親機につなげる(WPS ボタン編)」にも本設定の説明がありますので合わせて参照してください。

1. 無線 LAN ルータ(親機)の WPS ボタンを押し、2 分以内に次の操作を行います。
   ※本手順では、無線 LAN ルータが WPS に対応している必要があります。
   ※WPS ボタンの使い方は、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。



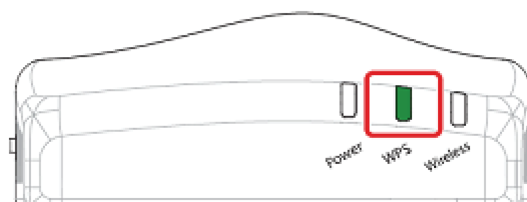
2. 本製品背面の「WPS」ボタンを 3 秒以上押して離します。





↓

本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。



3. 接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

ワンポイント

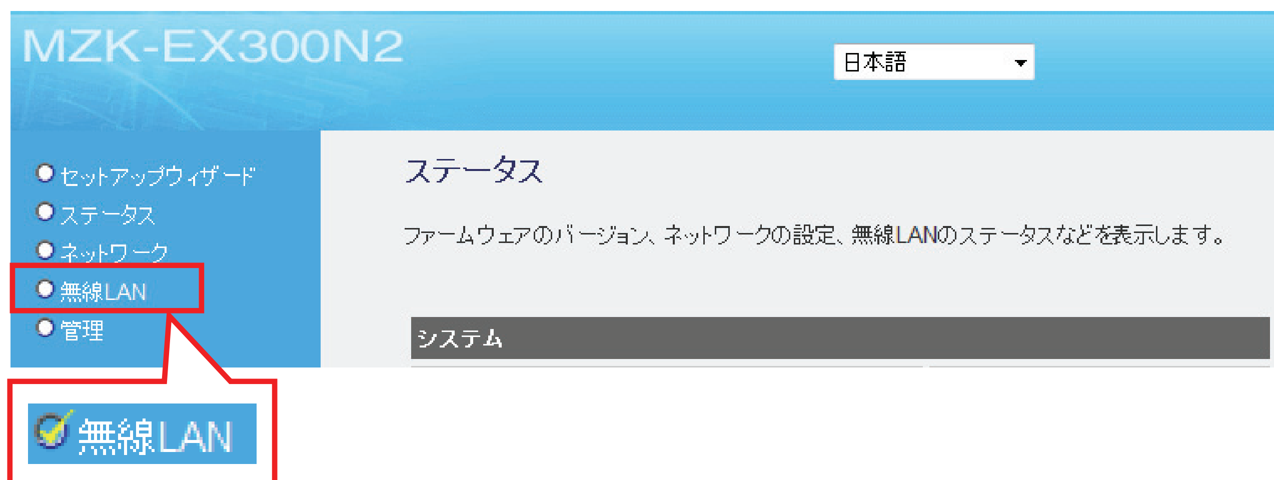
- WPS ランプが点灯のときは、まだ接続されていません。
- WPS ランプが点灯しないときは、再度 WPS ボタンを押してください。
- 2 分以上経過しても接続が確立しないときは、はじめからやり直してください。

以上で設定の完了です。

【PBC 方式のとき】

1. ［無線 LAN］をクリックします。

   ※設定画面の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。



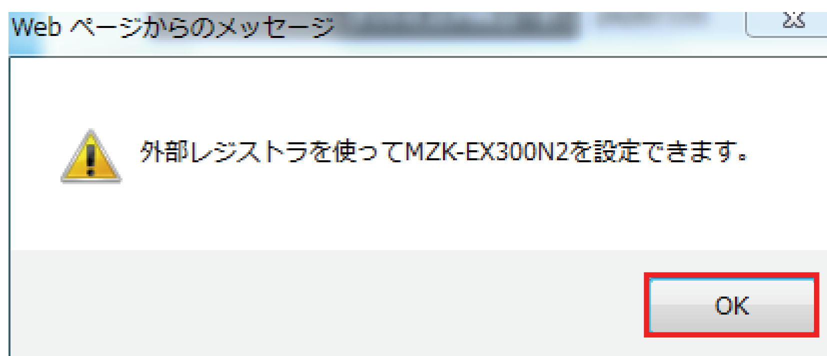
2. ［WPS］をクリックします。



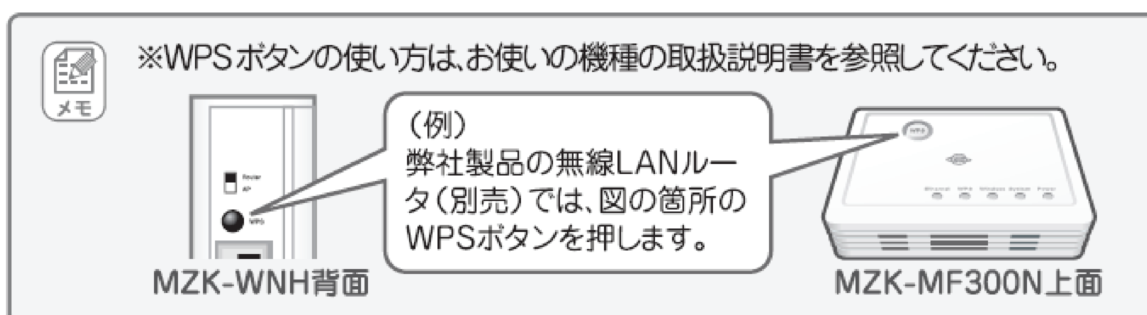
3. [PBC 開始]をクリックします。



4. 以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。
本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。
※2 分以内に無線 LAN ルータ(親機)の WPS ボタンを押してください。



5. 無線 LAN ルータ(親機)の WPS ボタンを押します。
※本手順では、無線 LAN ルータが WPS に対応している必要があります。
※WPS ボタンの使い方は、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。



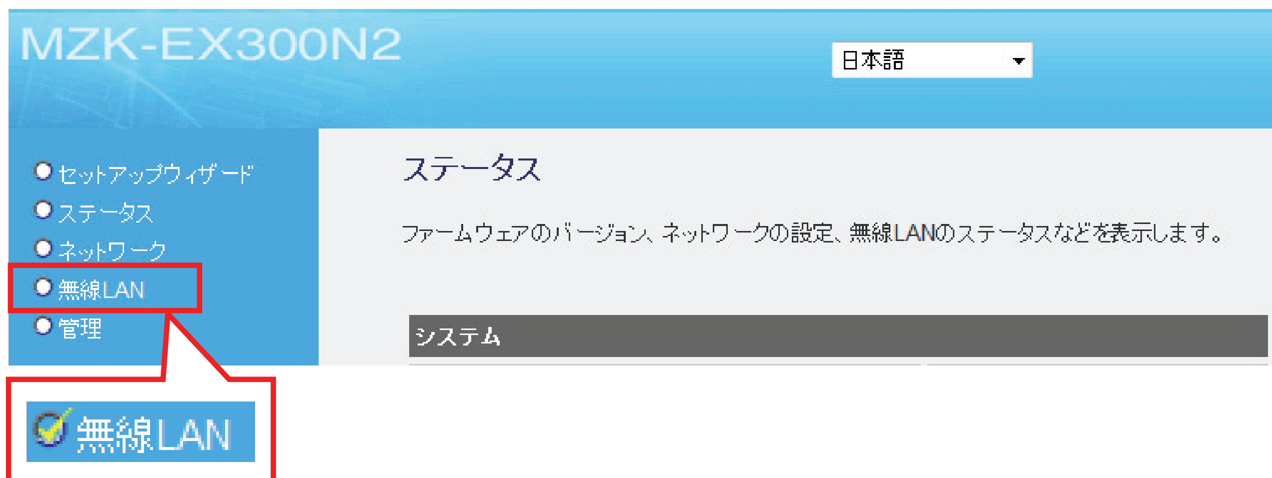
何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

6. 接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

以上で設定の完了です。

【PIN 方式のとき】

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。



2. ［WPS］をクリックします。



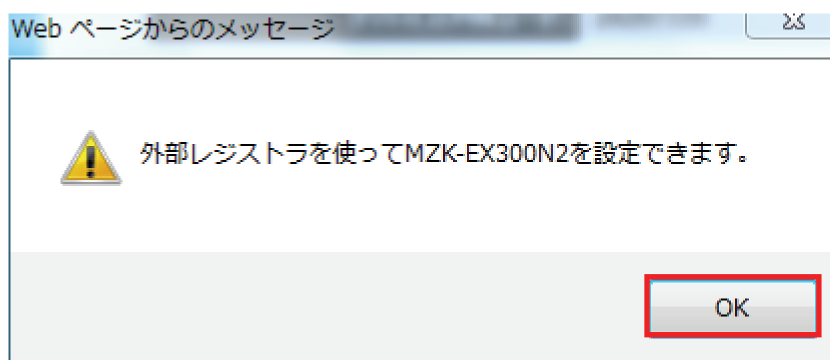
3. お使いの無線 LAN ルータ（親機）の設定画面で、本製品の「デバイス PIN コード」を入力し、PIN 接続を開始します。
   ※PIN コードの入力方法は、お使いの機種の取扱説明書を参照してください。

4. [PIN 開始]をクリックします。

WPS

PBC方式:	PBC開始
PINコード方式:	PIN開始
デバイスPINコード:	

5. 以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします



本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。
何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

6. 接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

以上で設定の完了です。

第 6 章：詳細設定（アクセスポイント編）

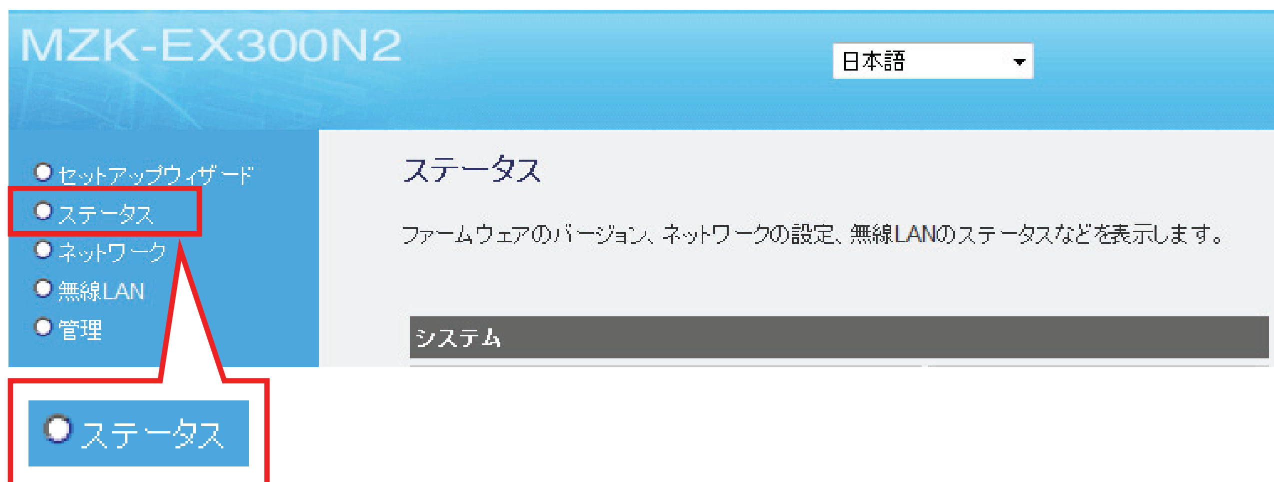
ここでは、各設定画面について説明します。

→設定画面の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。

6.1 モードを切り替える

ここでは、モード切り替えについて説明します。

1. ［ステータス］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。



2. ［モード設定］をクリックします。



3. モードを設定します。

モード設定

本製品の動作モードを設定します。

動作モード： AP モード (1)
ユニバーサルリピータ

(2) 適用 キャンセル

(1)「AP モード」を選びます。

(2)［適用］をクリックします。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
AP モード	本製品をアクセスポイントとして使用します。
ユニバーサルリピータ	無線 LAN 電波が届かない場所に本製品を設置し、無線 LAN 電波を拡大したいときに使用します。 （無線 LAN ルータのセキュリティ情報をそのまま拡張してしようするときなど） ※「ユニバーサルリピータ」で使用する場合は、「第 5 章 詳細設定（中継器編）」を参照してください。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、［適用］をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. ［OK］をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

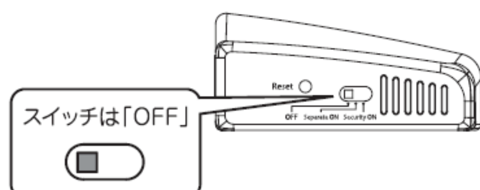
OK

以上で設定の完了です。

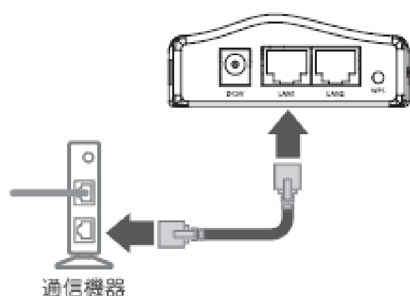
6.2 本製品の接続

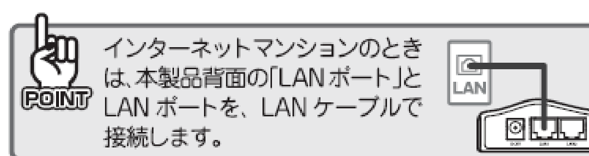
本製品をインターネット環境に接続します。

1. 本製品左側面の「セキュリティスイッチ」が「OFF」になっていることを確認します。

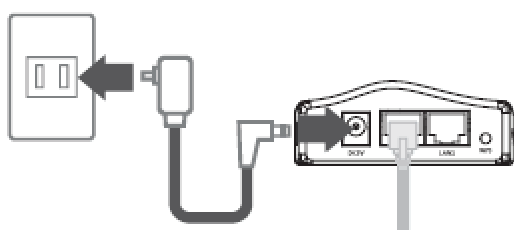


2. 本製品背面の「LAN（1 または 2）ポート」と通信機器の「LAN ポート」を、付属の LAN ケーブルで接続します。

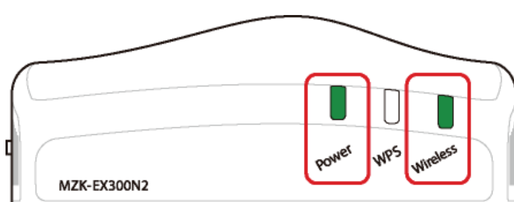




3. 本製品背面の電源コネクタとコンセントを、付属の AC アダプタで接続します。
   （本製品の電源がオンになります）
   付属の USB 電源ケーブルを使用するときは、USB ポートを搭載した機器（パソコンなど）に接続し、その機器の電源を入れてください。



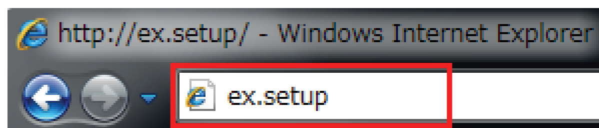
4. 本製品前面の「Power」が点灯、「Wireless」ランプが点滅することを確認します。
   ※ランプが点灯・点滅して 2 分程度お待ち頂いてから次に進んでください。



6.3 設定画面を表示する(アクセスポイントモード)

5. WEB ブラウザを起動します。

6. アドレス欄に IP アドレス「ex.setup」を入力し、<Enter>を押します。

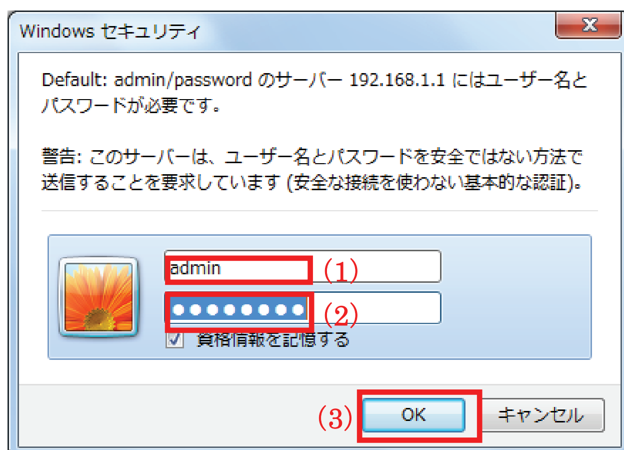


※ アドレス欄に「192.168.1.251」と入力して、ログイン画面を表示するとこもできます。

※ お使いの環境により、WEB ブラウザが起動するまで時間がかかることがあります。

※ ログイン画面が表示されずに、エラー画面が表示されたり、検索ページに移行するときは、本製品の IP アドレスがお使いの環境に更新されています。次項の「本製品の IP アドレスを確認する」を参照してください。

7. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
   (1)ユーザ名:半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード:半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[OK]をクリックします。



8.　本製品の WEB 設定画面のトップページが表示されます。

MZK-EX300N2

日本語

- セットアップウィザード
- ステータス
- ネットワーク
- 無線LAN
- 管理

ステータス

ファームウェアのバージョン、ネットワークの設定、無線LANのステータスなどを表示します。

システム	
ファームウェアバージョン	1.02
稼働時間	0day:1h:6m:45s
動作モード	ユニバーサルリピータ
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.251
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	[illegible]
DHCPサーバ自動検出	有効
無線LAN	
リンクステータス	接続中
SSID	ap-pc-XXXXXX
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
チャンネル帯域	40MHz

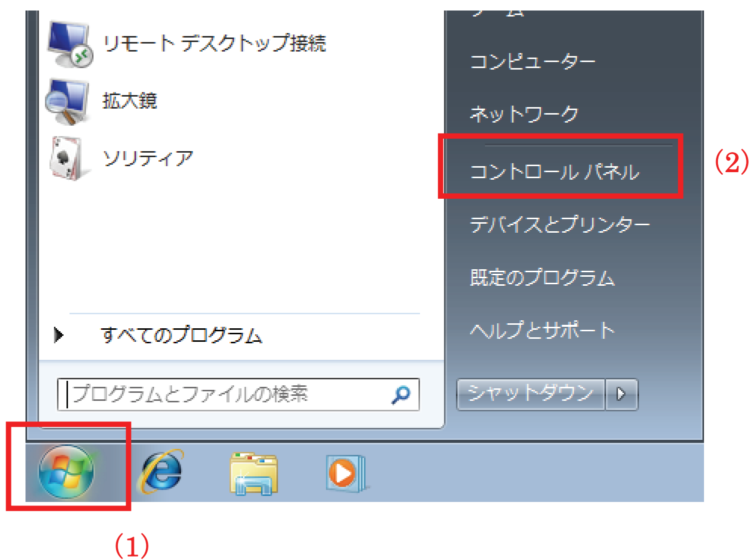
<本製品の IP アドレスを確認する>

お使いの環境に更新された本製品の IP アドレスを確認します。

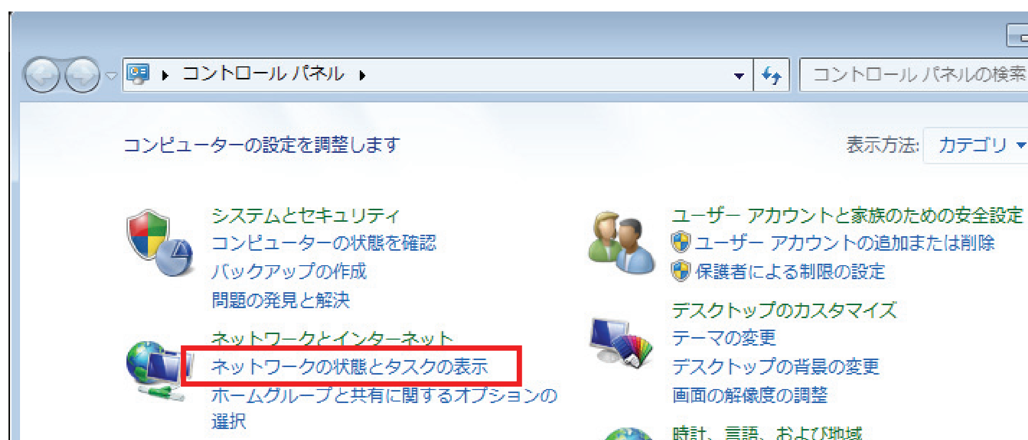
■ Windows 7／Vista のとき

※手順では Windows 7 で説明していますが、Windows Vista も同じ手順となります。

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



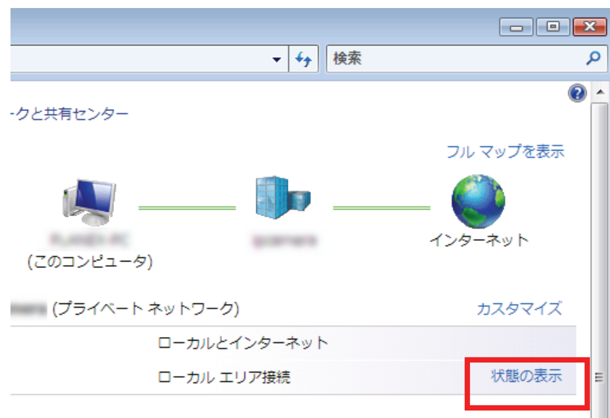
※Windows 7 でアイコン表示の場合や、Windows Vista でクラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. Windows 7 のとき



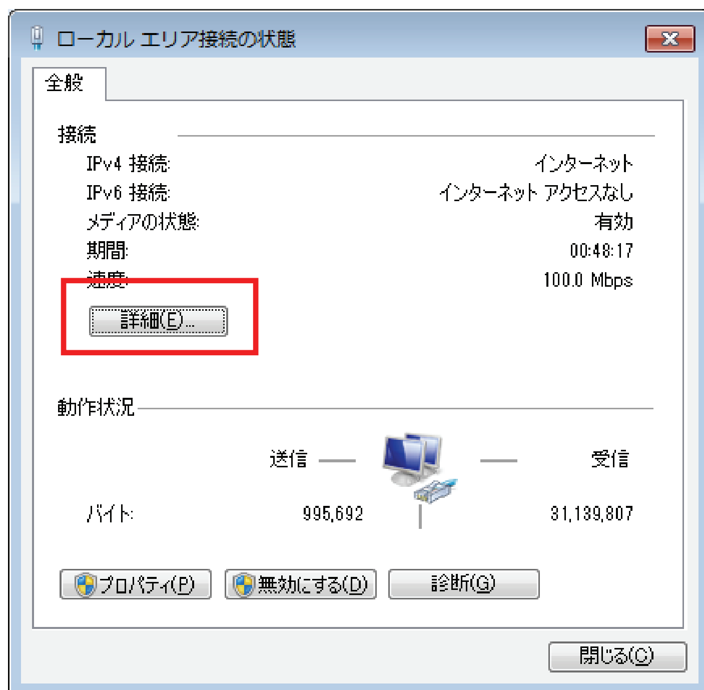
「ローカルエリア接続」をクリックします。

Windows Vista のとき

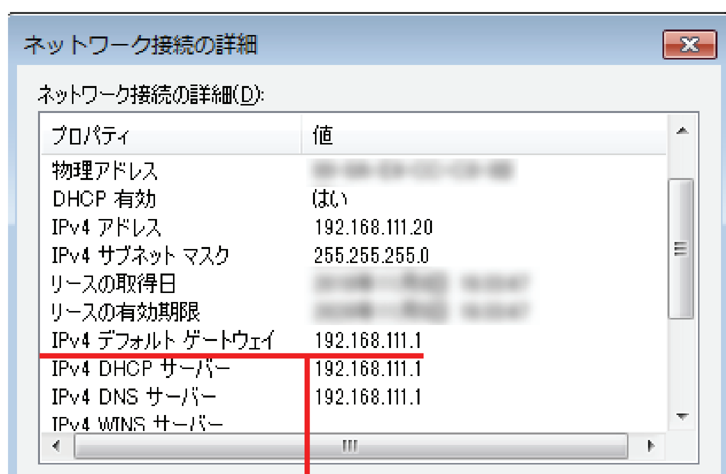


「状態の表示」をクリックします。

4. 「詳細」をクリックします。



5. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「IPv4 デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、

「192.168.111.251」とメモに取ります。

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

6. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき



※左記の画面はサンプルです。

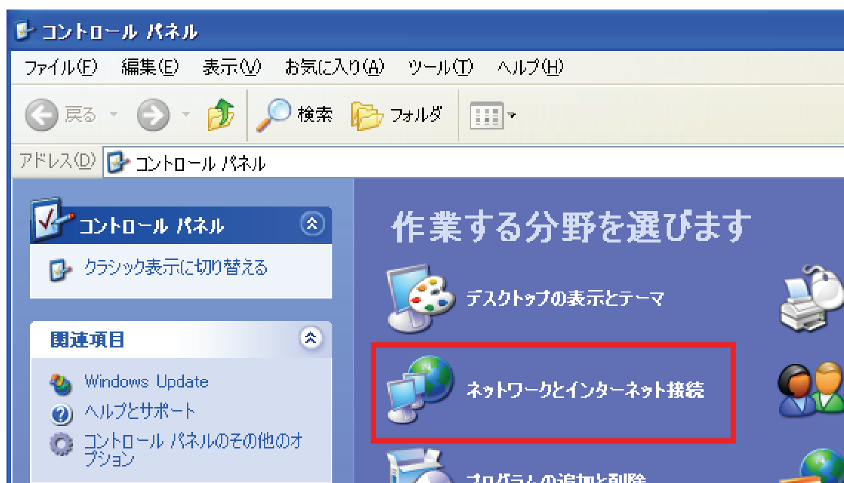
7. 「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」の手順 3 に戻ります。

■ Windows XP のとき

1. ①「スタート」ボタンをクリックします。
   ②「コントロールパネル」をクリックします。

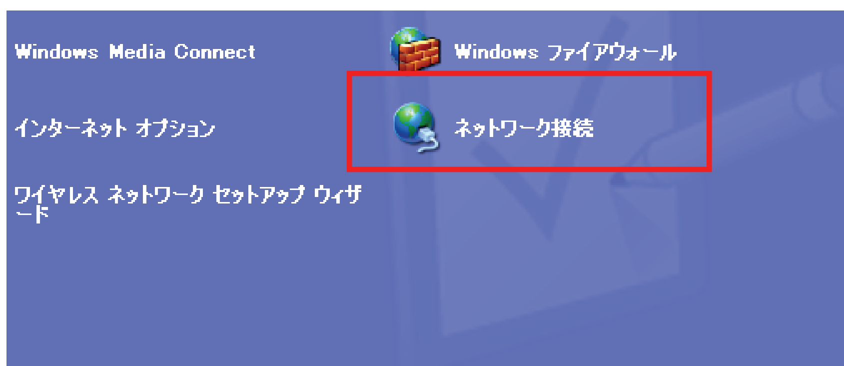


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

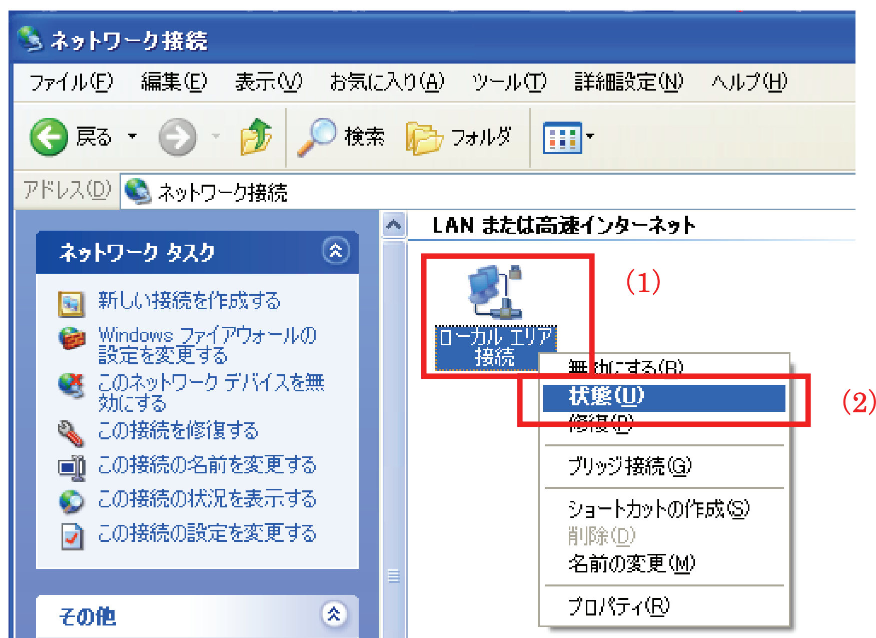


※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックをクリックします。



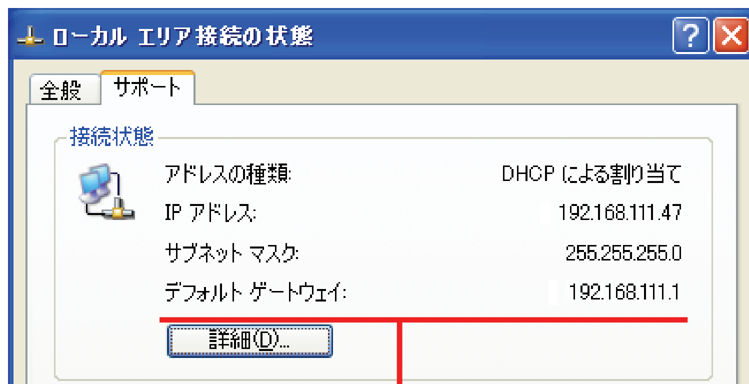
4. ①「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックします。
②「状態」をクリックします。



5. 「サポート」タブをクリックします。



6. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「デフォルト ゲートウェイ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



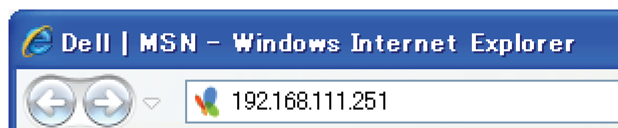
●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「デフォルト ゲートウェイ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.251」とメモに取ります。**

例） 「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

7. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 6 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき



※左記の画面はサンプルです。

8. 「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」の手順 3 に戻ります。

■ Mac OS X のとき

1. ①「アップルメニュー」をクリックします。
   ②「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 画面左の「Ethernet...」をクリックします。
   ※Mac OS X 10.4 のときは、「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択し、「TCP/IP」タブをクリックします。

4. ネットワーク接続の詳細画面に表示された「ルータ」の IP アドレスを確認し、以下のようにメモを取ります。



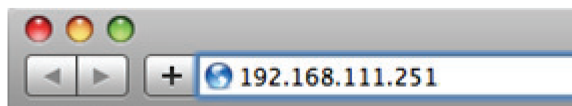
●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき

→上記の画面のように「ルータ」が「192.168.111.1」のときは、**「192.168.111.251」とメモに取ります。**

例）「192.168.3.1」ときは、「192.168.3.251」となります。

5. WEB ブラウザを起動し、アドレス欄に手順 4 でメモした IP アドレスを入力して、<Enter>を押します。

●アクセスポイントモードで動作している本製品にログインするとき



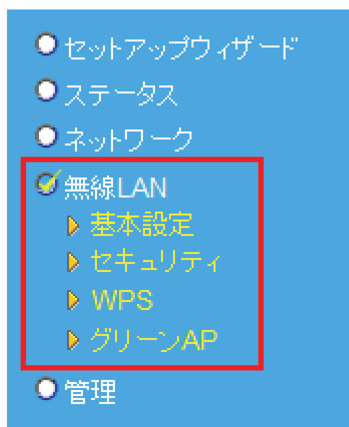
※左記の画面はサンプルです。

6. 「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」の手順 3 に戻ります。

6.4 無線 LAN 関連の設定

「無線 LAN」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。SSID、セキュリティ設定、WPS などの設定は「無線 LAN」画面で設定内容を変更してください。

無線 LAN 画面には、「基本設定」、「セキュリティ」、「WPS」、「グリーン AP」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



各設定については、以下の説明を参照してください。

6.4.1 基本設定

ここでは、無線 LAN の基本設定を行います。
（無線の「チャンネル」を変更するときは、本項より設定を行ってください）

注意：

本項で説明している無線 LAN 機能の基本設定内容は、全ての SSID で共通となります。
SSID ごとに異なる設定はできません。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2. ［基本設定］をクリックします。

MZK-EX300N2

日本語

セットアップウィザード
ステータス
ネットワーク
無線LAN
基本設定
セキュリティ
WPS
グリーンAP
管理

基本設定

基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN：	有効 無効
APモード：	AP
無線モード：	2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度：	自動
チャンネル帯域：	20/40 MHZ 20 MHZ
ガードインターバル：	自動 ロング
MCS：	自動
Decline BA Request：	有効 無効
ネットワーク名(SSID)：	ap-pc-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID1：	ap-game-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID2：	接続機器の表示
マルチSSID3：	接続機器の表示
マルチSSID4：	接続機器の表示
APアイソレーション：	有効 無効
チャンネル：	自動
BSSID：	

適用	キャンセル

3. 必要に応じて各項目を設定します。項目の説明は次項を参照してください。

基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN：	◉有効 ○無効
APモード：	AP
無線モード：	2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度：	自動
チャンネル帯域：	◉20/40 MHZ ○20 MHZ
ガードインターバル：	◉自動 ○ロング
MCS：	自動
Decline BA Request：	○有効 ◉無効
ネットワーク名(SSID)：	ap-pc-XXXXXX [接続機器の表示]
マルチSSID1：	ap-game-XXXXXX [接続機器の表示]
マルチSSID2：	[接続機器の表示]
マルチSSID3：	[接続機器の表示]
マルチSSID4：	[接続機器の表示]
APアイソレーション：	○有効 ◉無効
チャンネル：	自動
BSSID：	

[適用] [キャンセル]

4. [適用]をクリックします。

5. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

6. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

[OK]

以上で設定の完了です。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
無線 LAN	無線 LAN の「有効」または「無効」から選びます。 ※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。
AP モード	無線 LAN アクセスポイントのモードを選びます。 「AP」:無線 LAN アクセスポイントとして通信します。 「WDS」:WDS モードで通信します。 「AP＋WDS」:無線 LAN アクセスポイント、WDS 両方使用可能になります。 ※初期値は「AP」です。
無線モード	無線モードを選びます。 「2.4GHz（B）」:IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（B+G）」:IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz（G）」:IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（B+G+N）」:IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 ※初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。
伝送速度	IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信するときの伝送速度を設定します。 ※初期値は「自動」です。
チャンネル帯域	周波数帯域幅を「20/40 MHZ」または「20 MHZ」から選びます。 ※初期値は「20/40 MHZ」です。
ガードインターバル	ガードインターバルを設定します。 ※初期値は、「自動」です。
MCS	IEEE802.11n で通信するときの伝送速度を設定します。 ※初期値は、「自動」です。
Decline BA Request	Decline BA Request をを設定します。 ※初期値は「無効」です。
ネットワーク名（SSID）	無線 LAN で特定のネットワークを指定するためのグループ名のことを指し、同一の SSID の無線 LAN 機器同士で通信します。 ※半角英数字で 32 文字まで入力できます。 ※初期値は「ap-pc-XXXXXX」です。X 部分は製品ごとに異なります。
マルチ SSID	1 台の無線アクセスポイントに複数の SSID を登録して、複数の無線アクセスポイントがあるかのように使うことができる機能です。 ※「マルチ SSID 1」の初期値は「ap-game-XXXXXX」です。X 部分は製品ごとに異なります。
AP アイソレーション	AP アイソレーションを「有効」または「無効」から選びます。 「有効」:同一 SSID での通信拒否 「無効」:同一 SSID での通信許可 ※初期値は「無効」です。

チャンネル	チャンネルを「1」～「13」の範囲で選びます。 ※初期値は「自動」です。

ワンポイント

「ネットワーク名（SSID）」、「マルチ SSID 1～4」の右側にある[接続機器の表示]をクリックすると、それぞれのSSID に「接続中の無線クライアント一覧」を表示します。

※複数の「接続中の無線クライアント一覧」を同時に表示することはできません。

接続中の無線クライアント一覧

接続中のクライアント情報を表示します。

MACアドレス	モード	送信パケット	受信パケット	Txレート(Mbps)	省電力	制限時間(秒)

更新　閉じる

ワンポイント

チャンネルについて

同一の SSID 内で無線通信するには、チャンネルを同じにする必要があります。本製品のマルチ SSID 機能では、1 つのチャンネルを共通で使用します。

複数の無線 LAN アクセスポイントを設置して複数の SSID（無線 LAN グループ）を構成する場合は、アクセスポイント毎に別のチャンネルを設定しますが、アクセスポイント間の電波の干渉をさけるために、 それぞれのチャンネルは 1／6／11 など 5ch 程度離れたチャンネルに設定する必要があります。

6.4.2 セキュリティ設定

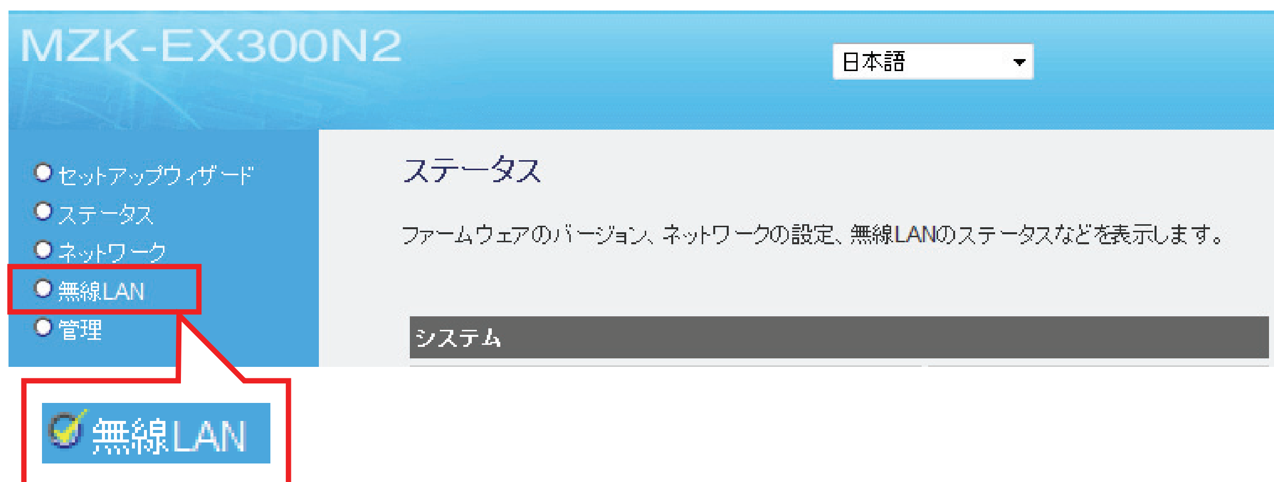
ここでは、無線 LAN のセキュリティ設定をします。

- 暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定する場合は、**【セキュリティ設定のとき】**(P74)をご参照ください。
- アクセスコントロールを使用して、無線による本製品への接続を制限する場合は、**【アクセスコントロールのとき】**(P79)をご参照ください。

【セキュリティ設定のとき】

ここでは、無線 LAN セキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2. ［セキュリティ］をクリックします。



3. 暗号化（セキュリティ）の設定をします。

※ここで設定する設定値は、無線通信する機器（パソコンやゲーム機など）に設定するときに必要になります。
メモに控えることをお勧めします。

セキュリティ

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

- SSIDの選択

SSIDの選択： ap-game-XXXXXX (1)

- セキュリティ設定

認証方式： 無効 (2)

適用　キャンセル

（1）SSID を選びます。

※ここでは「ap-game-XXXXXX」を選んでいます。

（2）「認証方式」を選びます。

- 「WEP」を選択するときの設定は、**【WEP のとき】**（P77）をご参照ください。
- 「WPA/WPA2」を選択するときは、**【WPA/WPA2 のとき】**（P78）をご参照ください。

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
SSID の選択	暗号化を設定する SSID を選びます。 マルチ SSID を設定しているときは、リストから該当する SSID を選びます。
認証方式	「WEP」を選択するときは、「Open System」、「Shared key」、 「自動（Open/ Shared）」から選びます。 「WPA/WPA2」を選択するときは、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、 「WPA-PSK/ WPA2-PSK」のいずれかを選びます。 ※本製品は IEEE 802.1 認証に対応していますが、サポート対象外です。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

[OK]

以上で設定の完了です。

【WEP のとき】

• セキュリティ設定

認証方式：	自動(Open/Shared) (1)
WEPキー長：	64-bit (2)
キーフォーマット：	16進数(10桁) (3)
デフォルトキー：	Key 1 (4)
WEPキー1：	********** (5)
WEPキー2：	**********
WEPキー3：	**********
WEPキー4：	**********

(6) 適用 キャンセル

(1)「Open System」、「Shared key」、「自動（Open/ Shared）」のいずれかを選びます。

※通常は、「自動（Open/ Shared）」を選びます。

(2)「64-bit」または「128-bit」を選びます。

(3)「キーフォーマット」より「16 進数」または「ASCII」を選びます。

※「WEP キー長」にて「64-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII（5 文字）」、「16 進数（10 桁）」と表示されます。

※「WEP キー長」にて「128-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII（13 文字）」、「16 進数（26 桁）」と表示されます。

(4)「Key1」～「Key 4」から選びます。

※通常は「キー1」を選びます。

(5)任意の暗号キーを半角英数で入力します。

以下のルールにしたがって入力してください。

	「キーフォーマット」で「**16 進数**」を選択	「キーフォーマット」で「**ASCII**」を選択
「WEP キー長」で「**64-bit**」を選択	**10 文字の暗号化キーを入力**	**5 文字の暗号化キーを入力**
「WEP キー長」で「**128-bit**」を選択	**26 文字の暗号化キーを入力**	**13 文字の暗号化キーを入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(6)［適用］をクリックします。

「6.2.2　セキュリティ設定」の「**【セキュリティ設定のとき】**」の手順 4（P76）に進みます。

【WPA/WPA2 のとき】

セキュリティ

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

- SSIDの選択

SSIDの選択： ap-game-XXXXXX

- セキュリティ設定

認証方式： WPA2-PSK (1)

暗号化： TKIP AES TKIP/AES (2)

キーの更新間隔： 86400 秒

パスフレーズ： (3)

(4) 適用 キャンセル

(1) 「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」のいずれかを選びます。
※通常は、「WPA2-PSK」を選びます。

(2) 「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」のいずれかを選びます。
※通常は、「AES」を選びます。

(3) 任意の暗号キーを半角英数で入力します。
以下のルールにしたがって入力してください。

	「**16 進数**」で設定するとき	「**文字列**」を選択
パスフレーズ	**64 文字**の暗号化キーを入力	**8～63 文字**の間で暗号化キーを入力

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。
※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

(4) [適用]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

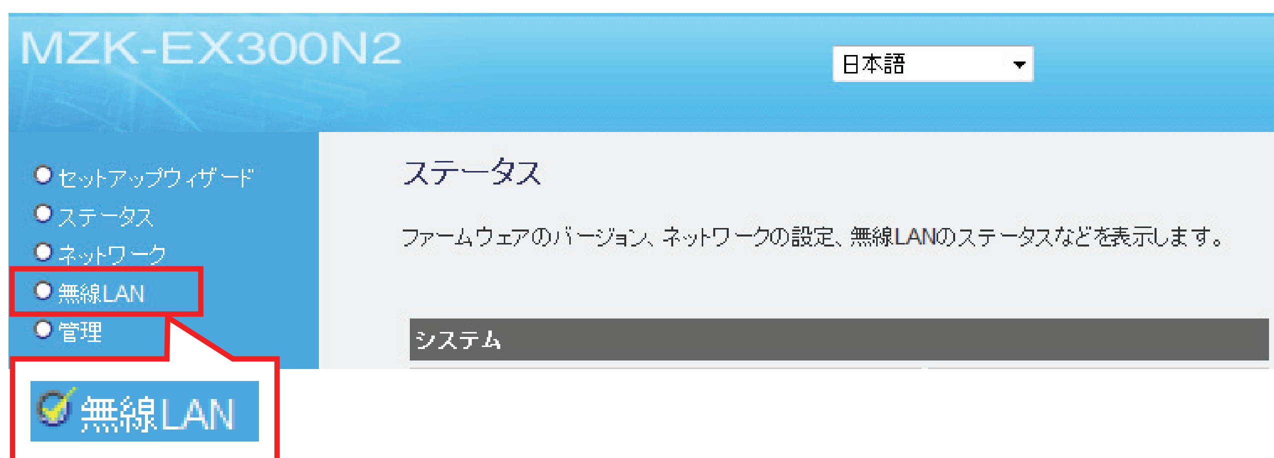
項目名	動作
キーの更新間隔	キーの更新間隔を設定します。 単位は秒。

「6.2.2 セキュリティ設定」の「**【セキュリティ設定のとき】**」の手順 4（P76）に進みます。

【アクセスコントロールのとき】

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。
アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。
「拒否」の場合、登録機器は本製品へ接続できません。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2. ［セキュリティ］をクリックします。



3. アクセスコントロールを設定します。

• アクセスコントロール
アクセスポリシー： 無効 許可 拒否 (4)
MACアドレス： (1)
コメント： (2)
(3) 追加
(5) 適用 キャンセル
No. MACアドレス コメント 選択
選択項目の削除 すべてを削除 キャンセル

(1) 制御する機器の MAC アドレスを入力します。

※登録できる最大定数は 20 個です。

(2) 必要に応じてコメントを入力します。

※最大全角 12 文字、半角 16 文字

(3) [追加]をクリックします。

「アクセスコントロール一覧」に追加されます。

※複数のアクセスポリシーを登録するときは、上記の手順(1)～(3)を繰り返します。

(4)「無効」のチェックをはずし、「許可」または「拒否」を選びます。

※「許可」：登録した MAC アドレスのみ無線 LAN 接続を許可します。

※「拒否」：登録した MAC アドレスのみ無線 LAN 接続を拒否します。

※初期値は無効です。

(5) [適用]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
選択項目の削除	「アクセスコントロール一覧」から削除したい設定内容の「選択」ボックスにチェックを付け、「選択項目の削除」 をクリックします。 「選択したものを削除しますか？」と聞かれるので[OK]をクリックします。
すべてを削除	すべてを消去するときは、「すべてを削除」をクリックします。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

[OK]

以上で設定の完了です。

6.4.3 WPS の設定

ここでは、WPS 設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。
※ WPS（Wi-Fi Protected Setup）とは、無線 LAN 関連の業界団体「Wi-Fi アライアンス」が策定した無線 LAN の簡単設定規格です。WPS 対応機器と組み合わせて無線 LAN の設定や暗号化を簡単に行うことができる機能です。

- 本体の WPS ボタンを使って接続するときは、**【WPS ボタンのとき】**（P83）をご参照ください。
- 画面を使って WPS 接続するときは、**【PBC 方式のとき】**（P85）をご参照ください。
- PIN コードを使って接続するときは、**【PIN 方式のとき】**（P87）をご参照ください。

【WPS ボタンのとき】

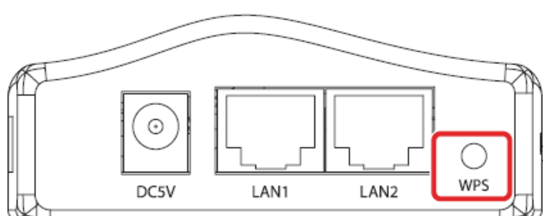
本製品本体の WPS ボタンを使って、簡単に無線 LAN 設定を行うことができます。
ただし、WPS 機能を使って設定するためには、無線 LAN ルータ（親機）と無線 LAN アダプタ（子機）がどちらとも WPS に対応している必要があります。

ワンポイント

設定を始める前に、あらかじめ以下を済ませておいてください。
※「6.3 本製品の接続」を参照し、先に通信機器と接続してください。
※無線 LAN アダプタをパソコンにインストールしておいてください。

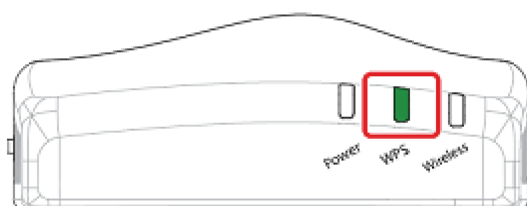
1. 本製品と WPS 対応の無線 LAN アダプタを装着したパソコンを用意し、本製品とパソコンの電源がオンになっていることを確認します。

2. 本製品背面の「WPS」ボタンを 3 秒以上押して離します。





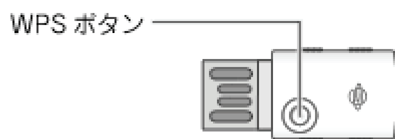
本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。



※2 分以内に次の手順を行ってください。

3.　無線 LAN 子機の WPS ボタンを押します。

※「WPS ボタン」の有無や位置については、機器ごとに異なります。
詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。



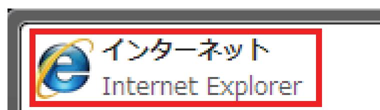
何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

4.　接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

ワンポイント

・WPS ランプが点灯のときは、まだ接続されていません。
・WPS ランプが点灯しないときは、再度 WPS ボタンを押してください。

5.　WEB ブラウザをダブルクリックして、インターネットに接続されることを確認します。



ワンポイント

※セキュリティ設定内容(暗号キーなど)は、WPS 機能によって新しく設定されます。
※WPS 機能を使用すると、初期設定した内容が WPS 機能により書き換わってしまうため、先に設定した機器は、無線 LAN 設定をやり直さなければならない場合があります。
※複数台の機器を無線 LAN 接続する場合には、手動にて「SSID」、「暗号キー」をそれぞれ設定して頂く方法をお勧めします。

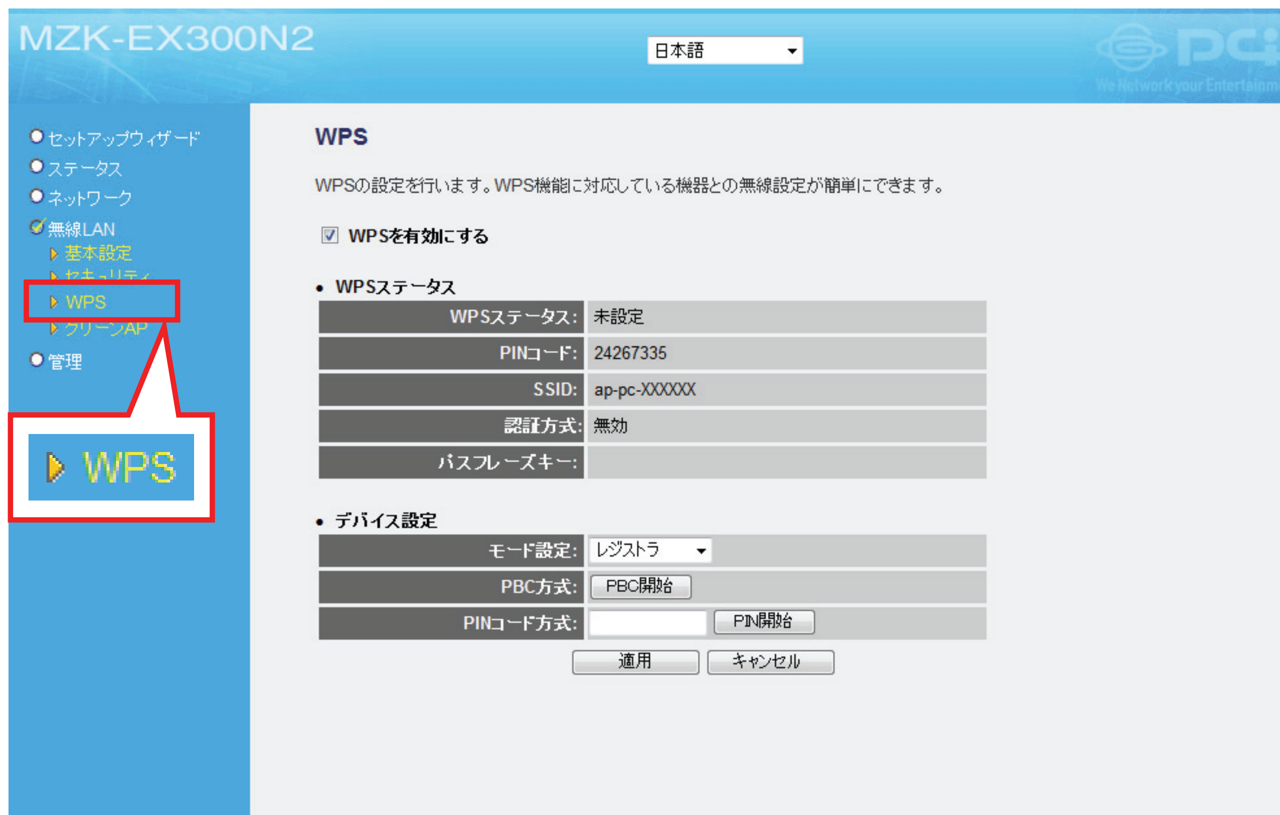
以上で設定の完了です。

【PBC 方式のとき】

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2. ［WPS］をクリックします。



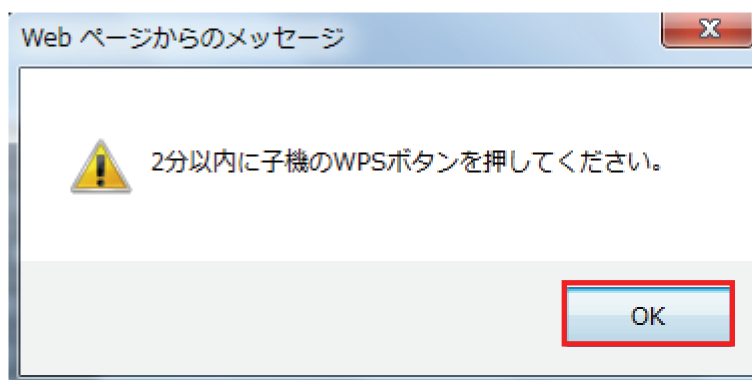
3. 「PBC 開始」をクリックします。

• デバイス設定

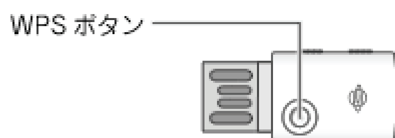
モード設定:	レジストラ	
PBC方式:	PBC開始	
PINコード方式:		PIN開始

適用　リセット

4. 以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。
本製品前面の「WPS」ランプが緑色で点灯します。



5. 無線 LAN 子機の WPS ボタンを押します。
※「WPS ボタン」の有無や位置については、機器ごとに異なります。
詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。



何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

6. 接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯します。

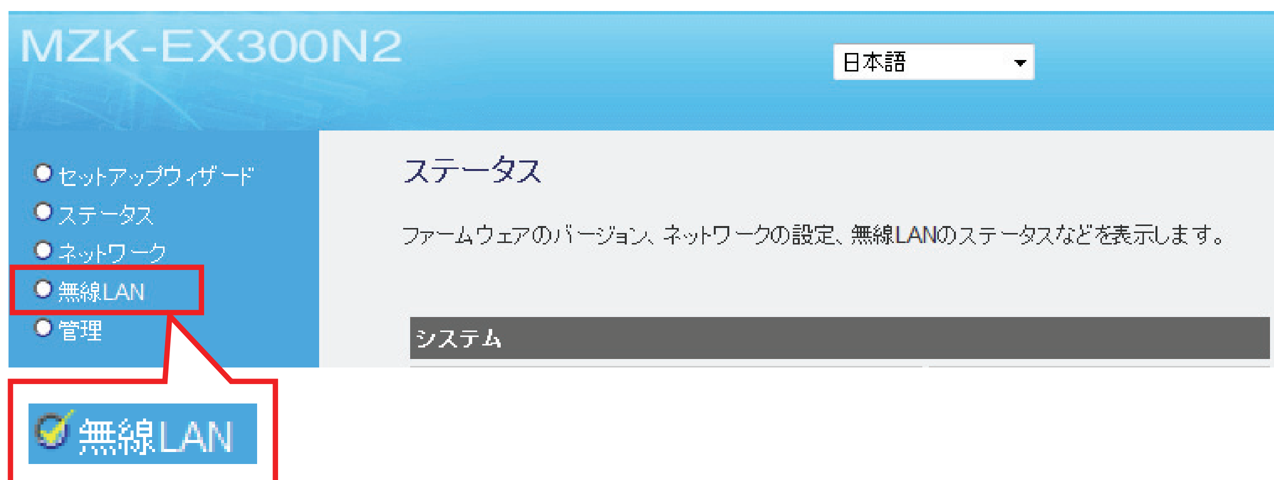
7. WEB ブラウザをダブルクリックして、インターネットに接続されることを確認します。

以上で設定の完了です。

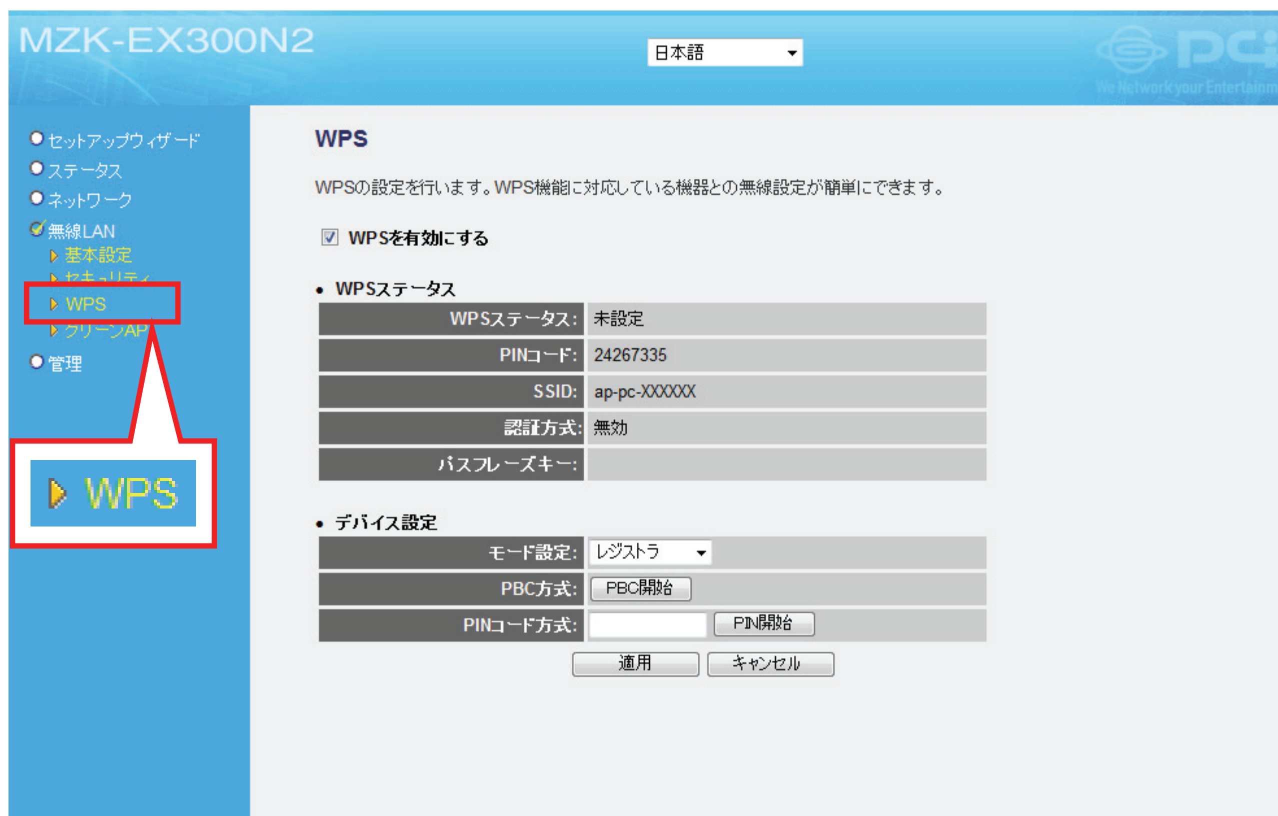
【PIN 方式のとき】

ここでは、相手側機器の PIN コードを入力する方法で説明します。

1. ［無線 LAN］をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2. ［WPS］をクリックします。



3. 設定します。

WPS

WPSの設定を行います。WPS機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

☑ **WPSを有効にする**

- WPSステータス

WPSステータス:	未設定
PINコード:	24267335
SSID:	ap-pc-XXXXXX
認証方式:	無効
パスフレーズキー:	

- デバイス設定

モード設定:	レジストラ
PBC方式:	PBC開始
PINコード方式:	(1) (2) PIN開始

適用 キャンセル

(1)「接続機器の PIN コード」欄に接続先の PIN コードを入力します。

(2)[PIN 開始]をクリックします。

何も操作せずに、30 秒～2 分ほどお待ちください。

4. 接続が完了すると、「WPS」ランプが消灯し、「Wireless」 ランプが点滅することを確認します。

以上で設定の完了です。

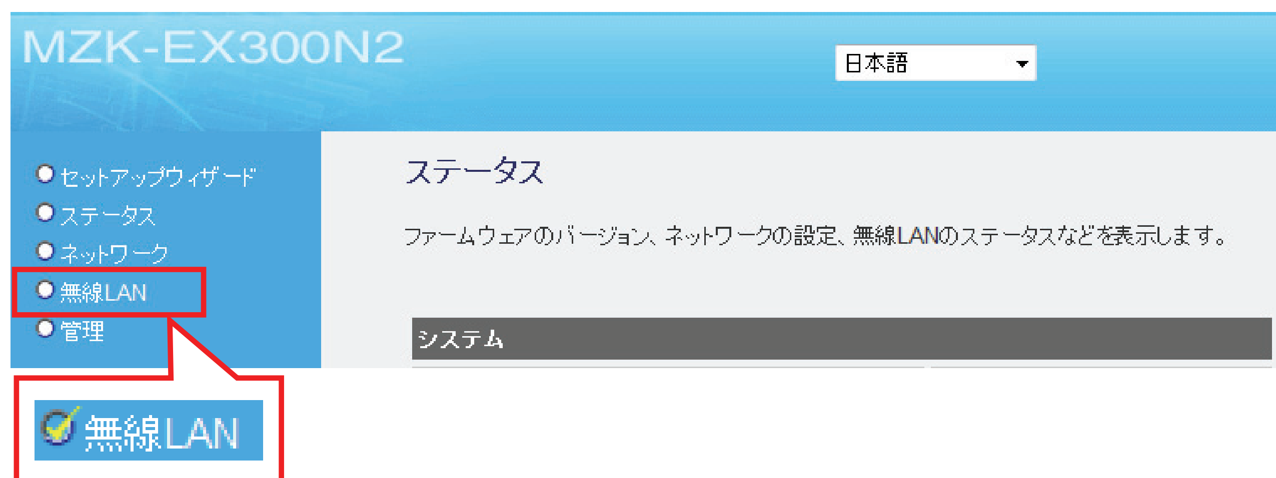
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPSを有効にする	WPS機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
PINコード	本製品のPINコードです。 相手側機器との接続にPINコードの登録が必要なときは、このコードを指定します。
モード設定	本製品側で無線アダプタの PIN コードにあわせるときは「レジストラ」を、無線アダプタ側で本製品のPINコードにあわせるときは「エンローリー」を選択します。 ※初期値は「レジストラ」です。
PINコード方式	PINコードを使って相手側機器と接続します。 **レジストラ**: 相手側機器のPINコードを入力し、[PIN開始]をクリックします。 **エンローリー**: 本製品側の[PIN開始]をクリック後、本製品側のPINコードを相手側入力し、接続を実行します。

6.2.4 グリーン AP の設定

ここでは、グリーン AP の設定を行います。指定した曜日・時間帯で無線機能の有効／無効を設定します。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する(アクセスポイントモード)」を参照してください。



2. [グリーン AP]をクリックします。



3. 各項目を設定します。

グリーンAP

グリーンAP機能により指定した時間、無線出力を省電力化または無効化することができます。

(1)

スケジュール：	開始 0 : 0	終了 0 : 0	□日 □月 □火 □水 □木 □金 □土
無線出力：	100 %(グリーンAP無効) (2)		
スケジュール：	開始 0 : 0	終了 0 : 0	□日 □月 □火 □水 □木 □金 □土
無線出力：	100 %(グリーンAP無効)		
スケジュール：	開始 0 : 0	終了 0 : 0	□日 □月 □火 □水 □木 □金 □土
無線出力：	100 %(グリーンAP無効)		
スケジュール：	開始 0 : 0	終了 0 : 0	□日 □月 □火 □水 □木 □金 □土
無線出力：	100 %(グリーンAP無効)		

(3) 適用 キャンセル

(1)時間帯・曜日を指定します。

※「開始」、「終了」：開始時間・終了時間を指定します。

※「日～土」　：チェックを入れた曜日に無線機能が有効になります。

(2)無線出力を「100%(グリーン AP 無効)」、「75%」、「50%」、「20%」、「OFF」から選びます。

(3)[適用]をクリックします。

※複数設定する場合、手順 1～3 を繰り返します。

※最大 4 つの設定ができます。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

以上で設定の完了です。

6.2.5 マルチ SSID を設定する

ここでは、マルチ SSID の設定を行います。本製品は最大 5 つの SSID を登録して使用することができます。必要に応じて 3 つ目以降の SSID を設定し、通信制御やセキュリティ設定を行います。
本製品は、設定できる5つのSSIDを「ネットワーク名（SSID）」、「マルチSSID1」～「マルチSSID 4」として扱います。

ワンポイント

[SSID について]

SSID とは、無線 LAN においてアクセスポイントと無線 LAN クライアントが通信するための共通のグループ名のことです。同一の SSID の無線 LAN 機器同士で通信します。

[マルチ SSID について]

1 台の無線アクセスポイントに複数の SSID を登録して、複数の無線アクセスポイントがあるかのように使うことができる機能です。

1. [無線 LAN]をクリックします。
   ※設定画面の表示方法については「6.3 設定画面を表示する（アクセスポイントモード）」を参照してください。



2.　［基本設定］をクリックします。

3.　任意のネットワーク名を半角英数字で入力します。

※32 文字まで入力できます。

※SSID はメモに控えておくことをお勧めします。

基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN :	◉有効 ○無効
モード :	AP
無線モード :	2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度 :	自動
チャンネル帯域 :	◉自動 20/40 MHZ ○20 MHZ
ガードインターバル :	◉自動 ○ロング
MCS :	自動
Decline BA Request :	○有効 ◉無効
ネットワーク名(SSID) :	ap-pc-XXXXXX　[接続機器の表示]
マルチSSID1 :	ap-game-XXXXXX　[接続機器の表示]
マルチSSID2 :	[接続機器の表示]
マルチSSID3 :	[接続機器の表示]
マルチSSID4 :	[接続機器の表示]
APアイソレーション :	○有効 ◉無効
チャンネル :	自動
BSSID :	[illegible]

(1)

(2)　[適用]　[キャンセル]

(1)「マルチ SSID 1～4」に任意の SSID(ネットワーク名)を半角英数で入力します。

　※初期値は、「マルチ SSID 1」に「ap-game-XXXXXX」(「XXXXXX」は製品ごとに異なります)が設定されています。

(2)[適用]をクリックします。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

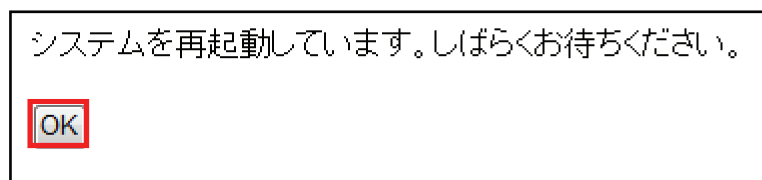
設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

[継続] [適用]

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5.　［OK］をクリックします。



6.　セキュリティを設定します。

◆設定方法については「6.4.2　セキュリティ設定」を参照してください。

以上で設定の完了です。

6.2.6 WDS の設定

ここでは、WDS（アクセスポイント間通信）の設定を行います。
本製品にはアクセスポイント間通信を行うWDS機能を搭載しています。離れた場所に設置した複数台の本製品同士を無線で接続できます。

接続例
以下の接続環境を例に説明します。



■WDS の設定内容について

WDS 機能を使って、アクセスポイント間通信を行うには、以下の設定が必要です。
該当する各手順を参照して、「本製品 A」と「本製品 B」を設定してください。

（冒頭の接続図を例に説明します）

	本製品 A	本製品 B
動作モード	アクセスポイントモードに設定します。 ※設定方法は「6.1　モードを切り替える」を参照	アクセスポイントモードに設定します。 ※設定方法は「6.1　モードを切り替える」を参照
セキュリティ	メイン SSID のセキュリティを設定します。	本製品 A と同じセキュリティを設定します。
MAC アドレス	本製品 B の無線 LAN（BSSID）の MAC アドレスを設定します。 ※　BSSID の確認は「6.4.1　基本設定」を参照	本製品 A の無線 LAN（BSSID）の MAC アドレスを設定します。 ※　BSSID の確認は「6.4.1　基本設定」を参照
IP アドレス（LAN 側）	例：192.168.111.XXX ※確認方法は「7.1.1　LAN 設定」を参照	本製品 A と同じセグメントの IP アドレスを設定します。 例：192.168.111.ZZZ
DHCP	「有効」に設定します。	「無効」に設定します。

※1 LAN 側の IP アドレスが、それぞれの本製品で同一にならないように設定します。

（例）　1 台目の本製品が「192.168.111.1」のときは、2 台目の本製品を「192.168.111.240」のように、頭から 4 つ目の数値を重複しないように設定変更します。

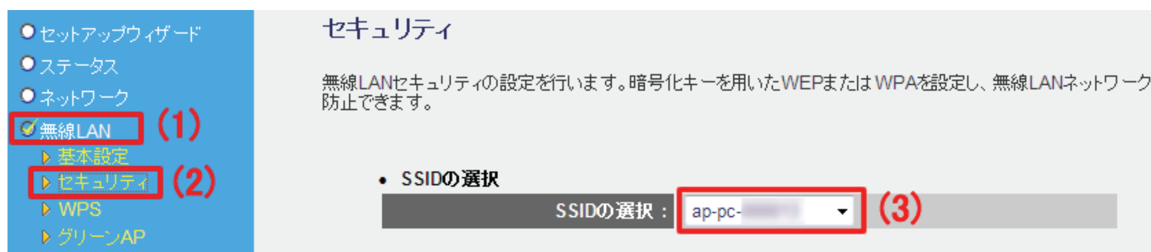
【本製品 A の設定】

本製品 A 側を設定します。**本手順ではセキュリティを「WPA」または「WPA2」に設定する手順で説明します。**

注意： 事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス（BSSID）を確認し、メモに控えてください。
確認方法は、「6.4.1　基本設定」を参照してください。



1. 本製品 A の無線 LAN セキュリティを設定します。



（1）WEB 設定画面の左メニューより、「無線 LAN」をクリックします。

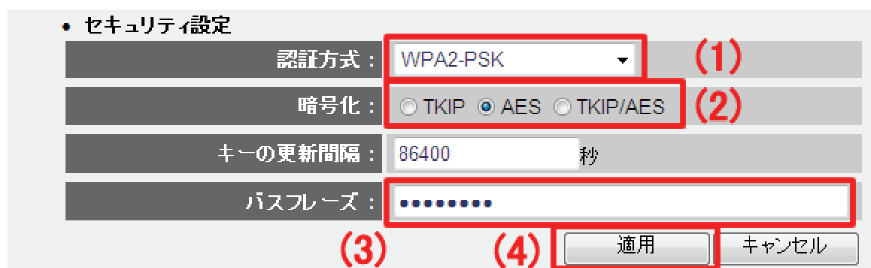
（2）「セキュリティ」をクリックします。

（3）SSID の選択にて、「ap-pc-XXXXXX」を選びます。 （「XXXXXX」は製品ごとに異なります）

2. セキュリティを設定します。

※ここで設定するセキュリティはアクセスポイント側の設定です。WDS 用は手順 7 にて行います。

※すでに「ap-pc-XXXXXX」に接続している機器があるときは、ここで設定する内容に変更してください。



（1）「認証方式」を、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」から選びます。

（2）「暗号化」を、「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」から選びます。

（3）任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	文字列で設定するとき
パスフレーズ	**64 文字で入力**	**8～63 文字の間で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

（4）[適用]をクリックします。

3.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

4.　WDS の設定を行います。

セットアップウィザード
ステータス
ネットワーク
無線LAN (1)
基本設定 (2)
セキュリティ
WPS
グリーンAP

基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN : 有効 無効
モード : AP+WDS (3)
無線モード : 2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度 : 自動
チャンネル帯域 : 自動 20/40 MHZ　20 MHZ
ガードインターバル : 自動　ロング
MCS : 自動
Decline BA Request : 有効 無効
ネットワーク名(SSID) : ap-pc-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID1 : ap-game-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID2 : 接続機器の表示
マルチSSID3 : 接続機器の表示
マルチSSID4 : 接続機器の表示
APアイソレーション : 有効 無効
チャンネル : 13 (4)
BSSID :
WDS MACアドレス 1 : 000000000000 (5)
WDS MACアドレス 2 : 000000000000
WDS MACアドレス 3 : 000000000000
WDS MACアドレス 4 : 000000000000
WDSセキュリティ : 設定

(6) 適用　キャンセル

(1)「無線 LAN」をクリックします。

(2)「基本設定」をクリックします。

(3)「モード」で、「AP+WDS」を選びます。

(4)「1」～「13」の間で、「チャンネル」を任意に設定します。

※「自動」は設定しないでください。

※ここで設定したチャンネルは本製品 B にも設定します。メモに控えてください。

(5)本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレスを入力します。

入力方法　：　「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(6)[適用]をクリックします。

5.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

6.「無線 LAN」の「基本設定」に戻ります。画面下「WDS セキュリティ」の[設定]をクリックします。

WDS MACアドレス 3：	000000000000
WDS MACアドレス 4：	000000000000
WDSセキュリティ：	設定

7.　WDS 用のセキュリティを設定し、設定した内容をメモに控えます。

※メモした内容は、本製品 B の設定をするときに使用しますので、必ず控えてください。

WDSセキュリティ設定

暗号化：	WPAプレシェアードキー
WPAユニキャスト暗号スイート：	WPA(TKIP)　WPA2(AES)　(1)
共有キーフォーマット：	パスフレーズ　(2)
プレシェアードキー：	(3)

(4)

閉じる　適用　キャンセル

（1）「WPA（TKIP）」または「WPA（AES）」を選びます。

（2）「パスフレーズ」または「16 進数 （64 文字）」を選びます。

（3）任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	（2）で「パスフレーズ」を選択時	（2）で「Hex (64 character)」を選択時
プレシェアードキー	**8～63 文字の間で入力**	**64 文字で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

（4）[適用]をクリックします。

8.　「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

以上、本製品 A の設定は完了です。

【本製品 B の設定】

本製品 B 側を設定します。本手順ではセキュリティを「WPA」または「WPA2」に設定する手順で説明します。

注意 1: 事前に本製品 A と本製品 B の無線 LAN 側 MAC アドレス(BSSID)を確認し、メモに控えてください。
確認方法は、「6.4.1 基本設定」を参照してください。

注意 2: 事前に本製品 A に設定された IP アドレスを確認し、メモに控えてください。
確認方法は、「7.1.1 LAN 設定」を参照してください。

(上記の IP アドレス「192.168.1.251」は例です。実際の環境と設定値は異なります)

1. 本製品 B の無線 LAN セキュリティを設定します。

(1)WEB 設定画面の左メニューより、「無線 LAN」をクリックします。

(2)「セキュリティ」をクリックします。

(3)SSID の選択にて、「ap-pc-XXXXXX」を選びます。 (「XXXXXX」は製品ごとに異なります)

2. セキュリティを設定します。

（1）「認証方式」を、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」、「WPA-PSK/ WPA2-PSK」から選びます。

（2）「暗号化」を、「TKIP」、「AES」、「TKIP/AES」から選びます。

（3）任意の暗号化キーを半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数で設定するとき	文字列で設定するとき
パスフレーズ	**64 文字で入力**	**8～63 文字の間で入力**

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※文字列の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

（4）[適用]をクリックします。

3. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

4. （1）「無線 LAN」をクリックします。

（2）「基本設定」をクリックします。

4. WDS の設定を行います。

基本設定

無線LANの基本設定を行います。

無線LAN :	有効 無効
モード :	AP+WDS (1)
無線モード :	2.4 GHz (B+G+N)
伝送速度 :	自動
チャンネル帯域 :	自動 20/40 MHZ 20 MHZ
ガードインターバル :	自動 ロング
MCS :	自動
Decline BA Request :	有効 無効
ネットワーク名(SSID) :	ap-pc-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID1 :	ap-game-XXXXXX 接続機器の表示
マルチSSID2 :	接続機器の表示
マルチSSID3 :	接続機器の表示
マルチSSID4 :	接続機器の表示
APアイソレーション :	有効 無効
チャンネル :	13 (2)
BSSID :	
WDS MACアドレス 1 :	000000000000 (3)
WDS MACアドレス 2 :	000000000000
WDS MACアドレス 3 :	000000000000
WDS MACアドレス 4 :	000000000000
WDSセキュリティ :	設定

(4) 適用 キャンセル

(1)「モード」で、「AP+WDS」を選びます。

(2)本製品 A の設定でメモした同じチャンネルを選びます。

(3)本製品 A の無線 LAN 側 MAC アドレスを入力します。

入力方法 ： 「00:11:22:33:44:55」のときは、「001122334455」と入力します。

(4)[適用]をクリックします。

5. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[継続]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

6. 「無線 LAN」の「基本設定」に戻ります。画面下「WDS セキュリティ」の[設定]をクリックします。

WDS MACアドレス 3 :	000000000000
WDS MACアドレス 4 :	000000000000
WDSセキュリティ :	設定

7. 本製品 A で設定した同じ WDS 用のセキュリティを設定します。

(1)本製品 A で設定した「WPA ユニキャスト暗号スイート」を選びます。

(2)本製品 A で設定した「共有キーフォーマット」を選びます。

(3)本製品 A で設定した暗号化キーを入力します。

(4)[適用]をクリックします。

8. 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

9. IP アドレスを設定します。

(1)「ネットワーク」をクリックします。

(2)本製品 A に設定された IP アドレスに合わせて、本製品 B の IP アドレスを入力します。

例)本製品 A が「192.168.111.251」のときは、本製品 B は「192.168.111.240」と設定します。

※IP アドレスの右一つ目(例では 240 の部分)が重複しない「1」~「248」の数値を入力します。

(3)「DHCP サーバ自動検出」を「無効」にします。。

(4)[適用]をクリックします。

10. 「設定の保存に成功しました。」と表示されます。[適用]をクリックし、本製品を再起動します。

以上、本製品 B の設定は完了です。

第 7 章：詳細設定（共通編）

ここでは、各設定画面について説明します。

7.1 ネットワーク関連の設定

ここでは、ネットワーク関連の各種設定を行います。

7.1.1　LAN 設定

ここでは、LAN 側の設定方法を説明します。

1.　[ネットワーク]をクリックします。
　※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。
　※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する」を参照してください。

2. 各項目を設定します。

IPアドレス：	192.168.1.251
サブネットマスク：	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ：	192.168.1.1
プライマリDNSサーバ：	8.8.8.8
セカンダリDNSサーバ：	8.8.4.4
MACアドレス：	00:22:cf:b1:08:aa
DHCPサーバ自動検出：	有効

適用　キャンセル

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP アドレス	本製品に設定する LAN 側の IP アドレスを入力します。 初期値は、「192.168.1.251」です。
サブネットマスク	本製品に設定する LAN 側のサブネットマスクを入力します。 初期値は、「255.255.255.0」です。
デフォルトゲートウェイ	本製品に設定する LAN 側のデフォルトゲートウェイを入力します。 初期値は、「192.168.1.1」です。
プライマリ DNS サーバ	上位のプライマリ DNS サーバ(ルータなど)の IP アドレスを入力します。 初期値は、「8.8.8.8」です。
セカンダ DNS サーバ	上位のセカンダリ DNS サーバ(ルータなど)の IP アドレスを入力します。 初期値は、「8.8.4.4」です。
DHCP サーバ自動検出	接続先に DHCP サーバがあるかないかを判断します。 **「有効」**: ・上位ルータと接続したときは、本製品の IP アドレスを「xxx.xxx.xxx.AAA」に変更します。 ※「xxx.xxx.xxx」は上位のルータに依存します。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「有効」のときに、任意に設定できるのは IP アドレス「xxx.xxx.xxx.AAA」の「AAA」のみとなります。その他の項目は、設定できません。 ・パソコンに接続したときは、本製品の DHCP サーバを有効にします。 **「無効」**: ・「DHCP サーバ自動検出」を無効にします。 ※ 各項目を任意に設定してください。 ※「DHCP サーバ自動検出」が「無効」のときは、本製品に接続するパソコンの IP アドレスを手動取得してください。 (「8.3 IP アドレスの設定」の「8.3.2 手動設定」を参照してください。) 初期設定は「有効」です。

3.　[適用]をクリックします。

4.　「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5.　[OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

以上で設定の完了です。

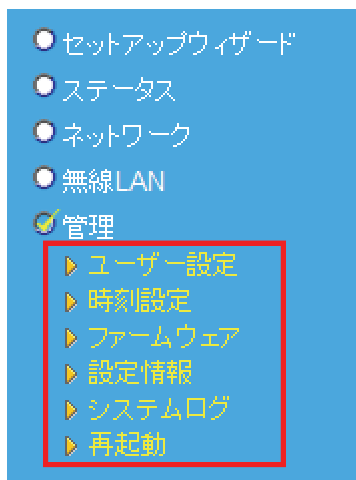
注意：

- 設定を変更した後は、パソコンなど各ネットワーク機器は一度再起動してください。
- 変更した IP アドレスなどの値はメモなどに取って保管してください。
- 以後、本製品の設定画面を表示するときは、上記で設定した IP アドレスを WEB ブラウザのアドレス欄に入力します。

7.2 システム管理関連

「管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、設定情報管理などは「管理」画面で設定・確認をしてください。

管理画面には、「ユーザ設定」、「時刻設定」、「ファームウェア」、「設定情報」、「システムログ」、「再起動」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

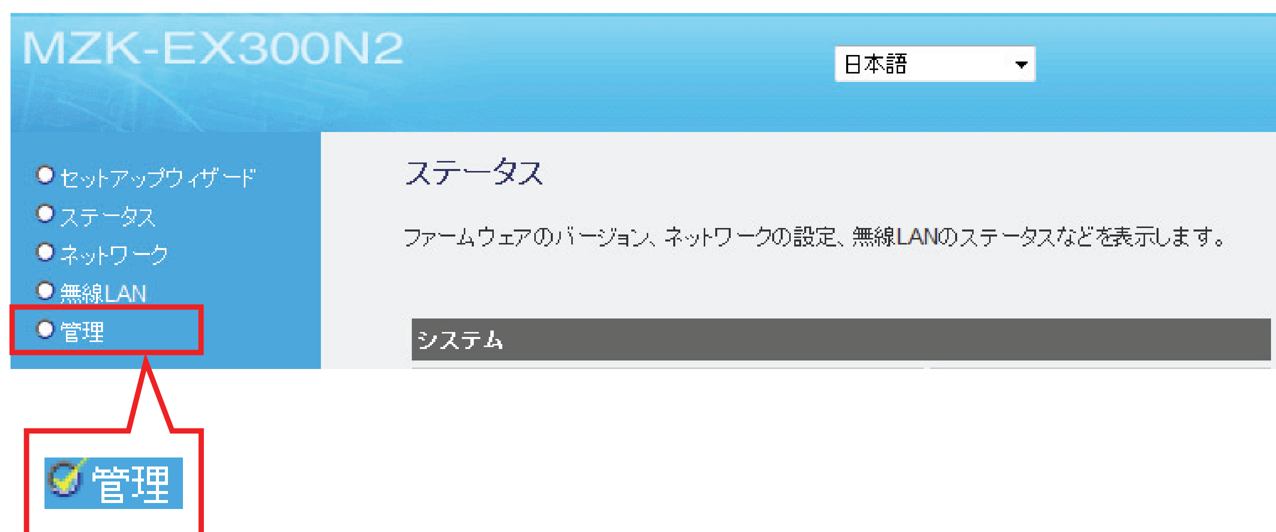


各設定については、以下の説明を参照してください。

7.2.1 ユーザ名・パスワードの変更

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。

1. [管理]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [ユーザ設定]をクリックします。



3. 設定します。

ユーザー設定

現在のパスワード：		(1)
ユーザID：	admin	(2)
新しいパスワード：		(3)
パスワードの確認：		(4)

(5) 適用 キャンセル

(1)現在設定されているパスワードを入力します。
※初期値は「password」です。
(2)新たに設定するユーザ名を入力します。
※初期値は「admin」です。
(3)新たに設定するパスワードを入力します。
(4)入力間違いを防ぐ為、手順3と同じパスワードを入力します。
(5)[適用]をクリックします。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

5. ログイン画面が表示されますので、変更したユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
(1)変更したユーザ名を入力します。
(2)変更したパスワードを入力します。
(3)[OK]をクリックします。

Windows セキュリティ

Default: admin/password のサーバー 192.168.1.1 にはユーザー名とパスワードが必要です。

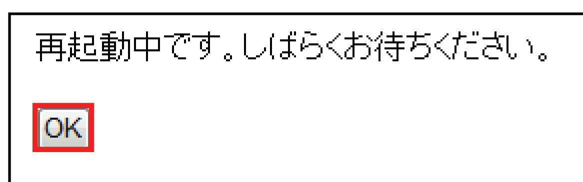
警告: このサーバーは、ユーザー名とパスワードを安全ではない方法で送信することを要求しています (安全な接続を使わない基本的な認証)。

admin (1)
●●●●●●●● (2)
資格情報を記憶する

(3) OK キャンセル

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

6.　［OK］をクリックします



以上で設定の完了です。

7.2.2 時刻設定

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。

- NTP サーバの設定するときは、**【NTP サーバの設定】**(P113)を参照してください。

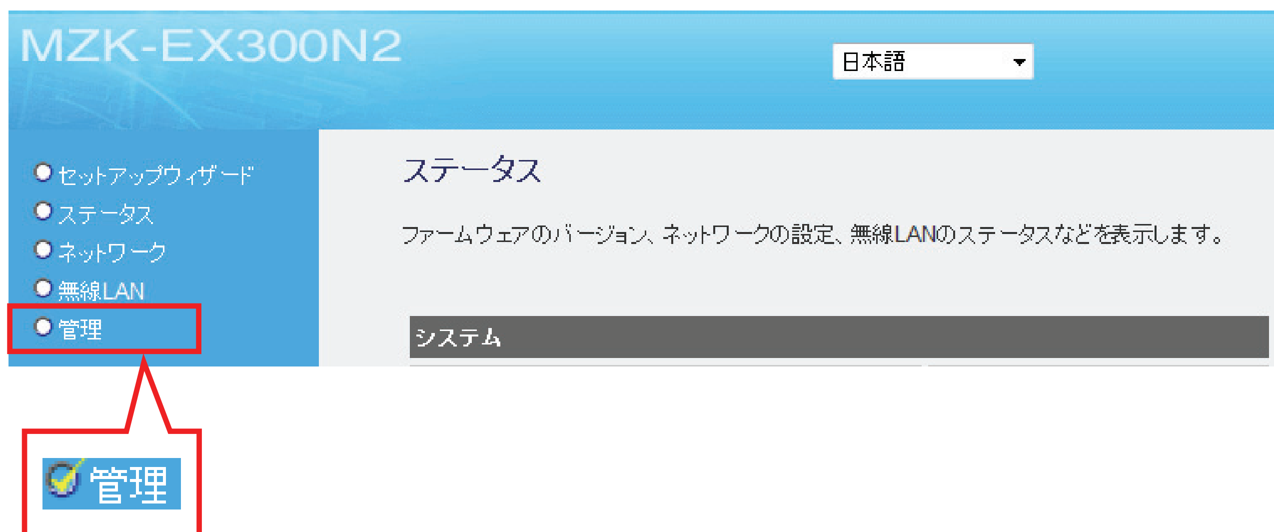
- 時刻を設定するときは、**【時刻の設定】**(P115)を参照してください。

【NTP サーバの設定】

1. ［管理］をクリックします。

※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。

※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する」を参照してください。



2. ［時刻設定］をクリックします。



3. 設定します。

時刻設定

PCと同期またはNTPサーバの設定を行い、時刻を設定します。

現在の時刻：	2000年1月1日 1時36分29秒
PCと同期：	実行
タイムゾーンの選択：	(GMT+09:00)大阪、札幌、東京 (1)
NTPサーバ：	203.117.180.36 (2)
インターネット時刻修正：	実行

(3) 適用 キャンセル

(1)タイムゾーンを選びます。

※初期値は「(GMT＋09:00)大阪、札幌、東京」です。

(2)NTP サーバを設定します。

※初期値は「203.117.180.36」です。

(3)[適用]をクリックします。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続 適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. [OK]をクリックします。

再起動中です。しばらくお待ちください。

OK

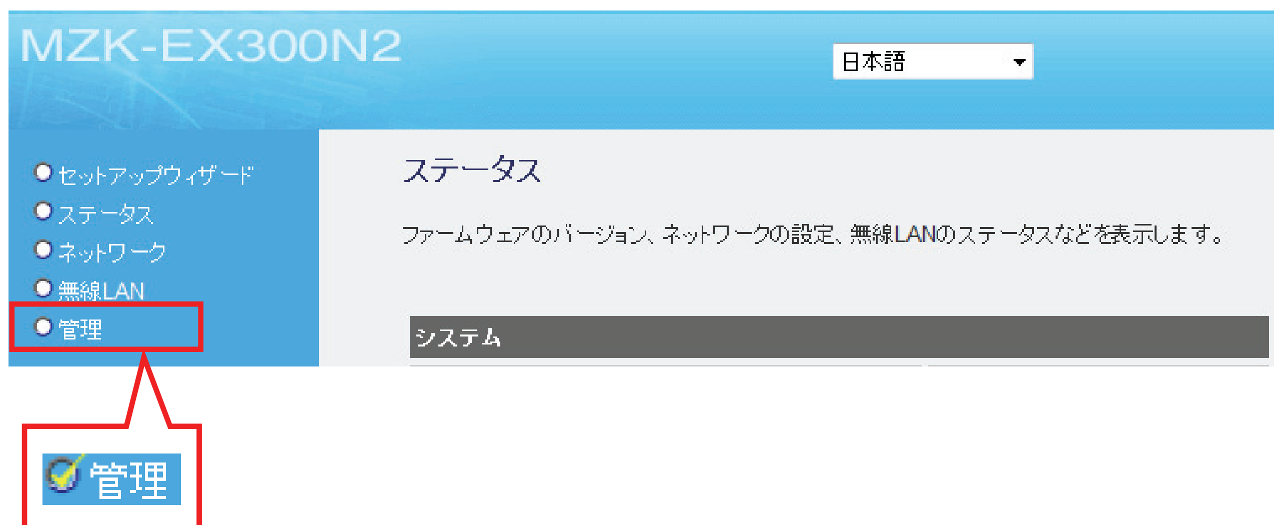
以上で設定の完了です。

【時刻の設定】

1. ［管理］をクリックします。

   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。

   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する」を参照してください。



2. ［時刻設定］をクリックします。



3. 設定します。

- PC と同期して設定するときは、「**時刻を PC と同期して設定するとき**」を参照してください。
- インターネットを通して設定するときは、「**時刻をインターネットに通して設定するとき**」を参照してください。

■時刻を PC と同期して設定するとき

時刻設定

PCと同期またはNTPサーバの設定を行い、時刻を設定します。

現在の時刻：	2000年1月1日 1時36分29秒
PCと同期：	実行
タイムゾーンの選択：	(GMT+09:00)大阪、札幌、東京
NTPサーバ：	203.117.180.36
インターネット時刻修正：	実行

適用　キャンセル

(1)[実行]をクリックします。

手順 4 に進みます。

■時刻をインターネットに通して設定するとき

時刻設定

PCと同期またはNTPサーバの設定を行い、時刻を設定します。

現在の時刻：	2000年1月1日 1時36分29秒
PCと同期：	実行
タイムゾーンの選択：	(GMT+09:00)大阪、札幌、東京
NTPサーバ：	203.117.180.36
インターネット時刻修正：	実行

適用　キャンセル

(1)[実行]をクリックします。

手順 4 に進みます。

4. 「設定の保存に成功しました。」と表示されますので、[適用]をクリックします。

設定の保存に成功しました。

引き続き他の設定を行う場合は[継続]ボタンを押してください。すべての設定を反映し再起動するには[適用]ボタンを押してください。

継続　適用

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5. ［OK］をクリックします。

以上で設定の完了です。

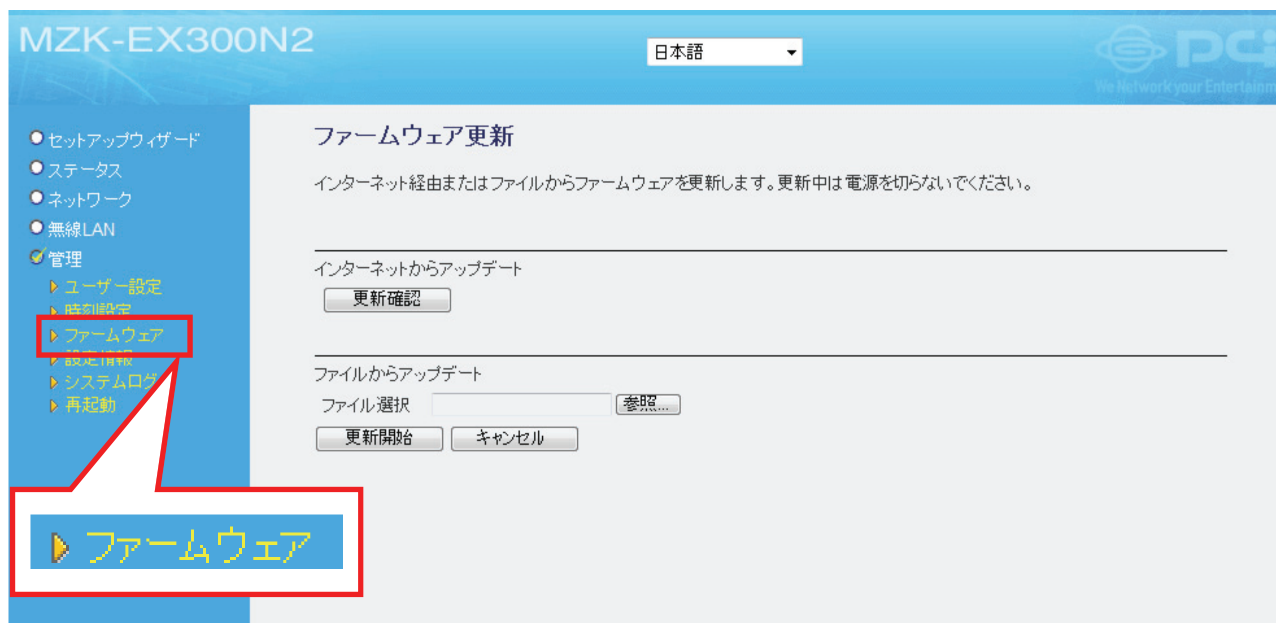
7.2.3 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

1. [管理]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。

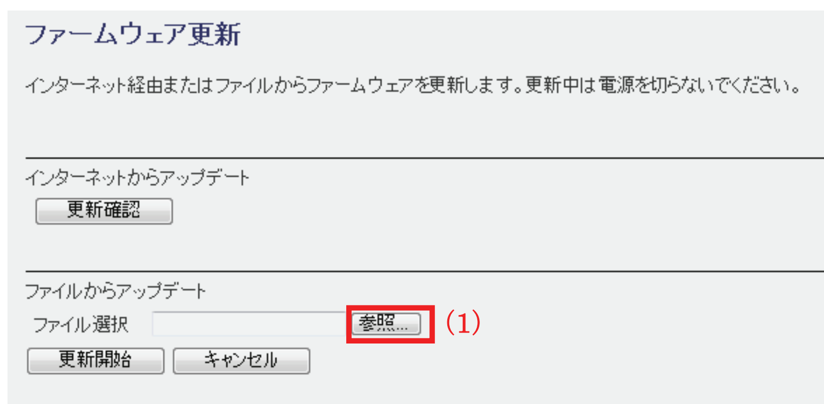


2. [ファームウェア]をクリックします。



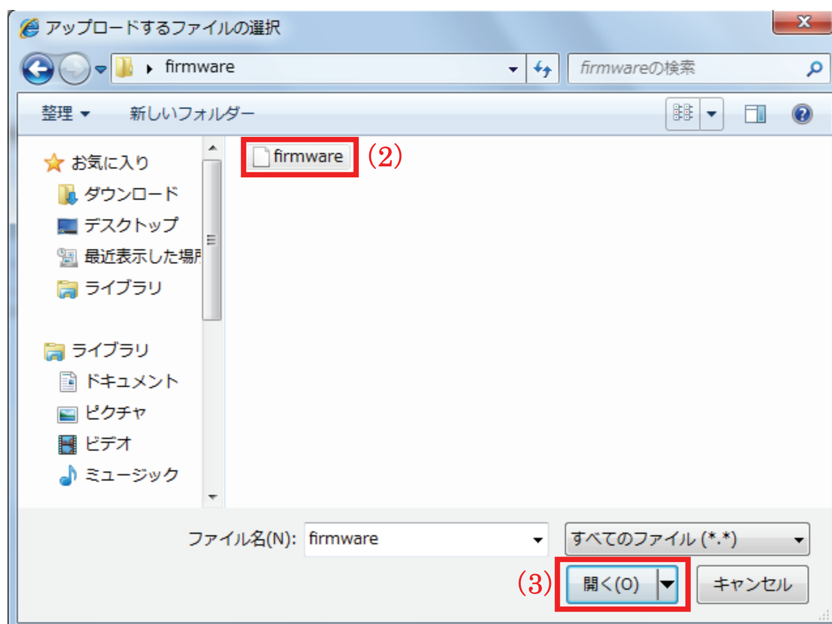
3.　設定します。

(1)[参照]をクリックします。



(2)予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

(3)[開く]をクリックします。



(4)[更新開始]をクリックします。



※アップデートが終わるまでしばらく待ちます。

(5)確認メッセージが出ますので[OK]をクリックします。

他の設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
インターネットからアップデート	[更新確認]をクリックすると、インターネットからファームウェアをアップデートすることができます。

4.　「アップデートが完了しました。」と表示されたら、ブラウザのページを更新します。

アップデートが完了しました。

ブラウザのページを更新すると再接続できます。失敗した場合は、2分ほど待ってからブラウザのページを更新してください。それでも失敗した場合は、本製品の電源を入れなおして再起動してください。

以上で設定の完了です。

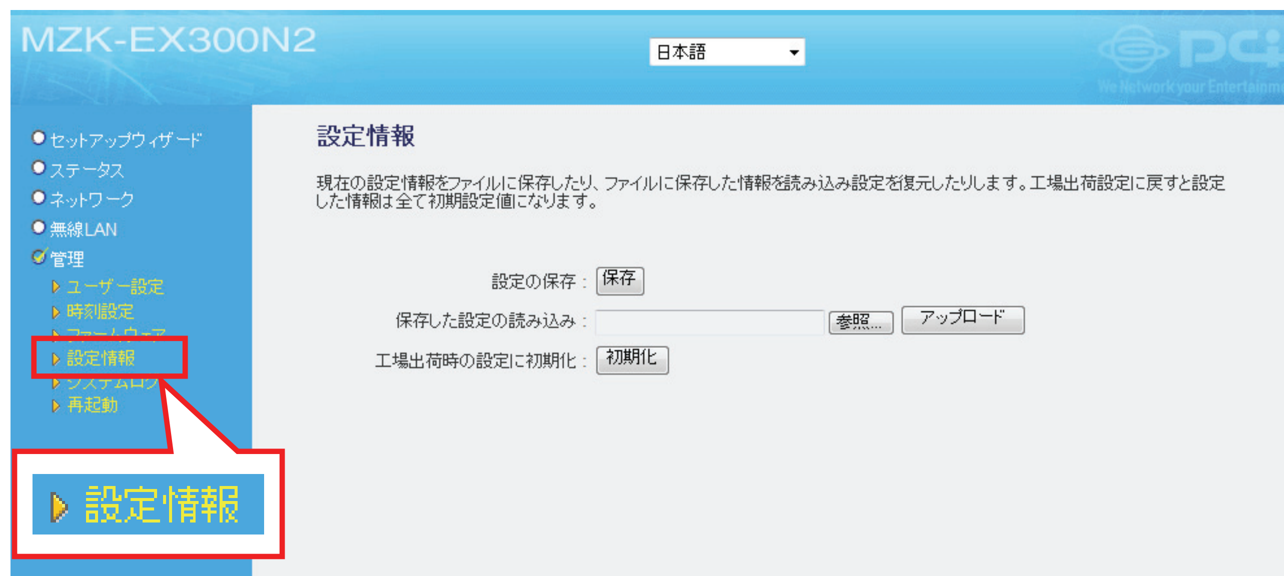
7.2.4 バックアップ／リストア

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をします。

1. ［管理］をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1　設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3　設定画面を表示する」を参照してください。



2. ［設定情報］をクリックします。



3.　設定します。

- バックアップをするときは、**【設定を保存するとき】**(P122)を参照してください。
- リストアするときは、**【設定を復元するとき】**(P123)を参照してください。

【設定を保存するとき】

(1)[保存]ボタンをクリックします。

設定情報

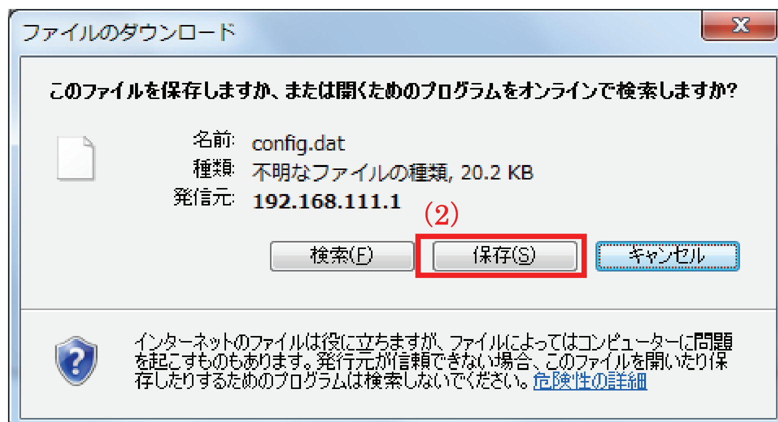
現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。工場出荷設定に戻すと設定した情報は全て初期設定値になります。

設定の保存：保存 (1)

保存した設定の読み込み：参照... アップロード

工場出荷時の設定に初期化：初期化

(2)以下の画面が表示されますので、[保存(S)]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。



以上で設定の完了です。

【設定を復元するとき】

(1)[参照]をクリックします。

設定情報

現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。工場出荷設定に戻すと設定した情報は全て初期設定値になります。

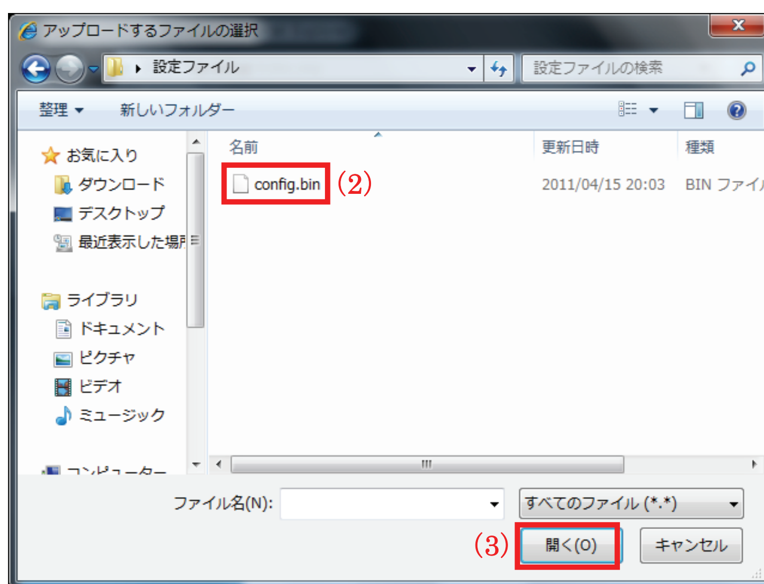
設定の保存：保存

保存した設定の読み込み：参照… アップロード (1)

工場出荷時の設定に初期化：初期化

(2)予め保存した設定ファイルを指定します。

(3)[開く]をクリックします。



(4)[アップロード]をクリックします。

※再起動が終わるまで待ちます。

設定情報

現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。工場出荷設定に戻すと設定した情報は全て初期設定値になります。

設定の保存：保存

保存した設定の読み込み：参照… アップロード (4)

工場出荷時の設定に初期化：初期化

(5)[OK]をクリックします。

アップロードに成功しました。再起動中です。

OK

以上で設定の完了です。

7.2.5 初期化

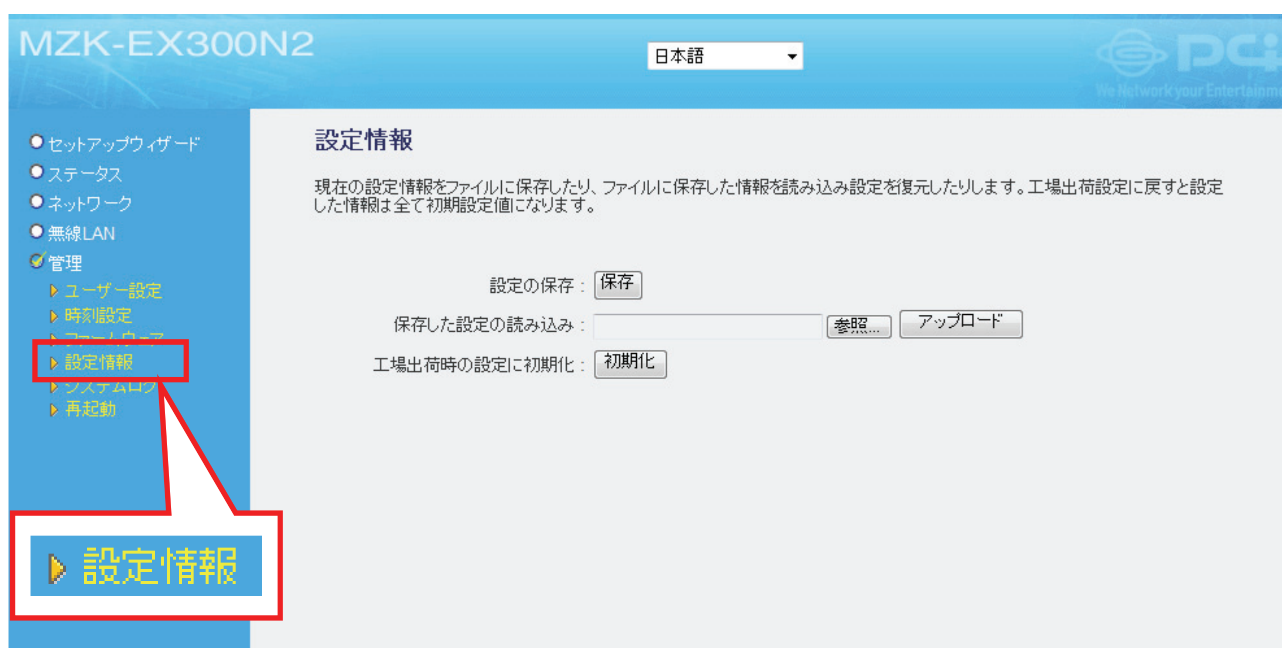
ここでは、本製品の初期化を行います。

注意： 初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. [管理]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [設定情報]をクリックします。



3.　［初期化］をクリックします。

設定情報

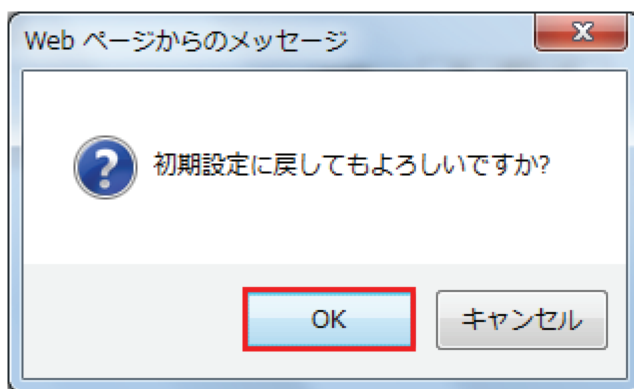
現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。工場出荷設定に戻すと設定した情報は全て初期設定値になります。

設定の保存：［保存］

保存した設定の読み込み：［参照...］［アップロード］

工場出荷時の設定に初期化：［初期化］

4.　「初期設定に戻してもよろしいですか？」と表示されるので、［OK］をクリックします。

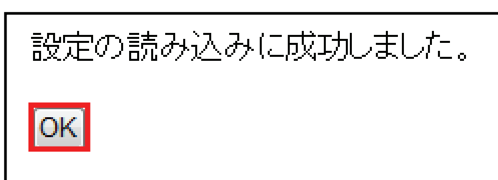




本製品が再起動し初期化します。

※本製品が再起動するまで約 30 秒かかります。

5.　［OK］をクリックします。



以上で設定の完了です。

7.2.6 システムログ

「システムログ」画面で、本製品のシステムログ情報を表示します。

1. [管理]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。



2. [システムログ]をクリックします。



3. 設定します。

システムログ

システムの稼働状況の確認をします。

```
Jan  1 00:00:00 (none) syslog.info syslogd started: BusyBox v1.11.1
```

消去　更新

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
消去	ログを消去します。
更新	最新の情報に更新します。

以上で設定の完了です。

7.2.7 再起動

「再起動」画面で、本製品を再起動することができます。

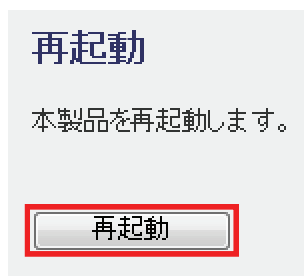
1. [管理]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。



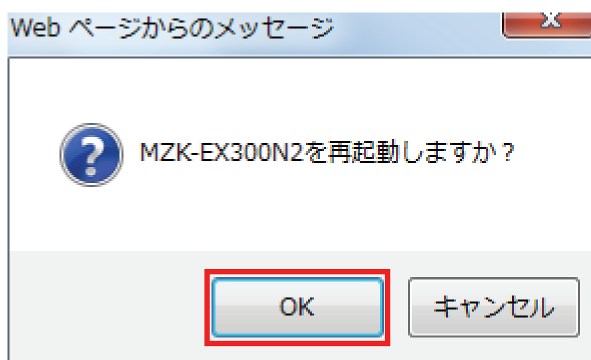
2. [再起動]をクリックします。



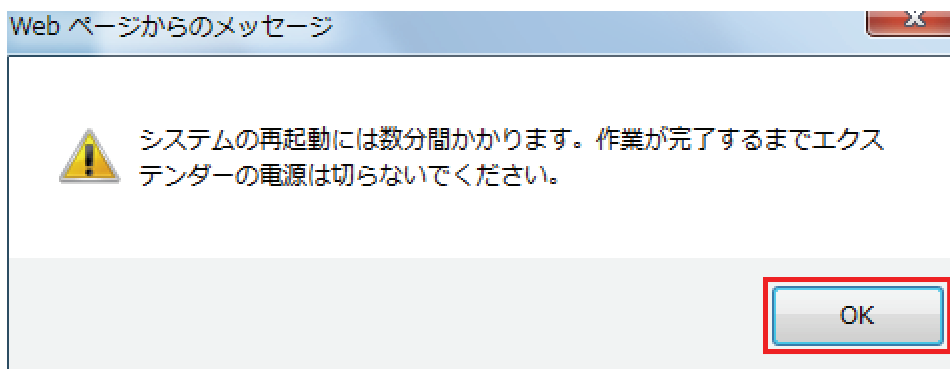
3. ［再起動］をクリックします。



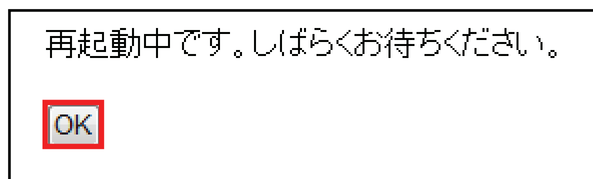
4. ［OK］をクリックします。



5. ［OK］をクリックします。



6. ［OK］をクリックします。



以上で設定の完了です。

7.3 ステータス関連

ここでは、ステータス関連の表示方法を説明します。
ステータス画面では、ファームウェアのバージョン、無線の構成、WAN の構成などを確認することができます。

7.3.1 ステータス

1. [ステータス]をクリックします。
   ※ユニバーサルリピータモード時の表示方法は、「4.1 設定画面を表示する」を参照してください。
   ※アクセスポイントモード時の表示方法は、「6.3 設定画面を表示する」を参照してください。



2.　[ステータス]をクリックします。

MZK-EX300N2　日本語

- セットアップウィザード
- ステータス
  - モード設定
  - ステータス
- ネットワーク
- 無線LAN
- 管理

ステータス

ステータス

ファームウェアのバージョン、ネットワークの設定、無線LANのステータスなどを表示します。

システム	
ファームウェアバージョン	1.02
稼働時間	0day:0h:5m:52s
動作モード	ユニバーサルリピータ
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.251
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	[illegible]
DHCPサーバ自動検出	有効
無線LAN	
リンクステータス	接続中
SSID	ap-pc-XXXXXX
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
チャンネル帯域	40MHz

3.　システム情報を確認します。

- ユニバーサルリピータのときは、**【ユニバーサルリピータのとき】**(P132)を参照してください。
- AP モードのときは、**【AP モードのとき】**(P133)を参照してください。

【ユニバーサルリピータのとき】

MZK-EX300N2

日本語

- セットアップウィザード
- ステータス
  - モード設定
  - ステータス
- ネットワーク
- 無線LAN
- 管理

ステータス

ファームウェアのバージョン、ネットワークの設定、無線LANのステータスなどを表示します。

システム	
ファームウェアバージョン	1.02
稼働時間	0day:0h:5m:52s
動作モード	ユニバーサルリピータ
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.251
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	[illegible]
DHCPサーバ自動検出	有効
無線LAN	
リンクステータス	接続中
SSID	ap-pc-XXXXXX
チャンネル	自動
セキュリティ	無効
チャンネル帯域	40MHz

【AP モードのとき】

MZK-EX300N2

日本語

- セットアップウィザード
- ステータス
  - モード設定
  - ステータス
- ネットワーク
- 無線LAN
- 管理

ステータス

ファームウェアのバージョン、ネットワークの設定、無線LANのステータスなどを表示します。

システム	
ファームウェアバージョン	1.02
稼働時間	0day:0h:3m:7s
動作モード	AP
ネットワーク	
IPアドレス	192.168.1.251
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	[illegible]
DHCPサーバ自動検出	有効
無線LAN	
無線モード	2.4GHz(B+G+N)
チャンネル	自動
SSID	ap-pc-XXXXXX
暗号化方式	無効
BSSID	[illegible]
接続中のクライアント数	0
マルチSSID1	
SSID	ap-game-XXXXXX
暗号化方式	無効
BSSID	[illegible]
接続中のクライアント数	0
マルチSSID2	
SSID	
暗号化方式	無効
BSSID	[illegible]
接続中のクライアント数	0
マルチSSID3	
SSID	
暗号化方式	無効
BSSID	[illegible]
接続中のクライアント数	0
マルチSSID4	
SSID	
暗号化方式	無効
BSSID	[illegible]
接続中のクライアント数	0

第 8 章：困ったときは

8.1 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がは入らないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ パソコンの IP アドレスは「自動取得」になっているか ※設定方法は「8.3.1　自動設定」を参照してください ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・ セキュリティソフトウェア（ウィルスチェック、ファイアウォールなど）を一時的に停止させて改善されるか ・ 本製品左側面のセキュリティスイッチが「OFF」側に切り替わっているか ・ ルータと正常に通信しているか ・ Wireless ランプ（LED ランプ）は点滅しているか ・ 「ユーザ ID」、「パスワード」に間違いはないか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ 設定後すぐにはつながらないとき、2～3 分程待って再度試して改善するか ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ※設定方法は「8.3.1　自動設定」を参照してください。 ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか

	・　IP アドレスでホームページにアクセスできるか ※ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>を押して、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。 ・　セキュリティソフトウェア（ウィルスチェック、ファイアウォールなど）を一時停止させて改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・　本製品と無線 LAN ルータ（親機）との間に距離がないか ・　本製品と無線 LAN ルータ（親機）との間に障害物がないか ・　本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に距離がないか ・　本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に障害物がないか ・　電子レンジの傍で接続をしていないか ・　本製品の Wireless ランプ（LED ランプ）は点滅しているか ・　無線 LAN アダプタが内蔵のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオンになっているか ・　無線 LAN が無効になっていないか ・　ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・　無線 LAN ルータ（親機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・　無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・　ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか ・　無線 LAN 子機が WPS に対応しているか（WPS ボタンを使用した無線 LAN 接続時） ・　無線 LAN 接続後、設定を変更していないか ・　お使いのパソコンに 2 つの無線 LAN 子機(例えば内蔵無線 LAN と USB 無線 LAN アダプタ)を取り付けていないか（片方の無線 LAN を無効にしてみてください） ・　接続先のアクセスポイントにて SSID 隠蔽の設定になっていないか ・　他の無線 LAN クライアント（子機）で本製品に無線接続ができるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、クイックセットアップをお試しください。

8.2 初期化の方法.

次のようなときは、本製品を工場出荷時状態に戻していただき、再度設定をお試しください。

- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、設定画面にログインできないとき
- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、インターネットに接続できないとき
- 本製品の IP アドレスを変更し、変更後の IP アドレスを忘れてしまったとき
- お客様が設定された内容を元に戻したいとき

注意：初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。
初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品側面のリセットボタンを 10 秒以上長押しして、「Power」ランプが点滅したら、リセットボタンから離します。
3. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

8.3 IP アドレスの設定.

8.3.1　自動設定

パソコンの IP アドレスを DHCP サーバから取得する方法に設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき………………………………… 「8.3.1.1　Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「8.3.1.2　Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「8.3.1.3　Windows XP」
- Mac OS X のとき………………………………… 「8.3.1.4　Mac OS X」

8.3.2　手動設定

パソコンの IP アドレスを手動で設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき………………………………… 「8.3.2.1　Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「8.3.2.2　Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「8.3.2.3　Windows XP」
- Mac OS X のとき………………………………… 「8.3.2.4　Mac OS X」

8.3.1 自動設定

8.3.1.1 Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

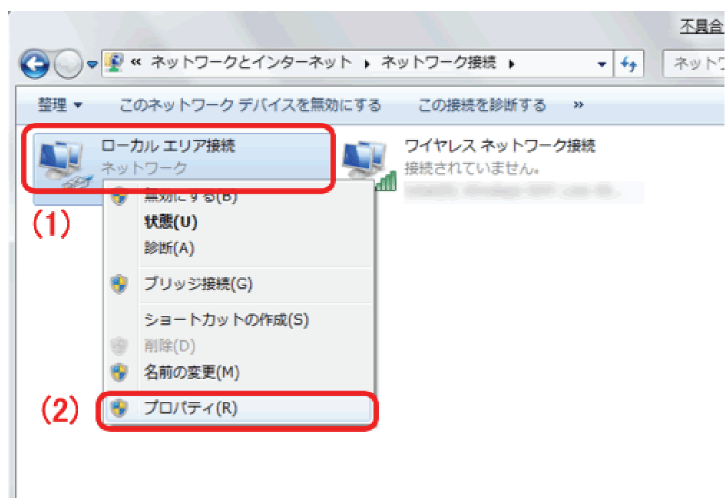


3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



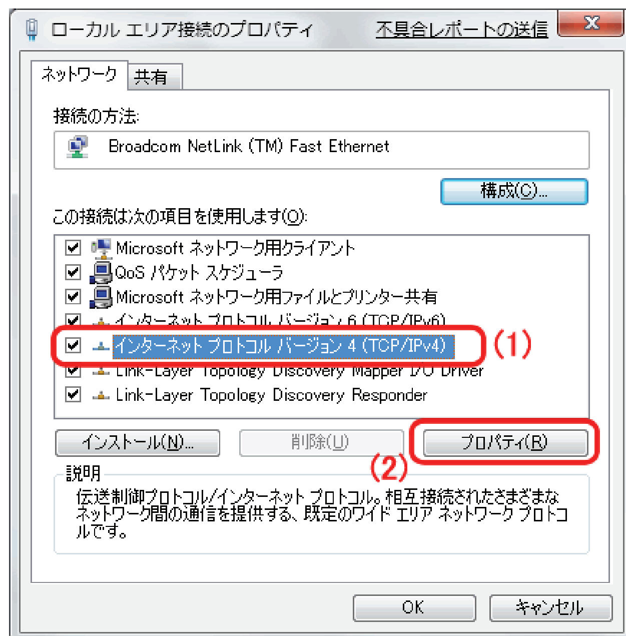
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。



5. （1）「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。

（2） [プロパティ]をクリックします。



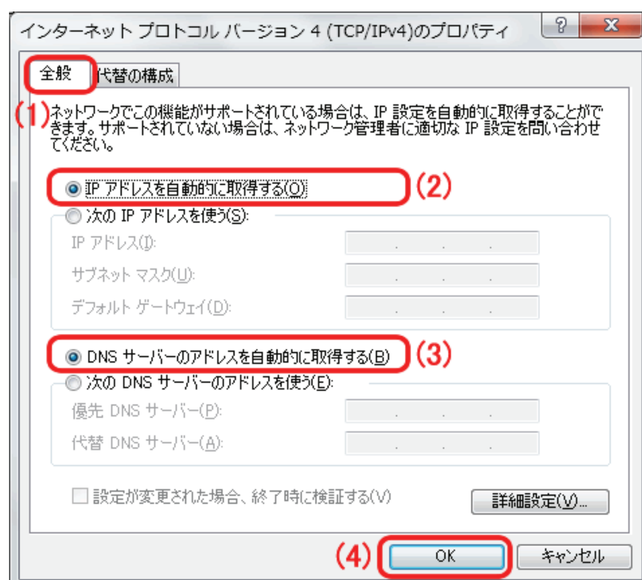
6. （1）「全般」タブをクリックします。

（2）「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

（3）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

（4）[OK]をクリックします。

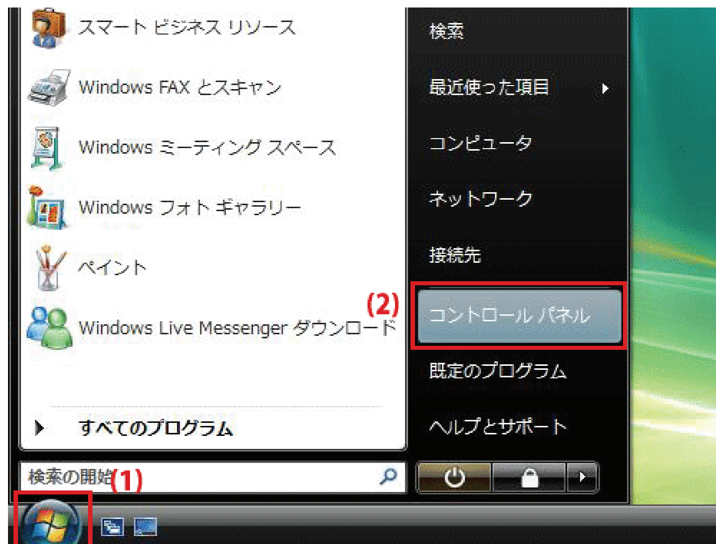
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



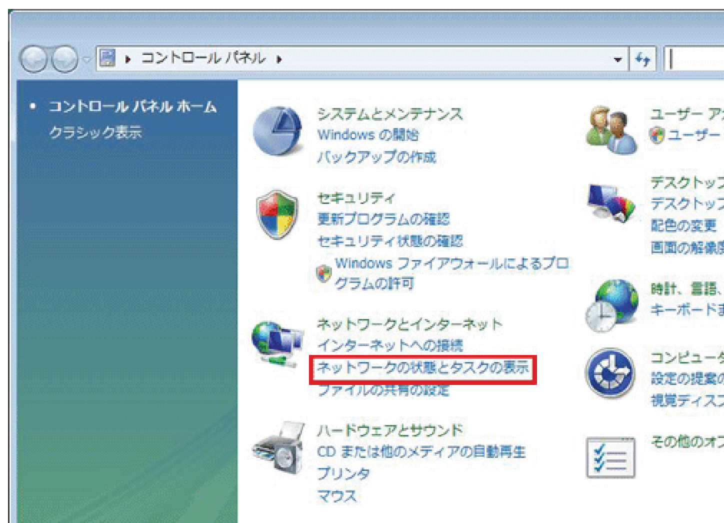
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

8.3.1.2 Windows Vista

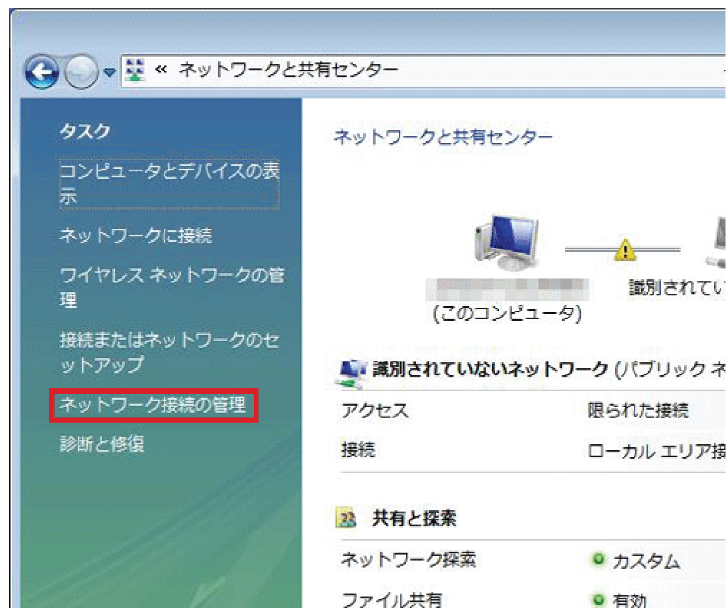
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



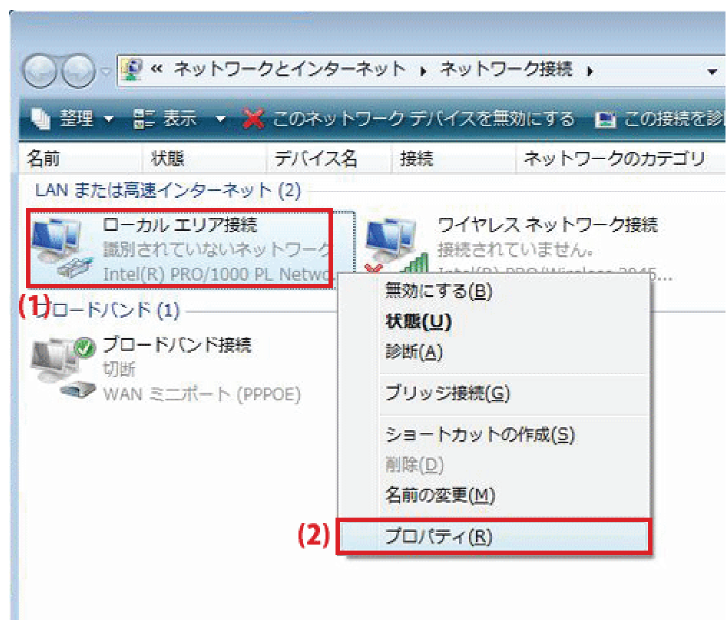
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

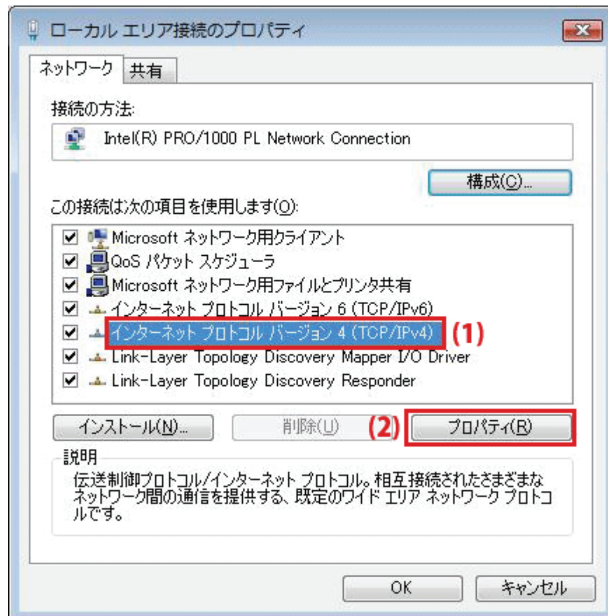


4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
［続行］をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。



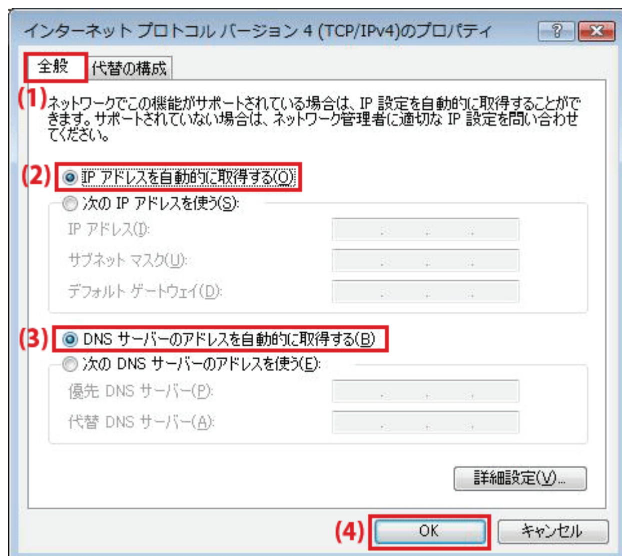
7. （1）「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

（2）「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

（3）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

（4）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



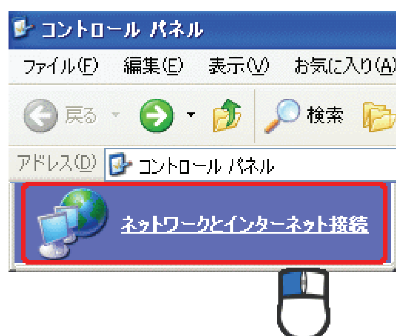
8. ［閉じる］をクリックし、すべての画面を閉じます。

8.3.1.3 Windows XP

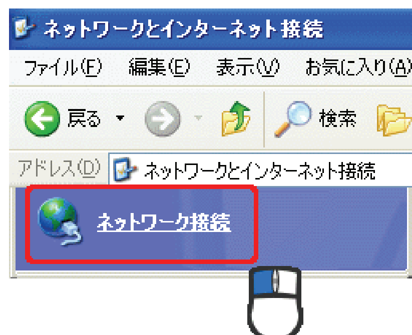
1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



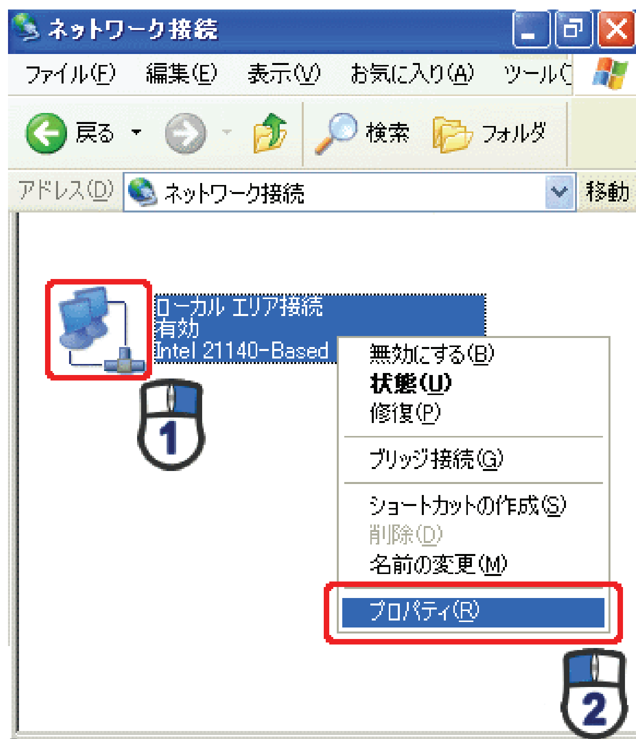
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



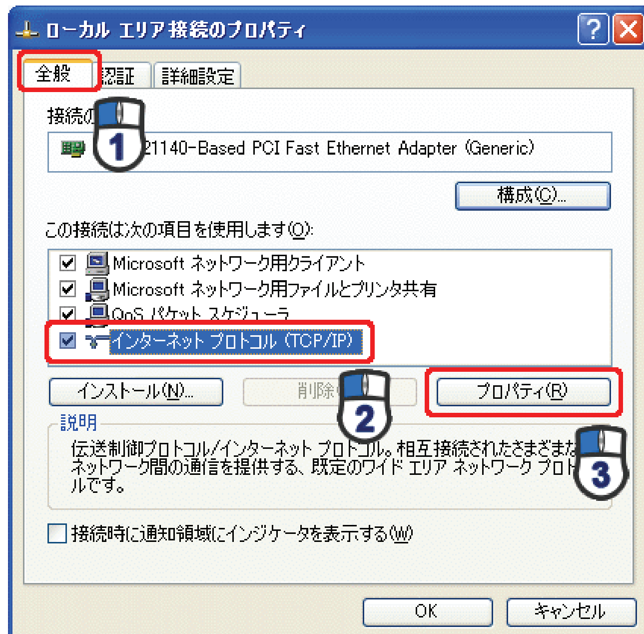
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。

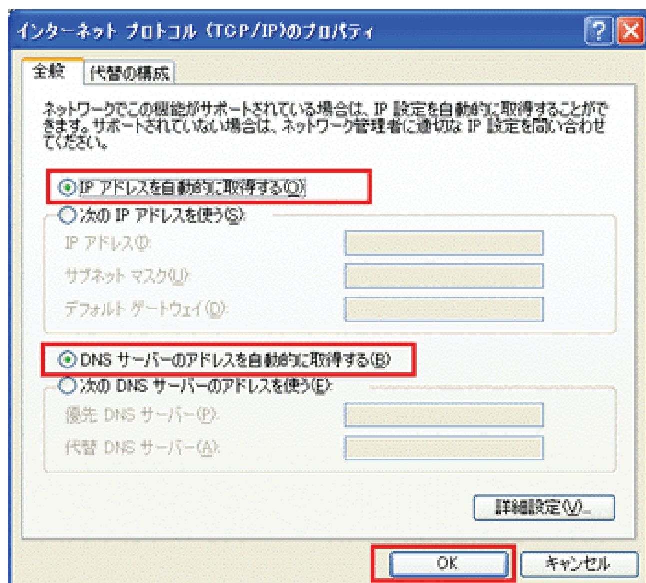


6. （1）「IP アドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

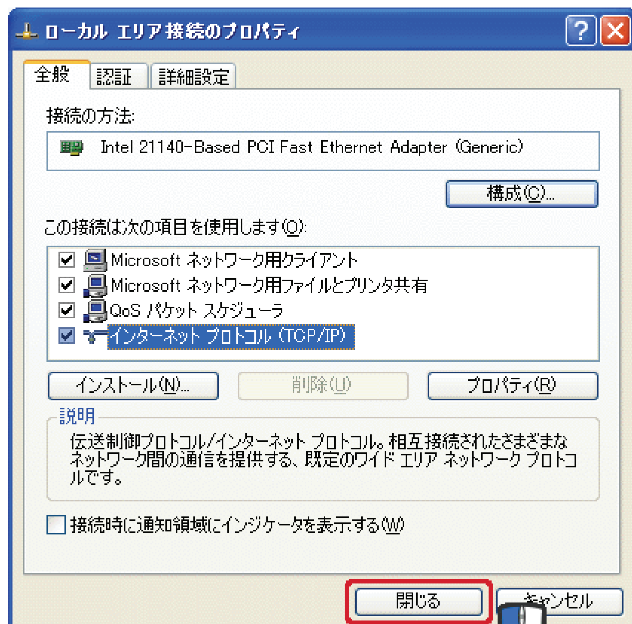
（2）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

（3）［OK］をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

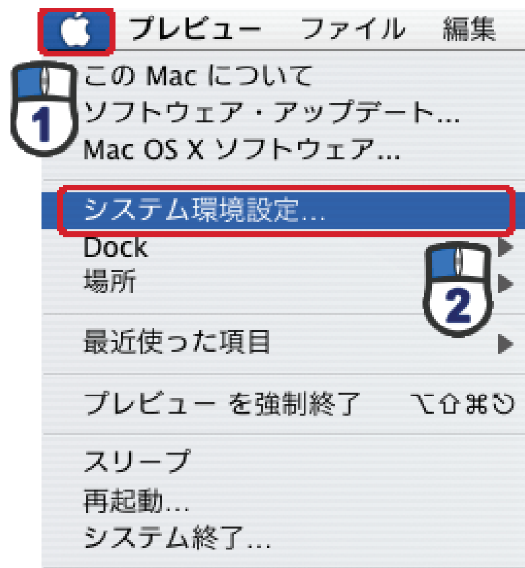


7. ［閉じる］をクリックします。

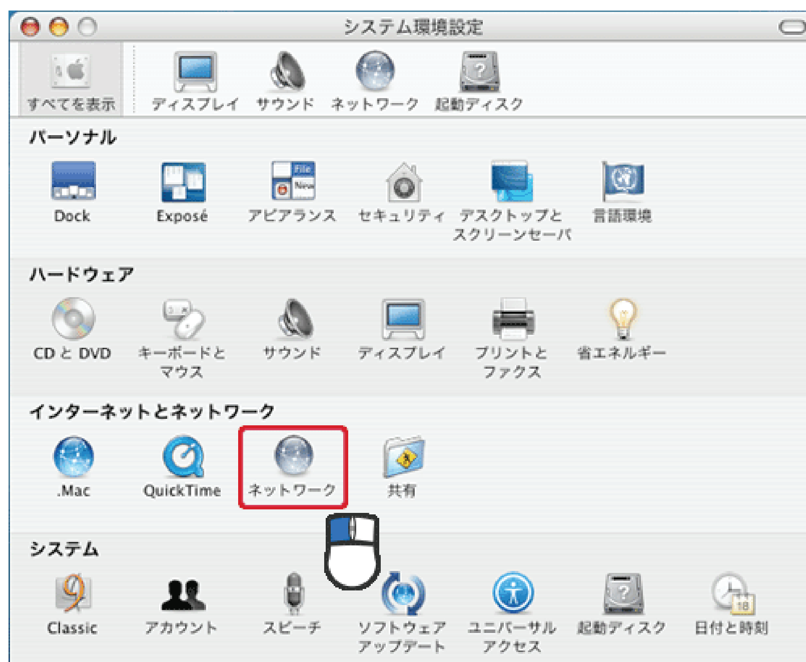


8.3.1.4 Mac OS X

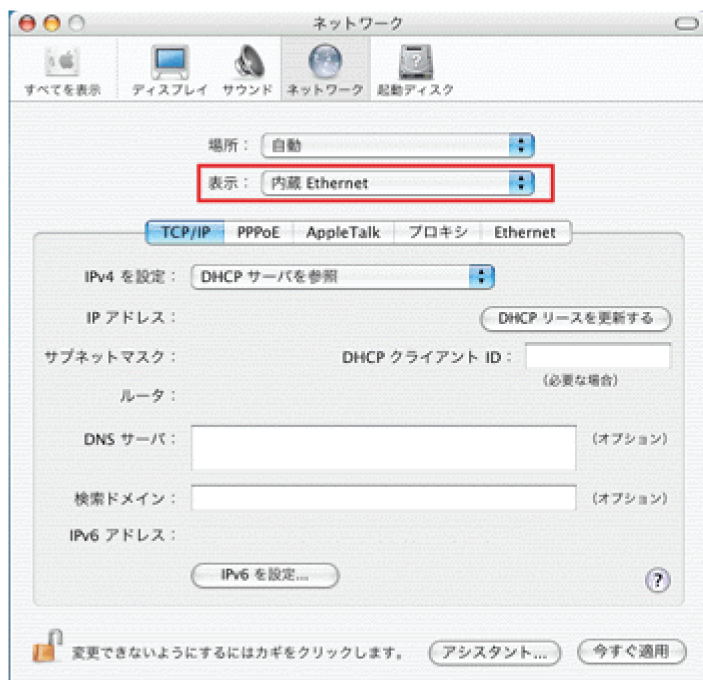
1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



2. 「インターネットとネットワーク」の「ネットワーク」をクリックします。

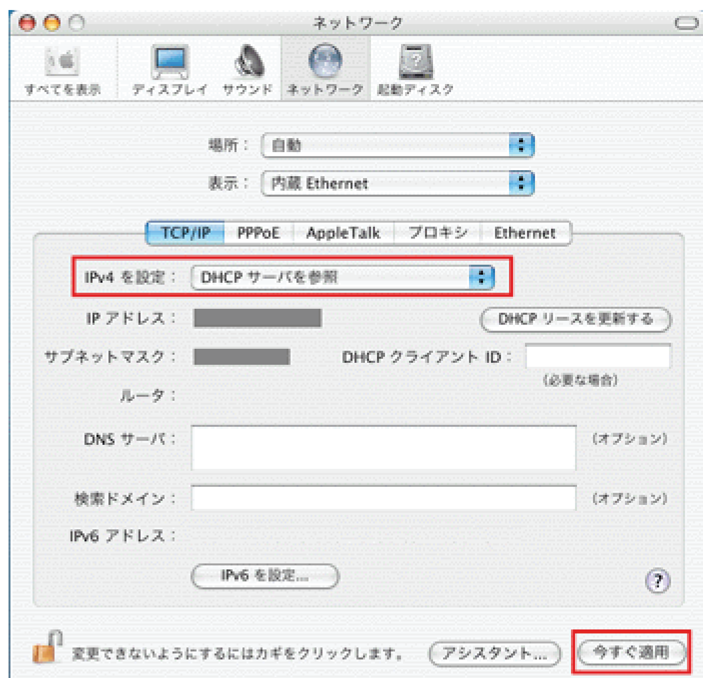


3. 「ネットワーク」の画面が表示されます。
「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。



※[DHCP サーバを参照]が表示されていないときは、[PPPoE]タブをクリックし、「PPPoE を使って接続する」のチェックをオフにします。

4. 「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCP サーバを参照」を選択します。



5. ［適用］をクリックします。

8.3.2 手動設定

8.3.2.1 Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

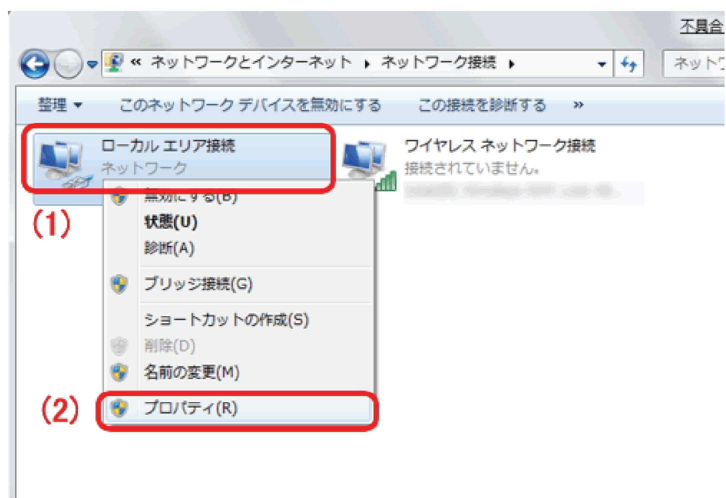


3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



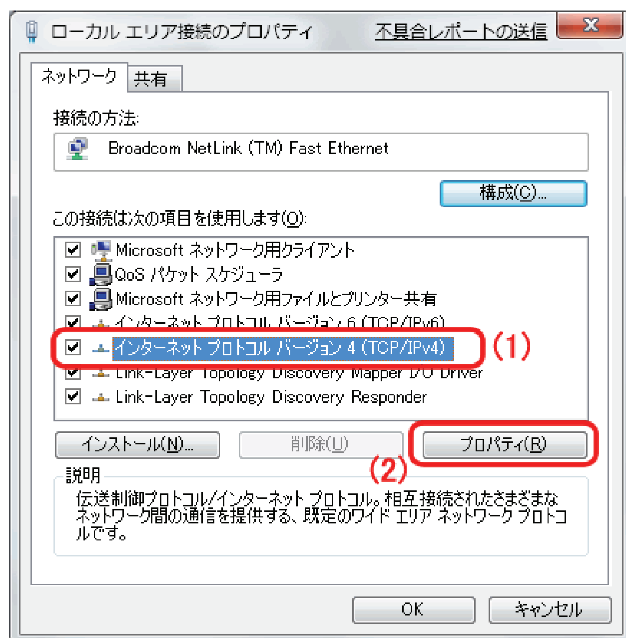
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。



5. （1）「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。

（2） [プロパティ]をクリックします。



6. （1）「全般」タブをクリックします。

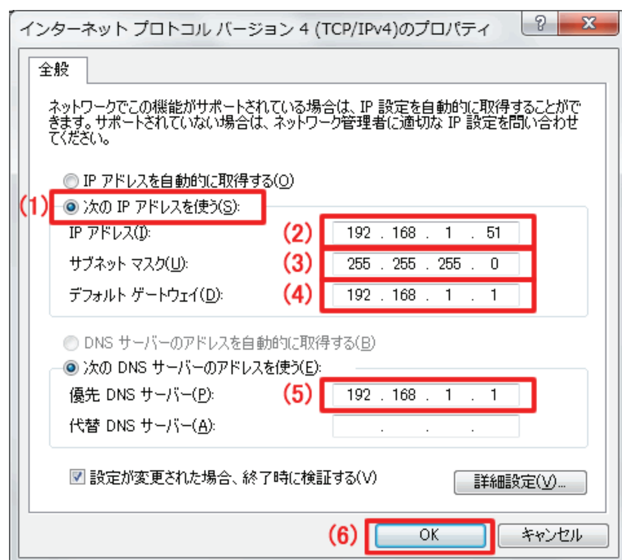
（2）「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

（3）「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

（4）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

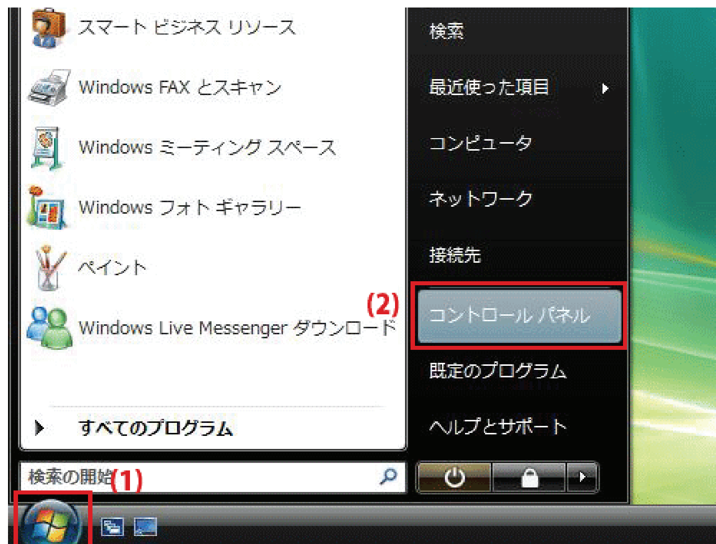
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



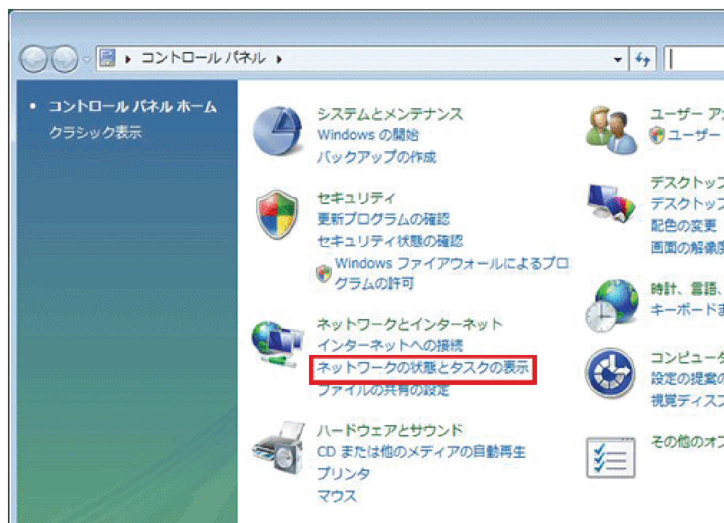
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

8.3.2.2 Windows Vista

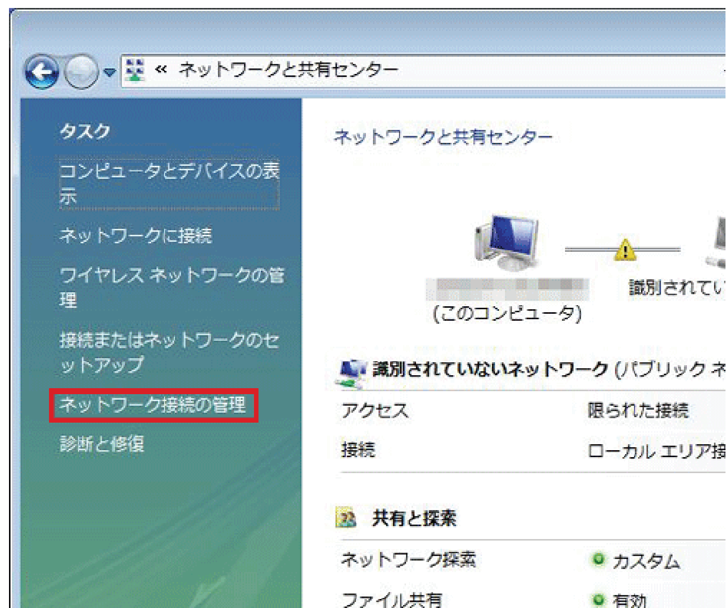
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



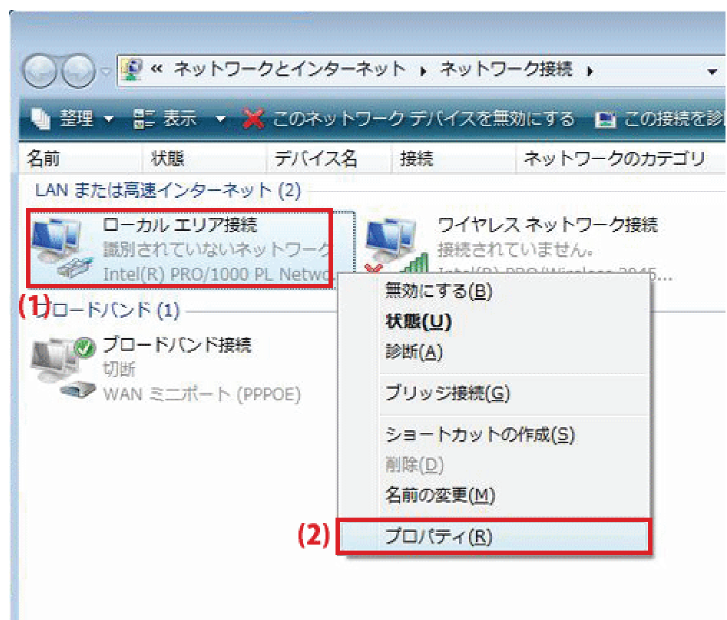
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



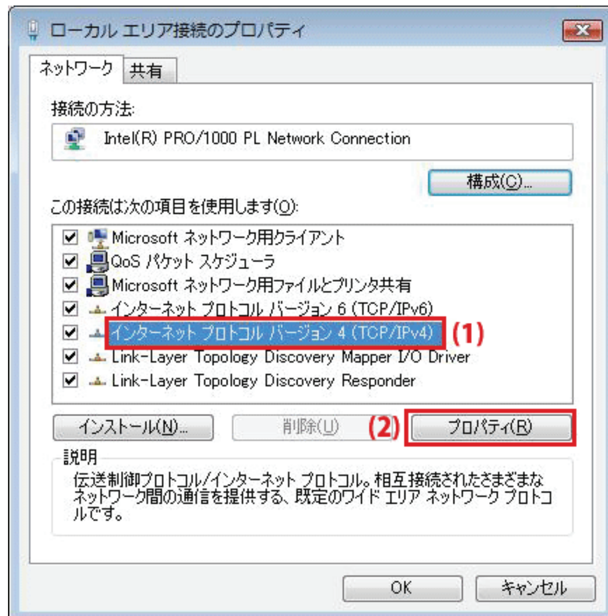
4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。

［続行］をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。



7. （1）「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

（2）「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

（3）「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

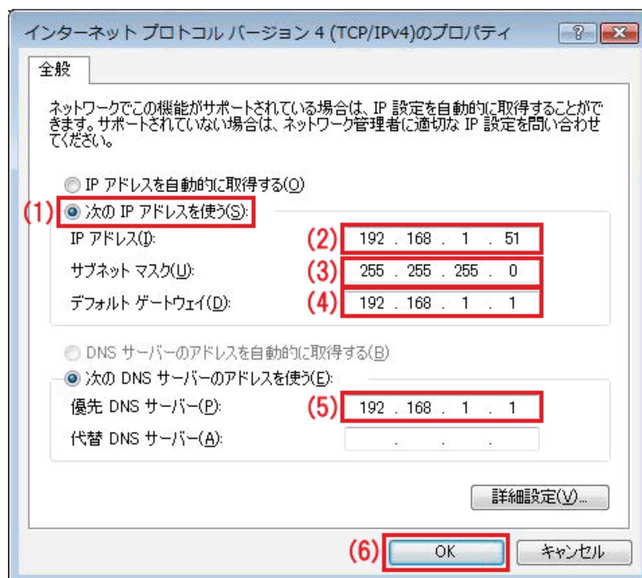
（4）「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

（5）「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

（6）[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

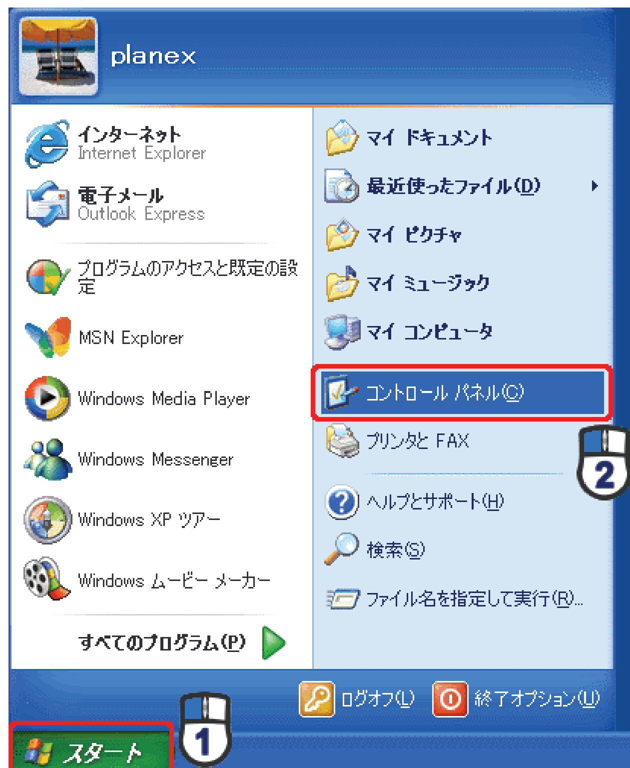
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



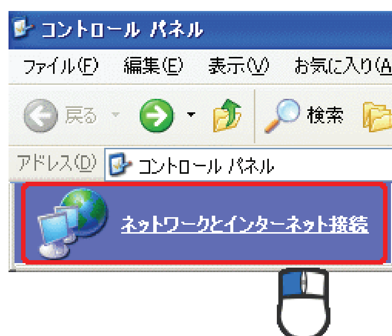
8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

8.3.2.3 Windows XP

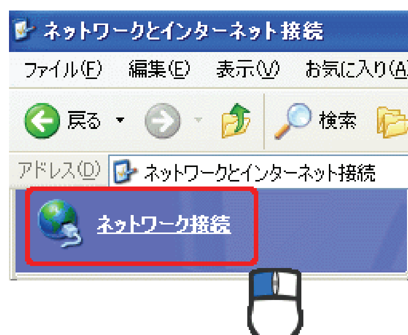
1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



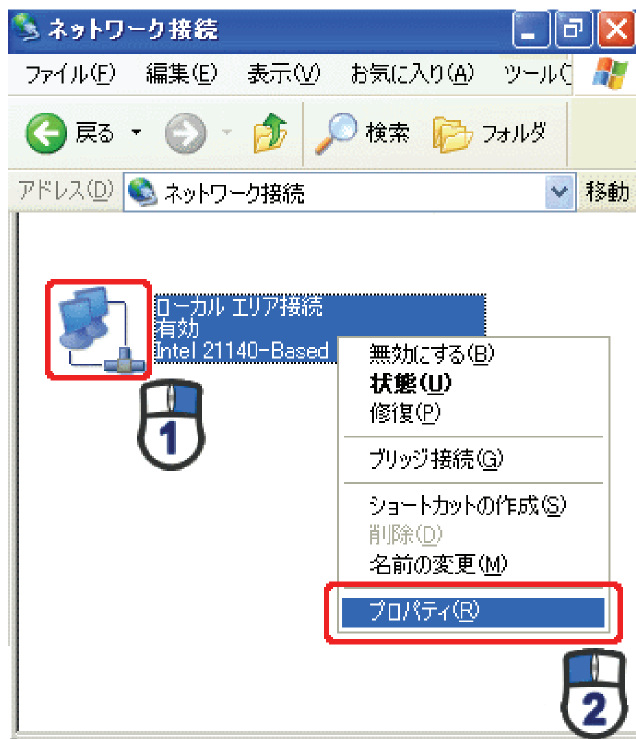
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



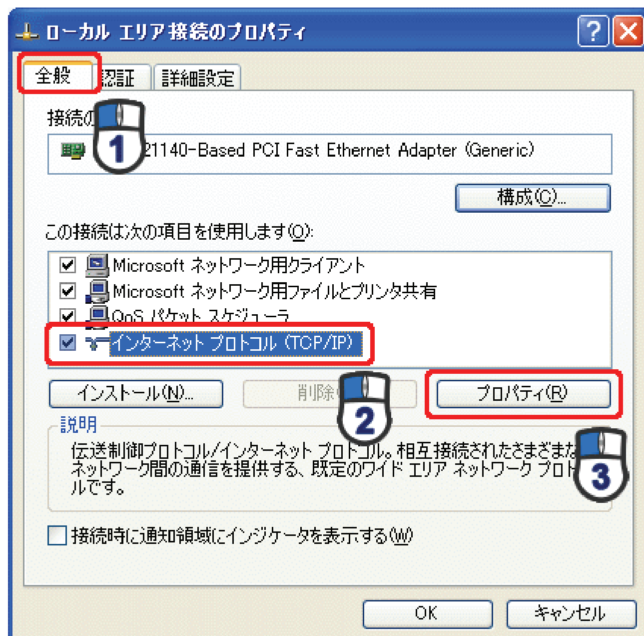
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。



6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します ※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

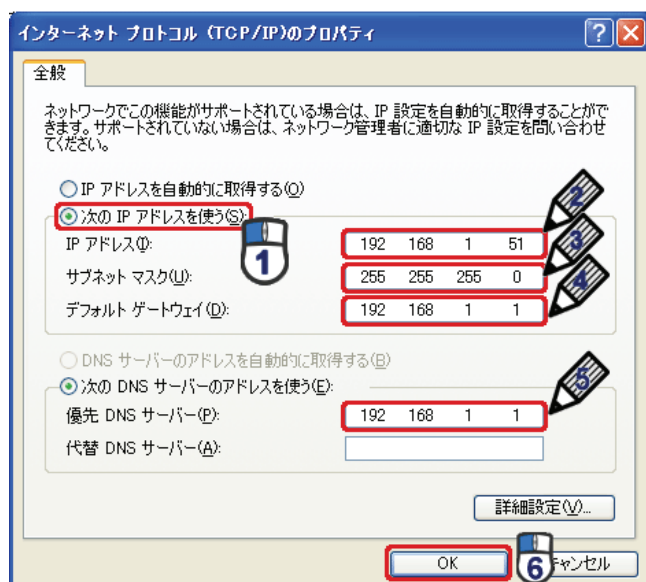
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

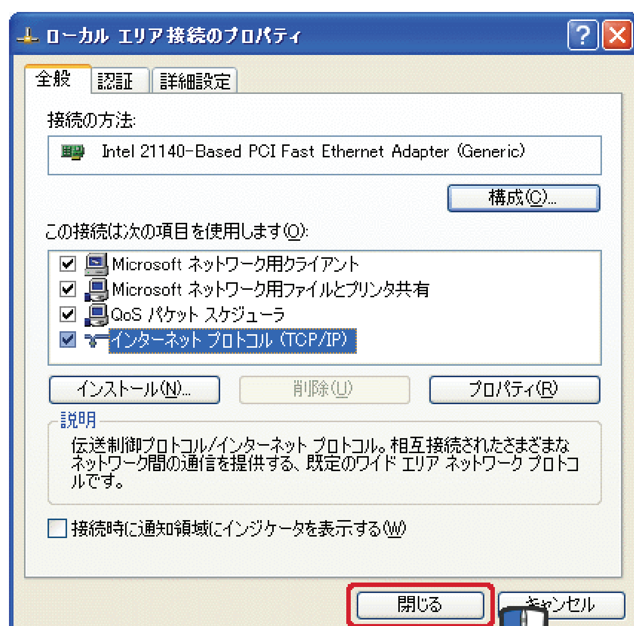
(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

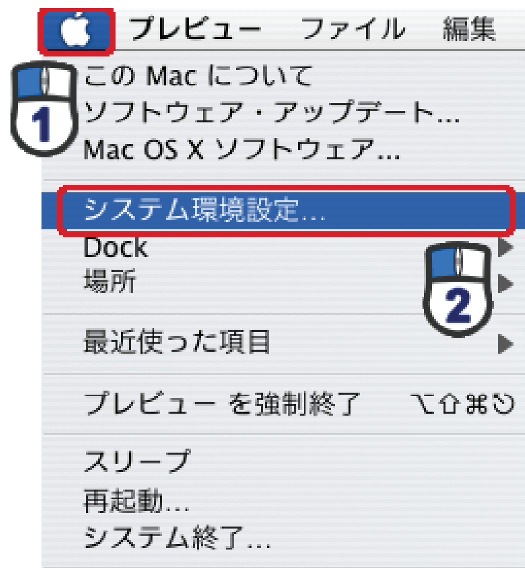


7. [閉じる]をクリックします。

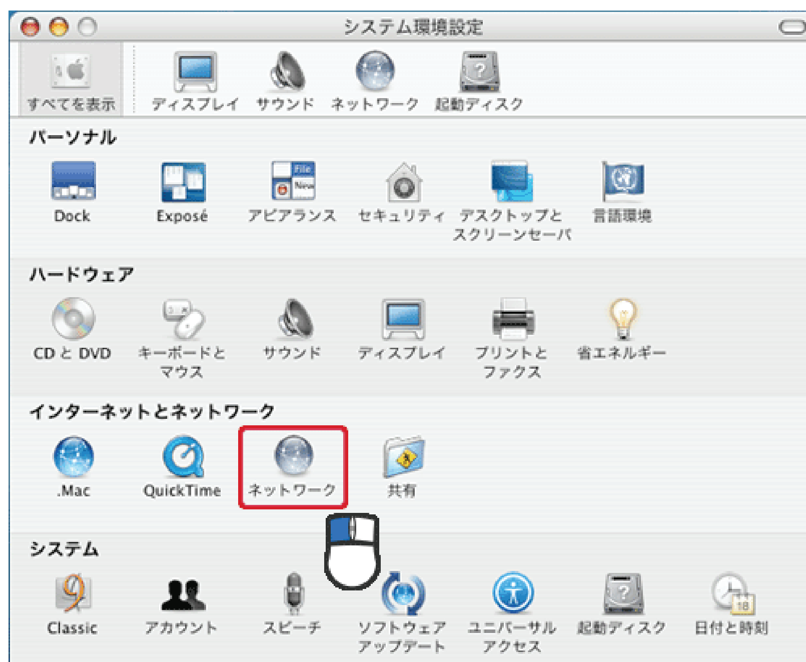


8.3.2.4 Mac OS X

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。



3. （1）「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。

（2）「TCP/IP」タブをクリックします。

（3）「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。

（4）「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

（5）「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

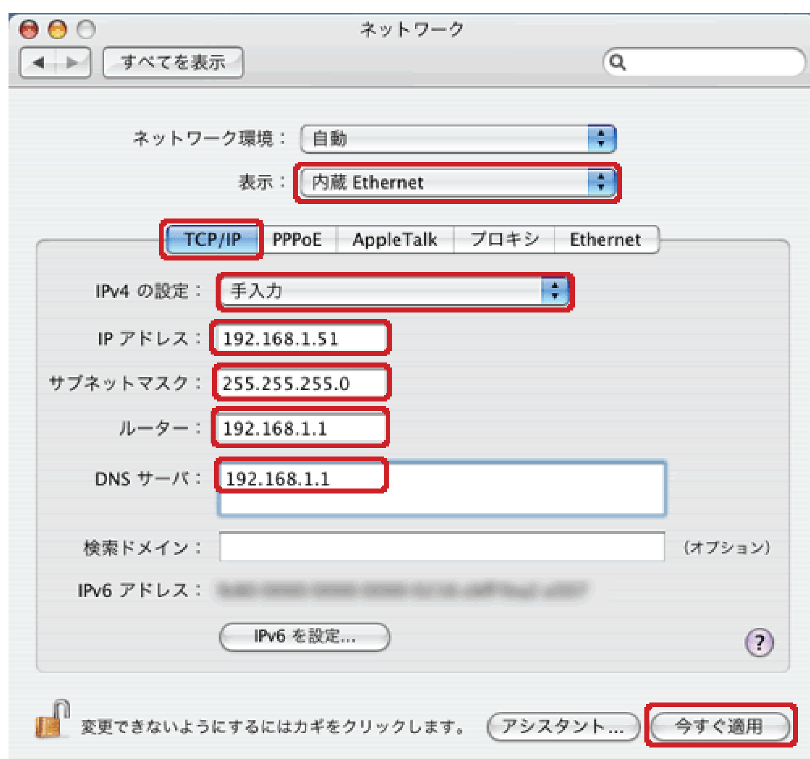
（6）「ルーター」に「192.168.1.1」と入力します。

（7）「DNS サーバ」に「192.168.1.1」と入力します。

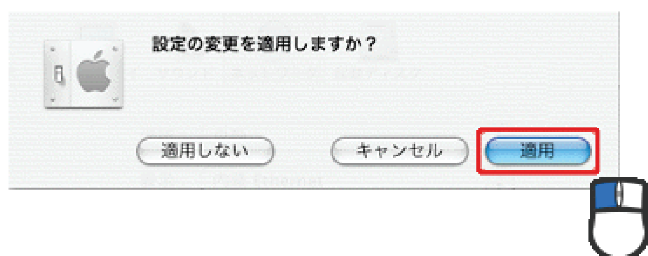
（8）［今すぐ適用］をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



4. ［適用］をクリックします。



第 9 章:製品仕様

型番	MZK-EX300N2
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz) :最大 300Mbps
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	2dBi
アンテナ	内蔵アンテナ 2 本(2T2R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 ポート×2(LAN×2)、USB ポート
伝送速度	100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上
	10BASE-T:カテゴリ 3 以上
ソフトウェア仕様	
LAN 設定	固定 IP アドレス(手動設定)
	DHCP サーバ(有効/無効)
省エネ設定	EEE、ActiveECO

ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、Reset ボタン、 モード切り換えスイッチ（off/separate on/security on）
LED	Power、WPS、Wireless
消費電力	最大 2.3W
電源	DC 5V 1A
外形寸法	約 75.0（W）×28.8（H）×65.6（D）mm ※突起部を除く
重量	約 60g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～60℃
	湿度：10～90%（結露なきこと）
その他	
ログ機能	システムログ
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4（CPU :Intel/PowerPC support）
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。

※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。

※無線チャンネル幅は初期値が 20MHz となっています。40MHz（理論値 300Mbps）を使用する場合は WEB 設定画面にて、20/40MHz のモードに変更してください。

※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp）を参照ください。

第 10 章:お問合せ先

●サポート Q&A 情報(FAQ、よくある質問と答え)

ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。

お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル

最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞

http://www.planex.co.jp/support/techform/

受付:24 時間

＜サポートダイヤル＞

0570-064-707

受付:月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時(※祝祭日および弊社指定の休業日を除く)

＜ FAX ＞

03-5766-1615

受付:24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2012 年 3 月現在の情報です。

内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

第 11 章:索引

ち

と

は

ふ

む

も

ゆ

り

●プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONS は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。

●Microsoft および Windows は米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

●Mac は、Apple Inc.の登録商標です。

●iPhone は Apple Inc.の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

●ニンテンドーDS・ニンテンドーDS Lite・Wii は、任天堂の登録商標です。

●ニンテンドーDSi は、任天堂の商標です。

●ニンテンドーWi-Fi コネクション・Nintendo Wi-Fi Connection は、任天堂の商標です。

●PSP、PS3 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

●GALAXY Tab は、サムスン電子株式会社の登録商標です。

●Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の認証ロゴマークです。

●その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

●ご注意：ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。